

明治魂の伝承

～魂を追い求めて～



2009年 総明会会報

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

明治中學校校歌

一章

帝都の真中駿河臺、
遙かに望む富士のねの
高き理想の影追ひて
集る健児勇ましや

二章

學びの高嶺文の海、
峻しく荒き行末を
懼れず笑みて進みゆく
我等が意氣は天を呑む

三章

忠と孝の大系を、
色どる正義、愛、誠
我等が胸をかざるべき
大和錦の美ならずや

四章

世界に王たる日の本の
國民の基と身をなして
我等が校の名を掲けむ
我等が國の威を掲けむ

校歌

作詞 児玉 花外
作曲 山田 耕筈

一

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
楹くや時代の暁の鐘
文化の潮みちひきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二

權利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗幟し
高き理想の道を行く
我等が健児の意氣をば知るや
我等が健児の意氣をば知るや

三

靈眸不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

総 明 会

昭和59年開催の第20回総会において命名された。
初代校長の鶴澤総明先生のお名前をいただき、かつ、
明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



目 次

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 2 総明会のご案内 | 特集Ⅴ 明治魂と甲子園 |
| 4 会長挨拶 | <昭和40年春の選抜大会OBと甲子園を振り返る> |
| 5 校長挨拶 | <昭和33年の夏の東京決勝戦 寄稿協力 王貞治氏> |
| 6 2008年度活動報告 | 51 学校紹介この一年 |
| 7 2008年度会計報告 | 58 学校報告 |
| 8 総明会評議委員会名簿 | 59 新任先生に聴く |
| 10 チャリティーゴルフ大会 | 61 明治中学高校旧校舎の今 |
| 12 2008年度 明朗会活動報告 | 65 同期会 班クラブOB会 寄稿 |
| 13 総明会活動 現役班クラブ合宿への差入れ | 120 前年度幹事学年挨拶 |
| 15 特集 明治魂の伝承 | 121 次年度幹事学年挨拶 |
| ～寄稿～ 総明会代表・教諭代表 | 122 本年度幹事学年挨拶 |
| 特集Ⅰ 明治魂アンケート | 123 総明会 寄付一覧 |
| 特集Ⅱ 班部活動の歴史を追いかける | 158 100周年寄付のお願い |
| 特集Ⅲ 制服の変遷 | 127 総明会 会則 |
| 特集Ⅳ 八丈島に伝承された明治魂 | 131 名簿委員会からのお願い 編集後記 |

明治大学付属
明治高校・中学校 校長
金子光男
(明治大学政治経済学部教授)

明治大学 学長
納谷廣美

(学)明治大学 理事長
長堀守弘

第45回 総明会 総会・懇親会のご案内

明治大学付属明治高等学校・中学校卒業生の皆様におかれましては、益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成21年度 総明会 総会・懇親会は、下記のとおり、開催する運びとなりました。

今年は、「明治魂～伝承～」をテーマに掲げ、昭和57年卒「明魂会」が幹事学年を務めさせていただいております。

何かと厳しい社会情勢の中ではありますが、当日は、ご臨席の皆様に、楽しいひとときをお過ごしいただけるよう趣向を凝らした企画を用意して、お待ち申し上げております。

ご同期、ご家族お誘い合わせの上、是非、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

記

日 時 : 平成 21 年 11 月 29 日 (日)

総 会 午後 3 時30分から

講演会 総会終了後 (午後 4 時頃の予定)

懇親会 午後 5 時から (受付開始 午後 4 時30分)

場 所 : ANAインターコンチネンタルホテル東京
(旧全日空ホテル)

港区赤坂1-12-33 TEL (代表) 03(3505)1111

《会場》 総 会 B1「ギャラクシー」

懇親会 B1「プロミネンス」

会 費	: 一般会員	10,000円
	シニア会員 (昭和42年以前のご卒業)	8,000円
	ヤング会員 (平成14年から平成17年までのご卒業)	8,000円
	学生会員	3,000円
	ご同伴者	5,000円

※ お手数ながら、ご出席いただける場合には、同封の葉書にて、返信をいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、お知らせをいただいていない場合でもご出席いただけますので、お誘い合わせの上、ぜひ会場まで足をお運び下さい。



- 第四十五回
総会 式次第(案)
- 一、開会
 - 二、会長挨拶
 - 三、議長選出
 - 四、書記選出
 - 五、議事
 - 六、会務報告
 - 七、会計報告
 - 八、監査報告
 - 九、会長及び副会長選出
 - 六、閉会

懇親会の余興には、明治高校出身の漫才コンビ「シバカゼ」も出演を予定しています。

柴田拓磨君(左)、関谷風次君のコンビは、『シカバネ』として、3年連続で決勝戦に臨んだ「M-1甲子園2008」で見事優勝。今春、明治高校を卒業し、現在、明治大学生と、吉本興業が主宰する芸能人育成講座「NSC東京」研修生という二足のわらじを履いて、夢の実現に向かって頑張っています。



「ANAインターコンチネンタルホテル東京」周辺の地図



〔最寄りの交通機関〕
東京メトロ(地下鉄)

銀座線 「溜池山王駅」 13番出口より徒歩1分(駅から徒歩5分)

南北線 「六本木一丁目駅」 3番出口より徒歩2分(駅から徒歩5分)

「溜池山王駅」 13番出口より徒歩1分(駅から徒歩7分)

丸の内線「国会議事堂前駅」より「溜池山王駅」出口利用(「国会議事堂前駅」から徒歩13分)

千代田線「赤坂駅」 5番出口より徒歩10分

日比谷線「神谷町駅」 4番B出口より徒歩10分

都営バス

都01系統(渋谷～新橋) 「赤坂アークヒルズ前」下車、徒歩1分

※ JR渋谷駅から所要約20分、JR新橋駅から約15分

総明会会長挨拶

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長 佐久間 洋一



人生は出会いの繰り返しというが、まさに実感だ。

6年前、創立100周年を迎える歴史ある母校の同窓会会長が私で務まるのか不安の中で引き受けたが、この間総明会会長として校舎移転や男女共学などの歴史に残る変革に立ち合うことができただけでなく、会務は私に多くの出会いをもたらしてくれた。

出会いとこれにつながる人脈は金で買うことができ

ない貴重な財産であり、これも創立100年を迎える母校の伝統を守り支えてきた先輩方の努力の賜と感謝している。

私はいわゆる団塊の世代、今年の12月で還暦となる。

自分では、還暦という実感がなく、まだまだ青年の気持ちでいたが、新聞記事によると「団塊世代の平均余命」「60歳を生き抜いた男性22年」とのことである。とすれば残り20年余ということになる。

私の青春時代を語る上で欠かせないthe Beatlesの曲に、20代の彼らが64歳になったときのことを想像して作った「When I'm Sixty-Four」がある。

この曲が発表された当時10代であった私にも64歳は想像の域を超えていた。幾星霜、その想像もつかなかった64歳もいよいよ目前となった。近年の1年の速さの実感からして、二十余年はあっという間であろうが、焦らず有意義な時間を重ねたいものだ。

青春時代の想い出を共有している仲間との交遊も、私の原点を思い起こさせてくれる貴重な時間の過ごし方だ。

この9月、高校時代の同期の連中と丸の内にあるコッククラブを借り切って還暦祝いのパーティーをした（自分で自分の歳を祝うというのも考えれば変な話だが、気の置けない仲間と来し方を思い、長くて短かった60年の感慨に浸った。これも総明会あってこそと言える。

さて、私が向殿前会長から引き継ぎ、会長となって早満6年を迎えようとしている。果たしてどれだけ会員の皆さんの期待に応えることができたか、会に貢献できたかを些か心許ないが、少なくとも次の世代への橋渡し役は果たせたかと思う。

総明会は同窓生全員の帰還できる母港である。この同窓会の重要な役割を思えば、会長が名誉職と位置づけられてはならない。

これからの世代にとって魅力のある総明会とするには、若い感覚が必要である。これからは、是非、新しい、若い人に引き継いでいって欲しいというのが今の私の切なる願いだ。

私も何らかの形で今後も協力してこうと決意を新たにしているが、いや、むしろ「出番はない」と言われるほうが好ましい。

母校・明高中の一層の発展のために 百周年記念に寄せて

校長 金子 光男



校長として、一言ご挨拶申し上げます。当地に移転して、本校は今年二年目を迎えました。この度の移転が本校志願者に対していかなる影響を及ぼすのかと、当初懸念されましたが、お蔭様にて志願者数も予想以上の人数となりました。これは受験生には大変な苦勞をしいることになった

一方、本校はそれだけ優秀な新入生を迎えることができたというわけです。

こうした成果を得られましたが、まずは多くの方々の本校に対する熱い思いとご支援の賜と深く感謝申し上げます。同時にここにはいくつかの検討すべき要因もありそうです。第一には校地、校舎を含めた教育環境の充実があげられましようが、男子校から共学制への移行も大きかったと思われます。

進学塾関係者によれば新校舎、新企画が出された学校は、社会の注目と期待感とが相まって、人気化する

というのが一般的なようです。ですから、現在、本校が受けている高い評価が真に問われるのは、もう二、三年後になるのではないのでしょうか。

折しも、本校は三年後に創立百周年を迎えます。少々準備が遅れましたが、私共はその祝典を本校のみならず、大学あげての一大記念事業として開催したい。この祝典はただ百周年を祝うのではなく、向こう百年の飛躍を目ざした真に意義深いものでなければならないと存じます。

また、私共は現在共学制に移行したことを踏まえて、これまでの教育成果やそのあり方を点検し、より良い教育制度を探り、新生明治を目ざしております。

そうした改革への努力もまた、先に触れた本校の評

価を一時的なものから、永続的なものへと固める重要な一歩であると信じます。

総明会の皆様方が私共のこのような努力を多とし、百周年の成功に向けて、多大なるご支援ご後援を賜れば幸いに存じます。末尾ながら、皆様方のに益々のご健勝をお祈り申し上げます。

【明治大学付属明治高等学校
校長兼明治大学付属明治中学校
校長プロフィール】

金子光男氏（かねこ・みつお）
略歴 1944年7月6日生
1967年明治大学政治経済学部卒業、1972年同大学院博士課程単位修得退学。同年明治大学政治経済学部助手、1987年同教授。政治経済学部長等歴任。評議員。

趣味・将棋、散歩
座右の銘「ピンチはチャンス」

2008年度

活動報告

専務理事 関谷 芳久

総明会は本年度45回目の総会を迎えます。この間、母校に学んだ全ての同窓会員が会員相互の親睦と母校との協力関係、賛助活動を維持、推進する事を目的として、各委員会が活発に活動し、より良い同窓会創りに邁進して参りました。

本年度、新入会員は2009年3月の卒業式で新たに23名同窓生を迎え、卒業生総数は18,100名になります。さて、昨年11月15日(土)に調布新校舎で開催された第44回総会以降、本年10月までの活動報告を申し上げます。

☆総会は44回を迎え、昭和56年卒同期会「明翔会」の担当で調布新校舎で初めての総会となりました。参加者は320名と遠い調布の地に多数の参加を得て、

京王線飛田給駅より紫紺のスクールバスに乗り「新たな飛翔」をテーマに、すばらしい総会が挙行されました。なにごん、新しい校舎での初めての総会ということで非常に苦労があったと思いますが、明翔会の皆様、本当にご苦労様でした。

懇親会では幹事学年による旧御茶ノ水校舎での閉校式、また調布新校舎での閉校式や入学式の様子などのDVDを15分放映されました。そして、調布の地で「白雲なびく」を歌い、あっという間の2時間でした。本当に明翔会の皆様、有難うございました。

☆評議会は第1回目を2月14日「紫紺館」、第2回目を3月14日「紫紺館」、そして3回目は、7月4日(土)に班・クラブOB会を

兼ねて、秋葉原の「肉の万世」で総勢80名を超える人数で盛大に催す事ができました。

この席で本年度は任期2年目を迎える年にあたり、会長、副会長の選出にあたる選出委員が6名、委員長1名の選出がありました。

☆総明会ゴルフ大会
第15回総明会チャリティーゴルフ大会が、6月7日

(日)群馬県のサンコー72カントリークラブで、90名の参加で盛大に行うことができました。晴天に恵まれ、昨年から実施された学年對抗にも熱が入りました。優勝は、昨年同様、昭和44年卒「男坂倶楽部」が2連覇いたしました。

☆学校関係では、2年間明治中学・高校の校長先生を務めてくださった小林正三郎先輩が退任され、その慰労する会が4月7日(火)上野東天紅で顧問・役員・理事の皆様で、小宴を開き、慰労することが出来ました。

☆武陵会(明大中野同窓会) 2月20日(金)に相互の役員十数名にて交流会を開催いたしました。また、5月23日(土)「武陵会」総会、懇親会に専務理事、副会長が出席いたしました。交流も13年を迎え兄弟校として、強い絆を結び今後とも連帯活動をしていきたいと思ひます。

☆白駿会(明高父母の会OB会)は6月20日(土)に総会があり、会長、副会長、常務理事が出席し、第42回目を祝うことができました。

☆学校行事参加では、例年の卒業式、入学式、球技大会、紫紺際、オリエンテーションにおける総明会の学校説明会、そして、今年から学校の総明会担当として英語科で教員歴27年目の吉田重幸先生が就任されました。

以上、活動報告とさせていただきます。

総明会 平成20年度 一般会計報告

(自) 平成20年4月1日～(至) 平成21年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,275,284 円	会議費	1,086,854 円
新入会員入会金	2,240,000 円	交流費(学校、他)	815,450 円
新入会員永久会費	2,240,000 円	通信費	0 円
学年会費	500,000 円	事務費	139,690 円
雑入(会議費、他)	604,840 円	各委員会活動費	1,278,924 円
雑入(ゴルフ委員会)	284,833 円	雑費	13,885 円
寄付金	80,000 円	基金へ組入れ	2,500,000 円
貯金利息	8,466 円	次年度繰越金	8,398,620 円
合 計	14,233,423 円	合 計	14,223,423 円

総明会 平成20年度 基金会計報告

(自) 平成20年4月1日～(至) 平成21年3月31日

基金区分	平成19年度末残金	平成20年度増減額	適用	平成20年度末残金
事業遂行基金	5,170,887 円	2,542,962 円	一般会計から繰入+利息	
		-2,914,090 円	高校へ寄附+銘版作成費+振込料	4,779,759 円
財政基盤基金	8,005,194 円	0 円		
	8,005,194 円			8,005,194 円
100周年記念事業特別基金	6,822,000 円	2,031,000 円	寄付金募集	
				8,853,000 円

上記のとおり報告いたします。

平成21年3月31日 会 長 佐久間洋一 会 計 中村 正容

監査の結果相違ありません。

平成21年6月9日 監 査 佐藤 仁 監 査 阿部 正行

総明会 平成21年度 一般会計予算(案)

(自) 平成21年4月1日～(至) 平成22年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,275,284 円	会議費	900,000 円
新入会員入会金	2,230,000 円	交流費(学校、他)	900,000 円
新入会員永久会費	2,230,000 円	事務費	100,000 円
学年・クラブ会費	550,000 円	各委員会活動費	2,025,000 円
雑入(会議費、他)	650,000 円	雑費	100,000 円
雑入(各委員会余剰金)	100,000 円	基金へ組入れ	1,800,000 円
雑入	64,716 円	次年度繰越金	8,275,000 円
合 計	14,100,000 円	合 計	14,100,000 円

総明会 平成21年度 基金会計予算(案)

(自) 平成21年4月1日～(至) 平成22年3月31日

基金区分	平成20年度末残金	平成21年度増減額	適用	平成20年度末残金
事業遂行基金小計	4,300,000 円	2,000,000 円	一般会計から繰入及び利息	6,300,000 円
財政基盤基金	8,005,194 円	0 円		8,005,194 円
校舎移転・100周年記念事業特別基金	8,478,000 円	600,000 円	寄付金募集	9,078,000 円

第44回 総明会 特別会計報告

(自) 平成20年4月1日～(至) 平成21年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	2,944,500 円	総会関係費	3,312,271 円
総明会より助成金	734,826 円	会報関係費	3,729,381 円
寄付・広告	4,728,730 円	運営関係費	1,366,404 円
合 計	8,408,056 円	合 計	8,408,056 円

第45回 総明会 特別会計予算(案)

(自) 平成21年4月1日～(至) 平成22年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	3,000,000 円	総会関係費	5,000,000 円
総明会より助成金	1,000,000 円	会報関係費	2,500,000 円
寄付・広告	5,000,000 円	運営関係費	1,500,000 円
合 計	9,000,000 円	合 計	9,000,000 円

総明会評議委員会名簿

同期会

(敬称略)

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和63年		光岡孝之	米持貴史
平成2年		鈴木弘之和	森正樹
平成3年		山口一郎	斎藤直宏
平成4年		小畑高啓	福田浩茂
平成5年		安田利長	野吉克
平成5年		田中誠一	新村哲也
平成6年		河村健一	新金子敦史
平成7年		石田頼央	三村川満
平成8年		青木大健	香平田健
平成9年		小秋山光一	戸邊寛
平成10年	紫 98 俱	石川玉万理	保科大輔
平成11年	明 哲 会	岡庭朋威	上橋弘頌
平成12年	明 瀑 会	下田良征	武原一郎
平成13年	明 治 21	大杉田将平	徳竹正憲
平成14年		室井純荒	川佳史
平成15年		大室歩田	上淳二
平成16年		横倉光輝	大竹惇
平成17年		渡邊圭之	加藤慎敦
平成18年			
平成19年			
平成20年			
平成21年			

班部OB会

名 称	氏 名
生徒会本部	長谷川 裕
応援指導班	開 発 武 志
新聞班	西 山 光 彦
吹奏楽班	竹 越 利 彦
図書班	平 田 幸 彦
放送班	吉 田 雅 博
剣道部(見心会)	鈴木 幸男
硬式野球部(明球会)	世 古 俊 之
サッカー部	大 室 智
柔道部	小 川 洋 一
水泳部(明水会)	石 川 守 也
スキー部(明雪会)	吉 川 市 郎
卓球部(明卓OB会)	高 橋 正 脩
庭球部	林 伸 光
バレー部	樋 田 哲 次
フェンシング部	伊 藤 秀 文
陸上競技部	櫻 井 勝 也
バスケットボール部	年 田 善 仁
アイスホッケー愛好会(明水会)	武 藤 政 仁
囲碁部	田 島 弘 資
化学部	森 八 一
JRC	横 谷 昌 明
物理部	磯 部 進
マンドリン部	赤 岩 大 輔
歴史研究部	山 形 英 明

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和8年	昭 八 会	市 川 康 夫	
昭和10年		森 田 仁 七 郎	
昭和11年		板 垣 忠 光 吉	
昭和12年		中 富 春 男	
昭和13年	22 中 26 会	館 野 笠 光 人	
昭和15年	明 一 七 会	三 安 落 藤 賢 司	
昭和17年		鈴 合 昌 英 郎	
昭和18年		小 林 二 久 也	
昭和19年		齊 藤 西 敏 夫	
昭和20年	午 巳 の 会	菅 大 田 川 玉 城	高 橋 信 雄
昭和21年	明 二 会	小 寺 村 武 二	熊 井 耕 右
昭和22年	明 二 会	渡 邊 田 郎 行	
昭和23年	明 二 会	戸 田 一 郎	
昭和24年	明 二 会	矢 島 彰 一	
昭和25年	明 二 会	佐 藤 健 一	宇 田 川 雄 弘
昭和26年	明 二 会	小 林 正 三 郎	藤 田 義 茂
昭和27年	明 二 会	鈴 木 寿 雄 一	天 野 洋 一
昭和28年	明 二 会	加 藤 佳 夫	谷 正 之 士
昭和29年	明 二 会	加 藤 眞 樹	中 村 哲 一
昭和30年	明 二 会	戸 谷 誠 昭	高 橋 正 健
昭和31年	明 二 会	三 浦 仁 行	
昭和32年	明 二 会	佐 藤 正 仁	
昭和33年	明 二 会	阿 川 秀 次	菊 本 哲 也
昭和34年	明 二 会	川 城 康 郎	新 村 秀 男
昭和35年	明 二 会	結 城 一 夫	小 田 島 保 男
昭和36年	明 二 会	志 村 康 夫	中 河 孝 樹
昭和37年	明 二 会	寺 田 英 明	比 留 間 竹 一
昭和38年	明 二 会	山 形 茂 士	内 田 倉 豊
昭和39年	明 二 会	廣 野 宏 一	名 倉 前 実 孝
昭和40年	明 二 会	海 老 根 一 郎	大 吉 武 眞
昭和41年	明 二 会	山 崎 一 郎	山 石 黒 理 樹
昭和42年	明 二 会	森 一 郎	大 吉 武 眞
昭和43年	明 二 会	前 田 稲 一 朗	山 石 黒 理 樹
昭和44年	明 二 会	西 静 士	竹 越 上 泰 裕
昭和45年	明 二 会	井 口 幸 哉	水 邊 間 谷 貴
昭和46年	明 二 会	志 村 和 孝	渡 出 高 橋
昭和47年	明 二 会	大 迫 好 男	二 村 実 成
昭和48年	明 二 会	齊 木 麻 州	池 正 純
昭和49年	明 二 会	菊 池 達 宏	大 塚 実 成
昭和50年	明 二 会	森 一 郎	
昭和51年	明 二 会		
昭和52年	明 二 会		
昭和53年	明 二 会		
昭和54年	明 二 会		
昭和55年	明 二 会		
昭和56年	明 二 会		
昭和57年	明 二 会		
昭和58年	明 二 会		
昭和59年	明 二 会		
昭和61年	明 二 会		

総明会

会長 佐久間洋一

四十三年卒 紫讃会

副会長 尾島育四郎

四十一年卒 四一明友会

副会長 服部 雄二

四十四年卒 男坂俱樂部

副会長 吉田耕太郎

四十五年卒 獅子の会

専務理事 関谷 芳久

四十四年卒 男坂俱樂部

常務理事 井家上哲史

五十一年卒 明々会

事務局長 熊倉 章雄

五十四年卒 明誠会

会計 中村 正容

四十三年卒 紫讃会

昭和43年卒 紫讃会
総明会 会長

弁護士 佐久間 洋一

事務所 〒1004-0061 東京都中央区銀座5丁目8番5号
ニューギンザビル10号館5階
電話03-5568-6646 ファックス03-5568-6648

昭和44年卒
総明会
専務理事

関谷 芳久

男坂俱樂部

昭和41年卒
総明会
副会長

尾島育四郎

41明友会

昭和45年卒
総明会
副会長

吉田耕太郎

獅子の会

昭和54年卒
総明会
事務局長

熊倉 章雄

明誠会

昭和43年卒
総明会
会計

中村 正容

紫讃会

昭和51年卒
総明会
常務理事

井家上哲史

明々会

第15回

総明会チャリティーゴルフ大会を終えて

昭和57年卒 明魂会 阿久津一也

去る6月7日(日)恒例の第15回総明会チャリティーゴルフ大会が、高崎のサンコー72カントリークラブで開催されました。

当日は、百年に一度の不況下にも拘わらず、90名の方々に参加頂き、本当に有難うございました。当日は、先生方、元ご父兄の方々、ご家族、総明会会員(昭和34年卒〜平成10年卒)にご協力・ご協賛を頂き盛大に開催することができました。数日前より天候の状態が懸念され、大会4日前には40%の降水確率がその翌日に70%となりこれでは参加

人数が激減してしまうと思う間もなく30%に回復、大会当日は今年一番とも思われる快晴となりました。これも参加頂いた皆様の気概が天に通じたと確信しております。

今回のゴルフコースには宿泊施設が併設されていて前泊された方も多く、準備も余裕を持つてできました。何といっても40半ばの大人が修学旅行の様に同期で盛り上がった事は何物にも替え難いことでした。

コースレイアウトは全般的に広くストレートでOBも少なく、新緑の時期でも

あり爽快な気分プレーできました。但しグリーンは砲台で最後の詰めが甘いとスコアを崩してしまうコースでした。

競技内容は、個人戦・昨年同様の学年対抗戦・今年から試行した名人戦(昭和37年卒以前の先輩方による個人戦)と多彩に行われ、表彰式では各個人各学年の思惑とは裏腹で皆様一喜一憂されました。

成績は個人・学年対抗共に昨年同様44年卒「男坂倶楽部」の方々が優勝されました。この勢いは暫く続きそうです。また、名人戦は、昭和34年卒の福島正太郎氏が初代チャンピオンとなりました。

政府の経済対策による高速道路一律千円の影響で帰

路は渋滞となってしまいました。したが、事故も無く晴天に恵まれ一人の欠席者も無く開催され、様々な先輩方とお会い出来たすばらしい一日となりました。今後も総明会の一環であるこの会が未来永劫にわたり続くことを願います。



第15回総明会チャリティーゴルフ大会成績表

個人戦	氏名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
優勝	岩渕善美	S.44	45	43	88	15.6	72.4
準優勝	苅部 大	S.58	46	40	86	13.2	72.8
3位	秋山勝光	S.44	43	42	85	12.0	73.0

団体戦	卒業年	代表選手	NET
優勝	昭和 44 年	田島 実	220.0
		岩渕善美	
		秋山勝光	
準優勝	昭和 56 年	斉木麻州男	222.6
		市川洋治	
		鈴木望文	
3位	昭和 58 年	苅部 大	222.6
		鈴木鉄也	
		田村高志	

名人戦	氏名	卒業年	NET
優勝	福島正太郎	S.34	74.2
準優勝	石川 淳	S.34	77.4
3位	尾島雄三郎	S.34	78.0



※ 1 2 学年、先生、水泳部の
選抜メンバーによる。

※ 4位以下の方は紙面の関係
上省略させて頂きました。



◎寄付報告

・金一封

尾島育四郎様

金壹万円

関谷芳久様

金壹万円

吉田耕太郎様

金壹万円

名古屋和久様

金五千元

・協賛

山浦晟暉様

東京ディズニーランドペアチケット

中村正容様

バスタオル(参加者全員)

岡本力蔵様

魚沼招待 一万五千元分

大前実之様

子供用ペアTシャツ

サンコー72カントリークラブ様

クリスタルトロフィー、

ゴルフボール

◎チャリティー報告

合 計 七万七千円
学校へ寄付 七万七千円

※ 多大なご協力、ご協賛
を頂きありがとうございます。

SANKO72 COUNTRY CLUB

サンコーセブンツーカントリークラブ





第15回総明会チャリティーゴルフ大会開催コース

サンコー72カントリークラブ

〒370-2131 群馬県高崎市吉井町岩崎2179

TEL : 027-388-2800 FAX : 027-388-2072

予約時間 : 平日は8～18時、土日祝は7時半～18時

ゴルフ予約及びお問い合わせ : yoyaku@sanko72.com

URL : http://www.sanko72.com/

モバイルサイト<http://www.sanko72.com/mobile>

平成20年度明朗会活動報告

昭和44年卒 総明会企画委員会 藁谷 豊

明朗会は栄えある大先輩方に楽しんで頂きたいとの気持ちで、企画された会です。一昨年までは落語を中心とした会の運営を行って参りましたが、昨年よりお元気な大先輩方がたくさんいらっしゃるといふことで、今までの受動型の会から能動型の会にしてみようということで、昨年度はボーリング大会を企画しました。

元氣な先輩方には、ボーリング＋親睦会、他の先輩方には、親睦会からの参加もOKということで、平成20年9月27日に高田馬場駅前のビッグボックスにて、

開催致しました。

当日の参加者は、ボーリングから参加された方21名、親睦から参加された方16名、合計37名のご参加をいただき、開催されました。

ボーリングは、若手より大先輩方のご活躍が目立ちました。特に昭和28年卒の鈴木先輩、昭和39年卒の若松先輩のご活躍はすばらしく、さすがは昔取った杵柄と感心致しました。

優勝は本校教諭の山田先生でした。また、賞品には飲食店を経営されている方々の中から「巴瀾」の工藤先輩(昭和41年卒)「孫悟空」

の新村先輩(昭和42年卒)などのご協力により食事券を贈呈させていただきました。

また、プレイ後の親睦会もプレイ談議に花が咲き、最後の手締めまで、大いに盛り上がり、楽しく閉会となりました。

また、今年は当初、明治温泉ツアーを計画しておりましたが、今年に入ってから的高速料金の千円などに伴い、大変な混雑が見込まれるため、今回は計画を断念いたしました。期待してお待ちいただいた皆様申し訳ございません。

最後にボーリング大会の会場予約にあたり、総明会顧問の山浦先輩(昭和29年卒)に多大なご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。



総明会「班・部活動」夏合宿に スポーツドリンク差し入れ

担当：総明会学校渉外委員会

今年度より総明会では、夏合宿を行う「班・部」にスポーツドリンクの差し入れを行いました。

今夏合宿を行った「班・部」は次のとおりです。



「合宿に向かう図書班」

班・部 夏合宿一覧

班・部名	期間	参加人数	場所
図書班	7/18-7/20	18	山梨県南都留郡山中湖村
スキー部	7/27-7/29	9	長野県下高井郡木島平村
剣道部	7/27-7/30	23	群馬県利根郡片品村
卓球部(高校)	7/27-7/31	9	栃木県那須塩原市 栃木県大田原市
バトミントン(中学)	7/28-7/31	37	長野県下高井郡木島平村
応援指導班	7/28-8/1	30	新潟県南魚沼郡湯沢町
ソフトテニス	7/28-8/1	20	千葉県長生郡白子町
吹奏楽班	7/28-8/2	98	山梨県南都留郡富士川口湖町
バトミントン(高校)	7/28-8/2	52	長野県下高井郡山ノ内町
地理研究部	7/30-8/7	14	熊本県水俣市
バレー部(女子)	8/2-8/4	18	新潟県魚沼市
卓球部(中学)	8/2-8/6	28	群馬県利根郡片品村
サッカー部(高校)	8/2-8/6	60	茨城県神栖市
サッカー部(中学)	8/2-8/6	45	茨城県神栖市
高校軟式野球部	8/2-8/7	23	栃木県真岡市
バレー部(男子)	8/2-8/7	23	新潟県魚沼市
バスケット部	8/2-8/7	105	長野県下高井郡山ノ内町
コンピュータ部	8/3-8/4	8	千葉県千葉市
水泳部	8/3-8/6	24	福島県会津若松市
地学部	8/5-8/6	3	埼玉県秩父郡長瀨町
硬式テニス部(男子)	8/6-8/10	110	長野県上田市菅平高原
マンドリン部	8/7-8/11	37	山梨県南都留郡富士川口湖町
歴史研究部	8/8-8/11	6	長野県長野市 山形県米沢市
硬式テニス部(女子)	8/8-8/13	22	山梨県南都留郡山中湖村
硬式野球部	8/12-8/13	46	長野県飯田市
将棋部	8/12-8/14	9	埼玉県大里郡寄居町
美術部	8/18-8/20	6	京都府京都市
中学野球部	8/18-8/21	33	栃木県真岡市
鉄道研究部	8/23-8/26	11	青森県青森市

祝 第45回総明会総会

猿楽会

昭和26年卒

昭和36年卒

総明会

名誉会長

明治大学教授

向殿 政男

TEL03-3701-1691

総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎敬生



市原企業株式会社 代表取締役
〒299-0102 市原市青柳2-1-23

祝 第45回総明会総会

36年卒 明 駿 会

昭和40年卒

明優会

会長 大関清人

事務局

坪田達夫 TEL03-3947-2431

昭和四一年卒

尾島育四郎

三徳印刷株式会社

中央区京橋二・三・四
電話三八一・三〇六(代)

特集

～明治魂の伝承～

我が母校は、昨年、駿河台から調布へと移転しました。

「学び舎」は調布へ移転しても、「明治魂」は「永遠に不変」という思いがあります。

ところで、一体「明治魂」とは、何なのでしょう。たった3文字にこめられた熱き思いとは？綿々と続いているものとは？抽象的なイメージは浮かぶのですが。

そこで、「明治の魂」を追い求めてみました。

まず、総明会の名誉顧問であり、明治大学教授でもあられる「向殿政男氏」、
我々「明魂会」に高校3年間教鞭をとっていただき現在も教鞭をとられている
「安部友己先生」にご寄稿を戴きました。

また、

(1) 熱き魂を伝承されている総明会会員の方々へのアンケートをお願いし、
そこに潜んでいるものは？

(2) 伝承という意味では、歴史ある班・部活動では？

(3) 「明治魂」そのものが「かたち」となって顕れたのが「制服・制帽等」では？

(4) 兄弟校である明治大学付属八丈島高校にも「魂」はあったのか？

(5) 「甲子園のDVD鑑賞会」の取材でそこで見つけたものは？

あの「王元ソフトバンク監督」との対戦スコアブックを発見！そこから、何が？
という切り口で追い求めてみました。

明治魂の伝承について

伝統と校風

総明会名誉会長 向 殿 政 男

伝統とは、基本の理念に基づいて、時代に柔軟に対応して変化していくことであると解釈している。技術は進歩し、社会は変わり、それに従い時代は移り変わっていくものである。

しかし、人が目指すべき理想はそう変わるものではない。基本の理念とは変るものではない。不易流行とは、本来、このようなことを意味しているはずである。こう考えてみると、上で述べた伝統のもつ意味の重要性が良く理解できる。

学校にとって、基本の理念とは、建学の精神である。明治中学・高校にとっては質実剛健であり、明治大学にとっては権利自由・独立自治の精神である、質実剛健とは、いたずらに外見や言葉などで飾らずに、内容

を重視した愚直なまでの真面目な心構えを言い、心も体も頭脳もしっかりとしていて健全であることを意味している。

一方、校風とは、そこで学んでいる生徒や学生及び教職員が自ずと築き上げ、先輩から後輩へと受け継がれていくその学校の文化・風土である。この意味からは、校風は時代と共に変りうる面を持っている。

ここまで引き継がれてきた伝統の中で、母校が大きく変わった第1回目は、制度の変革、すなわち、旧制の明治中学から新制の明治中学・高校となり明治大学付属となったときであろう。これにより集まる生徒の集団も変り、校風は変った。

今回は第2回目の大変革である。西調布への校舎の

移転と男女共学制への変革が、どのような学風を築くか楽しみである。

校友会である総明会は、旧制と新制との校風を身に付けた卒業生が御互いの多様性を認めて尊重しつつ、母校と共に質実剛健の伝統を守り続けてきた誇りある歴史を持っている。

総明会が、新しい校風に培われた卒業生を迎えるに当たっても、この歴史を受け継いで欲しいと思っている。100年になんなんとするわが母校の伝統が引き継がれ、それを支援する総明会であり続けることを願っている。一本繋がった建学の精神を以って受け継がれている母校、帰りが得る心の故郷である母港が在ることは、あり難いことだと思っている。

明治魂の伝承について

「明魂会」の諸君、 30年経ちました

教諭 安部 友己

昭和54年4月、明治に就任した年、諸君に現代国語を教えることとなり、以来、三年間、諸君と共に「明治高校」を感じることとなつたわけですが、前任校（女子及び共学）に比したからか、花一本無い紫煙の中に、海千山千の男の匂いがする男塾である教員室（在籍していた女性教員3名は、その後退職され、平成七年度に女性の専任教員が採用されるまで、養護教諭を除いて女性教員は在職していなかった）は、私のやる気を喚起してくれました。

当時の諸君の制服・制帽姿は、正に「独立自治」「質実剛健」の校訓を具現化したものであったし、学校生活に対する取り組み姿勢も、自然とそうなっていたと、ノスタルジアの部分を差し引いても、やはりそう感じる場面は数多くありました。

諸君が高校二年生の年に「A・Bクラス」というクラスが出来、私はそのBクラスの担任になったのですが、定期考査が終わる毎に、

クラスの数名が他のC・D・Eクラスと入れ替わるという仕組みで、私は、そのメンバー表を教室の後へ貼る度に、心中で「頑張れ！」と咳いていたのを記憶しています。

Bクラスの諸君は、各クラブの部長が多く、七時間目の授業は、辛かったと思いますが、そんな中でも、友人の発言が「学校」の批判に及ぶものだったりすると、烈火の如く怒りを露わにする諸君が大勢いて、「愛校心」とは、こういう場面にも現れることもあるのかと、心が揺さぶられたことを今でも懐かしく思い出します。

また、B組から生徒会長を出そうと画策した私の気を汲んで立候補し、当選した生徒にも、その気概を感じました。

更に私が快感を覚えたのは、バドミントン部の生徒（現在彼は、高校日本一のチームを創り上げた他校の顧問です。）の国体出場が決まった時、全校生徒が体育館に集まり、激励会を開

いたことがありましたが、諸君の大声でのエール、拍手が、諸君の男気と友情を強く感じさせ、改めて、明治の良さを感得することができたことです。

平成21年になった今でも、コーチとして来校している諸君の同級生がいること自体、その証生であると言えるのでしよう。

個性的で、強くそして優しく、仁義を大事にした諸君達の思いや諸先輩方から受け継いだものを踏まえた、明治の理想的な在り方を追求し続けていかなければなりません。私は、最近の卒業生の色紙に、「自己に厳しく他に優しく」と書くことが多くなりました。

言わずもがなの言葉を書かずともそうである凛とした生徒が、来校した諸君を迎える様になることを期して微力を尽くそうと、諸君の卒業式の日、体育館の天井目掛けて飛んでいき、きれいな絵柄に映ったあの制帽の舞を思い出す度にそう思っています。

特集Ⅰ

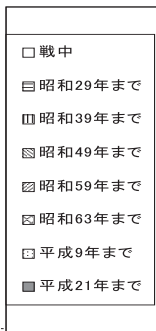
明治魂アンケート

今年度、総明会幹事学年である我々明魂会のテーマは「魂の伝承」。この大きく重いテーマに取り組むに当たり、そもそも『明治魂とは何ぞや』という重大疑問に突き当たった。同期の中では、「質実剛健」、「紫紺の血」から、「パンカラ」、「男子校」まで色々な声があるものの、感覚は大体同じであった。

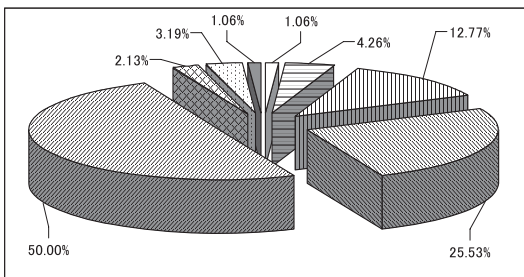
しかし、現役時代「近頃の若い者は・・・。」と言われ。最近は同じ事を言い出すようになってしまった我々である。どこかで間違っていないか不安もよぎる。

そこで、明治魂についてのアンケートを行う事にしました。評議員の皆さまのほか、チャリティーゴルフ会場でもご協力をお願いしました。その集計結果をここにをご紹介します。

昭和57年卒 明魂会 宮田 健

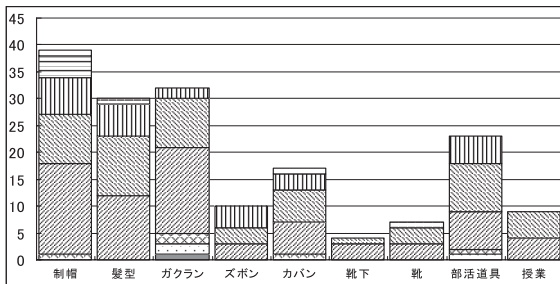


Q1 卒業年代



アンケートは、選択式で行い、複数選択も可としました。最初のQ1は、卒業の年代をお尋ねしました。計百名のご回答を頂きました。今回、各質問共に各年代別に集計をしています。凡例はすべて共通です。

Q2 思い出のアイテム

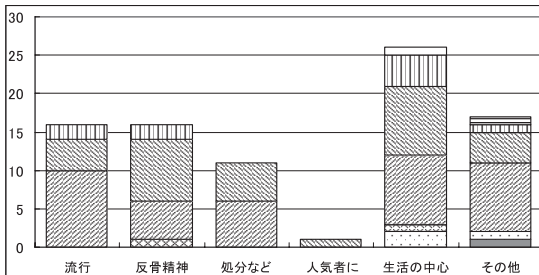


Q3 選択理由
①当時の流行、②反骨精神(先生、親、先輩などへの反発心、対抗心)、③処分、罰などを受けた、④人気者になった、⑤生活の中心(全て)だった、⑥その他

Q2 アイテム
①制帽、②髪型、③ガクラン、④ズボン、⑤カバン、⑥靴下、⑦靴、⑧部活動用具など、⑦その他

Q2、3では「在校時の思い出に残るアイテム」と、その「理由」を伺いました。

Q3 Q2選択理由



在学中の思い出の品は、やはり帽子や髪型、ガクランなど身だしなみに関わるものが多いようです。パンカラといったものも身だしなみに関わる必要です。また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。

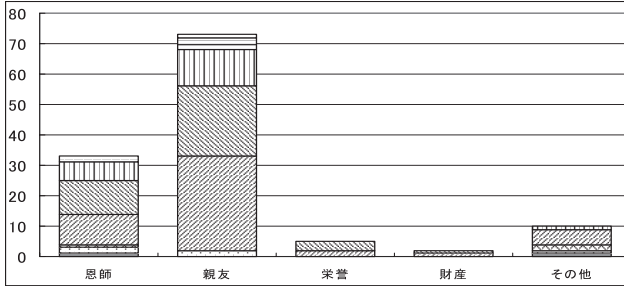
また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。

また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。

また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。

また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。また、髪型はかつて坊主頭が校則で決まっていた時代があったのも大きな理由の一つです。

Q4 明治高校で得たもの



受験勉強に邪魔されることなく、青春の思いのままに行動することができたことが最大の収穫ともいえるような気がします。

Q4では「明治高校で得たもの」として形に残るものを伺いました。

① 恩師、② 親友（先輩・後輩）、③ 栄誉（学校や大会等での表彰など）、④ 財産（バイト代など）、⑤ その他

予想通り、「親友」がダントツです。

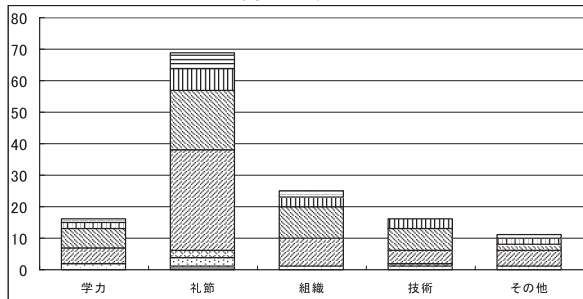
この中には先輩を上げる方、同期を上げる方々ですが、多くの深い人間関係を作り上げることができるのは明治高校ならではの事でしょう。

選択肢の「財産」に違和感を覚えた方もいらっしゃいました。幅広い世代にアンケートを行おうと考え、こんな考えをする方もいる可能性があるかと選択肢に加えました。幸いなことに「バイト代」だったという会員はいらっしゃいませんでした。（丸を付けられた方は、全てに丸を付けていらっしゃいました）

Q5は、「明治高校で身に付けたもの」として、形に残らないものを伺いました。

① 学力、② 礼節（上下関係）、③ 組織運営④ 技術（部活などの）、⑤ その他

Q5 明治高校で身につけたもの



身につけたものは、「礼節」これは全ての回答者が挙げたと言っても良いはずです。

明治高校ならではの上下関係が身につけさせたものと言えるでしょう。正に体育会系の学校として、社会に出てからもその体に染み込んだ立ち振る舞いが役に立ったと言う声を多く頂きました。

いよいよ、次のQ6が明治魂についての質問です。

Q6 「明治魂」の言葉から思うことは

① 質実剛健、② 独立自治、③ 権利自由、④ 明治の校歌、⑤ 御茶ノ水駿河台、⑥ 男子校、⑦ 喧嘩、⑧ 根性、⑨ まっすぐ、⑩ 男坂、⑪ 厳しい指導、⑫ 自由な校風、⑬ 厳しい先輩、⑭ 硬派、⑮ 厳しい練習、⑯ 紫紺、⑰ 運動部、⑱ 勉学奨励、⑲ 反骨精神、⑳ 協調、㉑ その他。

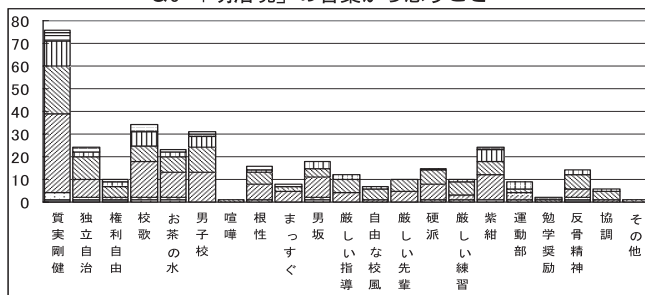
注目の結果は、「質実剛健」がダントツのトップとなりました。その後に「校歌」「男子校」「独立自治」「紫紺」と続きます。

在学中から常に「質実剛健」を言われ育った明治の卒業生はこの言葉が体にしみこんでいるようです。

そして2番の「校歌」と4番の「独立自治」我々の世代では、「独立自治」を一番聞いたのは、校歌の中であつたと思います。

Q7での47年卒の先輩に頂いた回答が正にこの通り。

Q6 「明治魂」の言葉から思うこと



曰く「校歌二番の詩がすべてを物語っているとおもいます。この詩を語った作詞者…児玉花外」当時の明治魂が、各世代の明治高校在籍者により次から次へと伝承され、受け継がれ、今日に至っているということであり、校歌を歌うということはその時間経過を遡り、明治魂が生まれたその時の気持ちに、時間を超えて向かった瞬間だとおもいます。」

最後のQ7では、「明治魂」や、「誇りに思う事」などを記述式で回答していただきました。その一部をご紹介します。

戦中を鬼畜敵国の一念を糧として生き抜き、終戦で得た「自由放任」の戸惑いの姿勢を見せ始めた生徒を、自らの日常生活態度で或いは勉学不達の友のついでには的確に励まして頂いたお姿は、卒業から60年をも越えて続く年一回の定期同期会18、25名の席でも、師の声色を真似・出席点呼の声が飛び交う始末です。

勿論、懇親会という会の趣旨からもお互いの生活圏に踏み込むような話題は少ないものの、生徒時代の思い出がこんなに楽しく語れるのは、本当に心の通った時を共に過ごしていたのだなと感じています。

〔昭和21年卒〕

幸せだったのは現在の教師よりずっと教育の本質を理解していた先生がいたこと。

全体がバンカラで多分下町育ちが多数を占めていた
悪さをしていた連中も基本的には純粋だったと思う。

〔昭和32年卒〕

付属という立場で勉強もさる事ながら大人と同じ遊びをさせて頂いた事と、応援団、生徒会活動の中で様々な方々との交流により人間としての基礎を学べた事は大変大きな財産となりました。

今の自分があるのは、中学、高校6年間に培われたものと思います。

〔昭和40年卒〕

「明治」の先輩・後輩の絆をとっても誇りに思います。

先輩を敬い、後輩を愛する
非常によい関係を明治で学びました。

また、日本一大きな同窓会「総明会」も明治魂のあらわれだと実感しています。

〔昭和50年卒〕

私が今までに出会った明治の

卒業生は、卒業してから何年たっても、また、同じ時期に学校に通っていたわけではない先輩、後輩であっても、誰もが「明治」を誇りに思っていました。

卒業すると、誰でも誇りに思えるものが得られる、それが明治の魅力だと思っています。

〔平成7年卒〕

「明治」に対する熱い思いを多くの皆さまにお書きいただきました。誌面の都合により一部しかご紹介できなかったことをお詫びいたします。

さて、このアンケート結果、読者の皆さまはどう感じになりましたか？

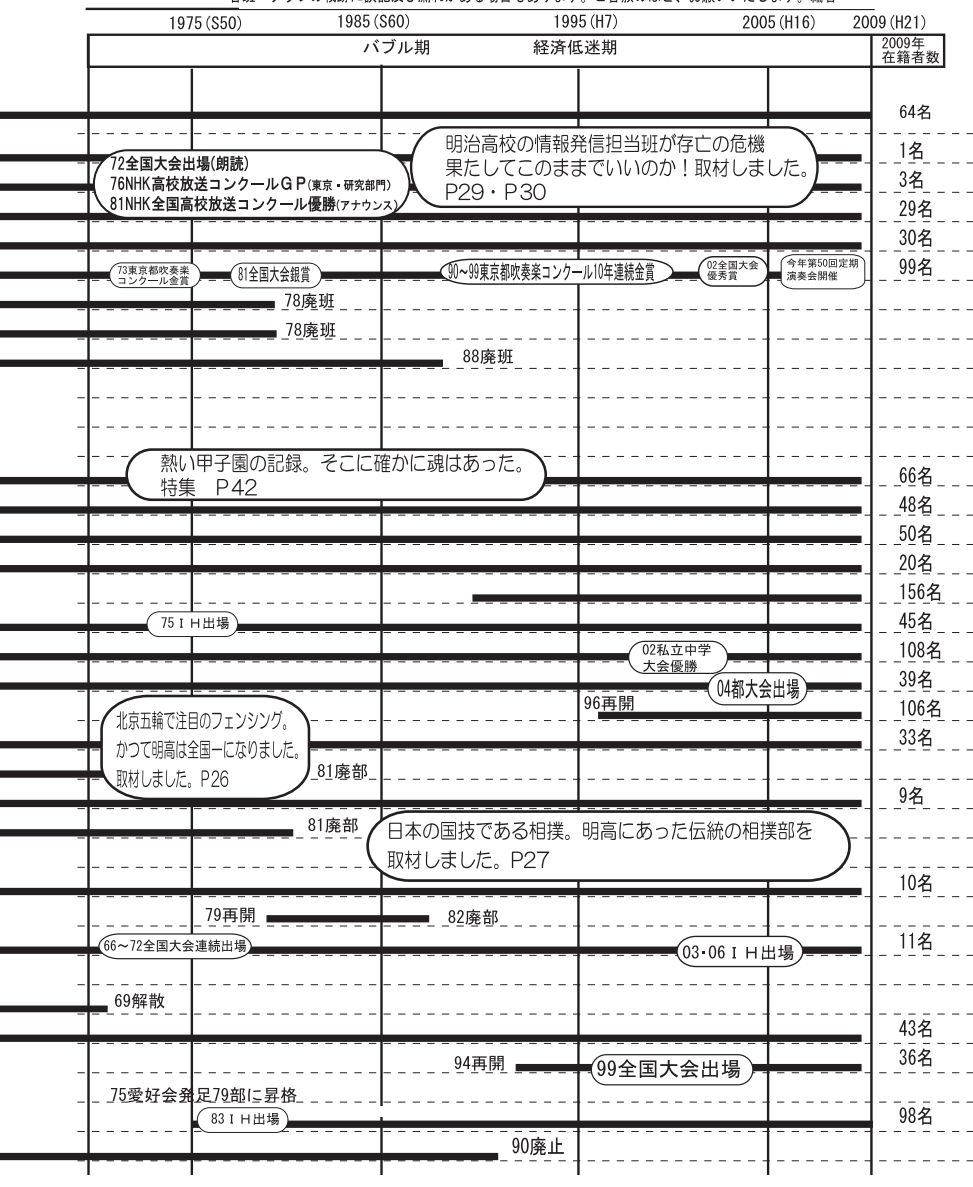
冒頭に記した私たちの心配は杞憂に終わったようです。どの世代でも、「体に染み込んだ質実剛健の精神と、深い人間関係で、地域や社会で活躍する」姿が見えるようです。

皆さん、やはり紫紺の血が流れているなあ！



旧制明治中学の史実において、大正12年よりクラブ活動の記録があります。綿々とその精神や技術が先輩から後輩へ伝承される、班クラブが過去から現在まで活躍しております。そんな中、残念ながら諸処の事情により休部若しくは廃部になってしまったクラブがあります。また現在、存続の危機にある班クラブもあります。どんな活動をして、なぜそうなったのか。年表を通して、その歴史の魂を追いかけてみました。

この年表は 明治中学高校60年史・90年史の記事・明治高校新聞・過程を参考にまとめたものです。
各班・クラブの戦跡に誤記及び漏れがある場合もあります。ご容赦のほど、お願いいたします。編者



<班・クラブの年表>

昭和57年卒 明魂会 小林 謙之

1923 (T12)		1941 (S16)	1945 (S20)	1955 (S30)	1965 (S40)
名称	旧制中学創設～戦前	戦時中	新生明高誕生期		高度成長期
生徒会本部			1949発足		
班)					
新聞					
放送					
図書					
応援指導					
吹奏楽				58創設	
衛生					
教育宣伝				風紀班として発足、55より教育宣伝班	
少年消防					67発足
クラブ活動)					
運動部)					
高校硬式野球	※旧制中学の為 1931創部			49国体 50春夏 51春、53夏、58春夏 65春甲子園	
高校軟式野球				51デビスカップ日本代表	
中学野球	1931創部			52都大会春夏連覇53日本一	
軟式テニス	1924活動中				
硬式テニス					
卓球	1937創部				57全国大会出場
バスケット	1926創部				58全国大会出場
バレー	1933創部				
サッカー	1925創部				
剣道	1924活動中				
フェンシング				53愛好会発足 63・55国体優勝 62・64関東大会優勝 66総体個人優勝	
柔道					
相撲			47年創部	47～57 全国大会10年連続出場	
護身道愛好会				54創立 59廃止	
高校山岳	明中山岳会として1924活動中)				
中学山岳	1929山岳部				
スキー				「明治中学校飛行場」の看板	57・59～64全国大会出場
スケート	1937創部				
アイスホッケー愛好会					1959発足 59～63国体出場
水泳	1937創部				57高校選手権 全国大会出場
陸上競技	1926創部				
航空	1937創部				
バドミントン					
ボーイスカウト					67創設
<頃不同>					

1937.6.20付朝日新聞 東京版より

この年表は 明治中学校60年史・90年史の記事・明治高校新聞・過程を参考にまとめたものです。
各班・クラブの戦跡に誤記及び漏れがある場合もあります。ご容赦のほど、お願いいたします。編者

1975 (S50)	1985 (S60)	1995 (H7)	2005 (S16)	2009 (H21)
バブル期		経済低迷期		2009年 在籍者数
		92廃部		
73より明大発掘調査隊に協力	伝統ある歴史研究部 現在部員は6名特集します。P31			6名
	95読売新聞に掲載	96廃部		18名
		98創部		3名
			2000全国学芸科学コンクール 内閣総理大臣賞受賞	
	82・85・88全国キラーマントリ フェスティバル大阪市長賞受賞	87スペイン 大使賞	文部大臣賞等 数回にわたり受賞	6名
			今年第50回の定期演奏会を行いました。	12名
			化学部 03～07 日本学生科学賞 優秀賞、最優秀賞 数回受賞	8名
	演劇部廃部			39名
	86インターハイディ ベスト8位			11名
				27名
				2名
73創部		92池袋文芸座 映画祭にて自主 製作映画上映		15名
72廃止				3名
70廃止				
万博日本 赤十字代表 に選出		85JRCとインター7統合		10名
	79年に愛好会から部に昇格	80東京都 幕大会優勝		12名
70愛好会設立		86東京都春季 大会にて優勝		13名
		97廃部		
75愛好会設立				9名
75愛好会設立		83廃部		
75愛好会設立		81廃部		
75愛好会設立	78廃止			
77愛好会設立	79部に昇格		98廃部 04再開	11名

〈班・クラブの年表〉

1923 (T12)		1941 (S16)	1945 (S20)	1955 (S30)		1965 (S40)
名称	旧制中学創設～戦前	戦時中		新生明高誕生期	高度成長期	
クラブ活動	〈順不同〉					
（文化部）						
文芸	1926創部(当初雑誌部)				56国文研究部に併合	
国文研究						63廃部
東洋文化研究						
歴史研究						
地理研究						
商業研究						
地学					56廃部	
数学						
物理						
化学	1935創設(理科会)				55科学部	57理科部 59科学部
生物						
音楽(マントリン)	1932創部				55マントリン部創設	TBS子供音楽コンクールで最優秀賞獲得
美術	1924活動中(当初黒土会)					57～78美術演劇部
演劇						
英語	1931創部					
弁論	1936創部				56廃部 56創部	
写真	1936・37 全国中学弁論大会連続優勝				60創部	68～73全日本学生清書コンクールで文部大臣賞5年連続受賞
書道						
映画技術研究						62創設
合唱愛好会						62創設
聖書購読会					58創設	58人命救助で都知事より表彰
J R C						65創設
インターアクト						67愛好会設立
囲碁						
将棋						
天文						67愛好会設立
コンピューター						
アウトスペース						
園芸						
奇術						
詩吟						
鉄道研究						

戦時中は部・会が班に名称変更され、ほとんど活動なし

アウトスペースって何をやってたクラブ？
徹底取材いたしました。P28

以上のような実績が、長い間営々と築き上げられた明治中学高校の歴史そのものであり、文化伝統を創った礎であるはず。その伝統いわば魂を継承して先輩から後輩へつなげていけるよう見守ることこそ、我々OBの使命であるとおもう。

廃部になった部活動から

フエンスィング部の思い出

昭和42年卒 M 41 伊藤 秀文

明中・明高時代を振り返る時、勉強したこと等はまったく思い出さず、楽しくもあり、苦しくもあったクラブ活動のことが頭に浮かびます。

当時珍しいフエンスィングの愛好会が有り、興味本位で入会しました。練習は愛好会ということで高校の体育館は使えず、明大4階の体育館で行っていました。

正式に部に昇格したのは、私が中3の時、昭和38年でした。

愛好会時代を含めて、その戦歴は競技人口が少ないとは言え、素晴らしいものでした。

昭和28年
第八回 国民体育大会

団体戦 優勝

昭和30年

第十回 国民体育大会

団体戦 優勝

昭和37年

関東大会 個人戦

新井智勝 優勝

昭和39年

関東大会

団体戦 優勝

昭和41年

全国総合体育大会

サーブル個人戦

石神修司 優勝

同フルーレ個人戦

阿部政人 2位

我校運動部の歴史の中でインターハイの優勝者は、石神君が唯一だと思われま

当時は、部員数も30名を越え、大学リーグで最強の明治大学の学生と一緒に練習できたことが、この好結果につながったと思っています。

技術的には最高水準の環境にいたことになりましたが、それだけに練習は厳しく、辛いものでした。

特に夏の合宿は印象に残っています。目に汗が入って痛いのは初日だけ、後は汗をかきすぎて塩分がなくなり痛くありませんでした。

夜布団に入ると明日もまたあの辛い練習があるのかと思うと、眠るのがいやになるほどでした。ただその辛い練習が、インターハイの優勝に結びついたのだと思っています。

現在、フエンスィング部がなくなっていることが残念でなりません。昨年は、太田雄貴選手が北京オリンピック

クで銀メダルを獲得し、フエンスィングが改めて注目されています。

まず、フエンスィングは見るより実際にやってみると楽しいスポーツです。また、太田選手を見ても解るとおり、スピードとテクニクが重視されるので、小柄でもハンデになりません。

OB一同、フエンスィング部の復活を心から望んでいます。

興味のある方は、是非伊藤まで連絡ください。

連絡先

東京都台東区浅草橋3-6
TEL 03-3851-2564



昭和42年卒 伊藤秀文氏と石神修司氏

廃部になった部活動から

クラブ活動 “万歳” (相撲部)

昭和44年卒 男坂倶楽部 藁谷 豊

私が相撲部に在籍しましたのは、中学1年から高校

Ⅱ年までの約5年間でした。

その後は、プロの道に入っ
た為、アマチュアのクラブ
で活動はできなくなりました。

当時の相撲部は、部員数
も少なく、いつ廃部になっ
てもおかしくない状況でし
た。しかし、先輩には実績
のある優れた先輩が数多く
いらっしかったです。

当時を振り返り、今も懐
かしく思い出すのは、やは
り夏期合宿です。高校1年
の時、那古船形にある大学

の合宿所を借りての合宿で
した。

OBの先輩方、現役高校
生、総勢6名程だったと記
憶しております。ささやか
な人数ではありましたが、
稽古は大変厳しく、午前と
午後の2回にわけて行いま
した。

稽古は厳しくても、終わっ
た後の食事は大変美味しく
て、感激した事を憶えてお
ります。また夜、合宿所を
抜け出し、かき氷を食べに
行った事など、懐かしく思
い出されます。

その合宿を体験させてい

ただいた、久保井先輩や新
村先輩とは、今も親しくお
付き合いをさせていただき、
いまだに面倒を見ていただ
いております。

この明治の先輩、後輩の
つながりこそ、クラブ活動
の原点のような気がします。
先輩は後輩をかわいがり、
受けた後輩は先輩となり、
又、後輩を可愛がる。この
チェーンのようなつながり
があるから、総明会が連綿
とつながっているのだと思
います。

調布に移転しても、共学
になっても、この精神は受
け継がれていくべきものだ
と思います。

建物の新築・リフォーム・耐震診断

ワイシー企画株式会社

代表取締役 藁谷 豊(昭和44年卒)

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡263-1

TEL04-2990-5111 FAX04-2990-5005

E-mail: yc-kikaku@ba.wakwak.com

URL <http://www.yc.jp.com/>

アウトスペース

廃部になってしまったクラブ活動を調べているとき、見覚えはあるが、どんな活動をしていたかわからないクラブに遭遇した。「アウタースペース部」このクラブは昭和51年愛好会として発足、顧問は英語科担当の下野先生。明高新聞に取り上げられている記事には、『我々は現代のミステリーつまり、心霊やUFO、超自然現象を研究しています』となっている。昭和40年代の後半から空前のオカルトブームが世の中を席巻し、テレビや雑誌で、いろいろな超常現象が取り上げられている背景から、このような愛好会が生まれたのであろう。でも、疑問は残る。まず、どんな活動をしていたのか、そして、何故、廃部になったのか。まず、所属していた先輩を探してみた。近しい先輩たちに尋ねても、皆、

クラブの存在自体を知らない人はかりで、元部員を探すことは困難を極めた。それで、顧問であった下野先生にお願ひし、御茶ノ水までご足労頂き、インタビューした。

『アウトスペース』の言葉の意味は、『宇宙の外』というもので、実際に科学では解明できない超常現象のこと。活動は、超常現象を扱った本などの情報から興味のある内容をピックアップし、調査、検証する（検証を試みる）というものだ。そうで、夏合宿もあったそう。詳しい話は、最後の頃の部長を勤められた昭和56年卒の沖田郁夫氏が良く知っているのとを伺った。

早速、沖田氏とアポイントをとり、御茶ノ水でお会いした。沖田氏に当時の経緯を伝え、早速、当時の活動内容を、そして廃部になっ

た理由を伺った。活動は、先述の内容と同じだったが、その中で印象に残ったことはとの間いかに、紫紺祭でダウンジングをやったことと話されていた。(ダウンジングとは、振り子やいろいろな形の棒を使って、地下の水脈などを探して当てる技術のことである。4000年以上の歴史があるといわれ、現在でも、水道管の位置を探し当めたり、地雷を発見するたに利用されている。と文献にある。)

また、合宿では、長野県の南志賀学寮にUFOを探しに行くこともあったが、結局、天体観測になってしまったとか。

では、何故なくなってしまったのか。形にある目標が無く、また、継続して調査するテーマを決め切れなかったことと沖田氏は語った。

毎回の活動では、雑誌などのような記事を見つけて、話し合うが、検証に行っても、そう簡単には超常現象が起きるわけではなく、知識を得るのみの活動であったため、達成感がな



昭和56年卒 沖田郁夫氏

くなくなってしまったとのこと。
である意味、SF小説を読ん
で、空想の世界をさまよう
ようなものではなかったの
か。形や目標無きクラブ活
動は、いくらか好きでもつ
らいものがあるのだろう。
在し、活動できたのは、明
治という学校の生徒の気質
自治を尊重するといふかと
話す。生徒のいろはなかと
とに対する興味を理解するこ
顧問の先生の心意気に感謝
した。最近、文化部に入学
入りが減っているらしい。高
校時代、得てして運動部に
人気が集まるが、勝つか負
けるかの価値観の他に、こ
のような価値観のクラブ活
動になにか明治の魂を感じて
いる。

人数の減ってしまった班

新聞班の歴史と役割

昭和47年卒 四七四七同志会 並木 清志

明治高校新聞は、戦後のつづく昭和24年、生徒会の発足と同時に第1号が11月に発行されました。

その文面の中に「生徒会が組織せられたということは、我々の終戦後の学校の歴史として特筆すべきものであり、その下に学園民主化活動のひとつの象徴である新聞が我々が組織した生徒会の手によって発行されることは如何なる方面から注目しても誠に悦ばしいこと。」生徒自治を勝ち取っ

た意義を述べています。

学校新聞は学校の出版物と違い、当時の学生が考え、感じたその時代を表現・記録した財産です。過去の記事を見ると、軍隊と見まがうような整列、ロイド眼鏡の先生方の写真など一目で戦後を感じさせてくれます。

また、早弁の賛否論、長髪問題などのユニークな企画記事は膨大な明高の歴史を生徒の視点で捉えています。その積み重ねによって、

明中高の生徒の歴史が、いつの間にか出来上がっているのです。そして、皆様も登場人物の一人なのです。

現在、新聞を発行できないほど、班員が少なくないと聞き、なんとも寂しい限りです。また、放送班の班員も少なく、明中高の自主伝達

メディアは崩壊しているといわざるをえません。

まさに、「独立自治」「権利自由」を放棄している状態です。是非、現役の諸君は歴史の1ページを無駄にしないでほしいと思います。



明治高校中学校新聞創刊号

人数の減ってしまった班

放送班

昭和57年卒 明魂会 宮田 健

幹事学年として会報作成に携わり学校の現況などを目にして一番残念だったことが、我が放送班の班員がわずか3名に減少していることであった。そこで、現役時代の放送班活躍を振り返ってみる。

放送班の活動として生徒の目に触れるのは、校内放送（といっても呼出し放送や、下校時刻の放送程度だが）や、朝礼から始まり入学式、マラソン大会、体育祭での放送設備の準備・管理等である。

「放送班は、ただの伝達班になるな」との故田村晴彦先生の指導の下、放送で情報を正しく伝えるには、正しい日本語を美しく使うことが大切であり、そのため毎日発声練習や、アナウ

ンスの練習を行っていた。また、紫紺祭でのレコードコンサートなどに放送機器の操作を訓練する技術練習を日々行っていた。

これらの成果を発表する場として、2つの大きな大会がある。「NHK杯全国高校放送コンテスト」と、「東京都高等学校文化祭放送部門」である。

これらの大会は、「アナウンス部門」や「朗読部門」「番組制作部門」等に分離しており、それぞれにエントリーしていた。「アナウンス部門」「朗読部門」については声変わりの時期と重なることから、女子生徒の独断場と言っても良い程であった。

このため男子校の我が放送班では、都大会の予選を

通過することも難しかった。しかし、日々鍛えた発声で「アナウンス部門」「朗読部門」の予選通過者は年々増えていった時期でもあった。

その中でも、昭和56年に開催された「第28回NHK杯全国高校放送コンテスト」において、当時高Ⅱの昭和58年卒 川嶋君がアナウンス部門全国大会優勝という素晴らしい成績をあげた。男性では初めての全国大会優勝という快挙であった。

川嶋君は、明治高校OBでもある坂本朝一NHK会長（当時、故人）からお祝いの手紙が届いたり、NHKの番組に呼ばれるなど、時の人となった。今でも彼は紅白歌合戦を見ると、「あの舞台に立ったんだなあ」と感慨に耽るそうである。

また番組制作とは放送劇や、録音構成によりラジオ番組を作成するものであり、放送劇は歴代の先輩がオリジナルの台本を書き下ろし、制作していた。



「現在も明治高校に飾られている、NHK杯優勝時のトロフィー」

放送劇制作の際は、故田村先生秘蔵のベロシティマイクにより録音を行い、音質にもこだわった作品作りを行っていた。放送劇や、録音構成番組は、「東京都高等学校文化祭」を中心に出品し、放送劇は入賞の常連となっており、2代上の先輩は関東大会入賞を果たしました。録音構成は筆者が制作した番組の4位入賞が、初の入賞となった。大勢の前で話をする訓練は、社会人になって非常に役立っている。現役の皆さんにも是非この様な活動をしていただきたいと願ひ筆をおくことにする。

人数の減ってしまった部

がんばれ歴研

30年前のひとこまから

昭和54年卒 明誠会 石川 俊彦

歴史研究部は伝統ある文化部ですが、あまり活動内容が知られていないかもしれません。一言で言えば年度毎にテーマを決め、その歴史遺産について歩き、調べ、語らうクラブという感じかもしれません。

自分が在籍していたのは昭和48年から53年の6年間です。中1の時は伊藤先生（ゲルマン先生）が顧問で中2から保坂先生（赤だこ先生）が顧問になられた時期です。襟章に「牛」のバッジをつけた部員が各学年45人、個性的な部員が多かったような気がします。部室は社会科研究室という特別な教室を地理研とシェアして使っていました。こんな約30年前の活動の一ペー

ジを紹介したいと思います。当時の活動は週1回の漢文の講習会、文化部などの北の丸公園での週1回のマラソン、紫紺祭でのテーマ研究展示、夏休みと春休みの合宿といったものでした。

夏合宿は、明大の考古学研究室が発掘していた茨城県勝田近郊の弥生時代の住居址の発掘や、当時話題になった装飾壁画古墳の虎塚古墳発掘に参加していました。合宿で覚えていることといえばラジウム鉱泉の民宿に連泊したこと、井戸で冷えたスイカをたらふく食べたこと、鉱泉にはいると体中がかゆくなったこと、夜の肝試しが怖かったことなどか、印象に残ったことは多いのですが、歴史のことは

あまり覚えていません。

春合宿は、一口でいうと歴史遺産見学旅行。大体1週間位。修学旅行を毎年しているようなもので、自分の在学中には奈良、京都、北陸、山口、滋賀など全国各所を歩き、中高生にして見聞体験範囲が一気に広がり、ありがたい旅行でした。春合宿は現在でも活動の中心になっているようです。

日ごろの調査成果を発表する紫紺祭展示は年間テーマの鳥瞰図模型、伝説の安土城の復元模型をつくりそれを展示の核としてまわりの壁に模造紙に書いた説明文を張る形でした。

そんな展示も毎年やっているのと飽きてきてちょっと違ったものをつくろうということになって、高Ⅱの時には、忍辱屋敷を教室に作ったのが思い出です。遊園地のお化け屋敷のようなウォークインスタイルで、どんな

ん返し、落とし穴、抜け穴などの仕掛けがなかなか好評で校内表彰されたことを思い出します。

卒業後間もないころは紫紺祭に出かけたこともありましたが最近のご無沙汰しております。

校舎も御茶ノ水から調布に移り、また共学校になったことで、これから歴研もどのように発展してゆくか楽しみです。がんばれ歴研！



新発見!!

あの時、私は若かった?!

明治高校・中学校 制服の変遷

特集Ⅲ

昭和57年卒 明魂会 関川 一浩

一体いつから明治高校は
長髪になったの?
今の制服はいつから始まった?
歴史を紐解いていくうちに
新しい明治魂のルーツが
みえてきた……

1959年(昭和34年)

明高 坊主から長髪へ

明中 カバン肩かけ(布製)から
手提げカバンどちらも可

頭髪の自由化により制帽をかぶ
らない生徒が増え、教育宣伝班
による街頭の服装検査もあった。

通学時の電車の混雑時非常に不
便であるとの理由



肩かけカバン

街頭調査の記事



(1961年)		(%)
東京	区部	88.5
	市部	1.3
	計	89.8
	神奈川県	2.5
	千葉県	4.6
	埼玉県	3.1
	茨城県	0.0
	計	100.0

区部でも千代田区、文京区、台東区、葛飾区、足立区が多い

もうひとつの移り変り
通学圏内の移り変り



中学生の坊主の意識調査
1966年のアンケート

	高校生	中学生
大変よい	56%	0%
よい	32%	8%
わるい	8%	9%
大変わるい	4%	83%

高校生と中学生との間で意識のずれがあり、中学生からは「高校生坊主論」というものもあった

心臓に負担がかかる、通学時の混んでる電車での荷物になるとの理由から

グレーの開襟シャツでともかく格好悪かった。恥ずかしかった。

- 廃止の理由
時代の流れ、一生を通じ中学生生活だけではおかしい、小学生も長髪
- 長髪基準規定
・刈上げ、・横にかからない、・帽子がかぶれる髪型等



坊主頭の記事



夏服

(1980年)		(%)
東京	区部	68.7
	市部	4.7
	計	73.4
	神奈川県	9.1
	千葉県	9.4
	埼玉県	7.9
	茨城県	0.2
	計	100.0

区部、西東京へ拡大

通学圏の拡大

電車網の発達

1986年（昭和61年）

皮製手提げカバンから、ナイロン製の肩かタイプへ

自由と伝統が問題視されるようになってきた

1989年（平成元年）

制帽自由化

制帽をかぶる、かぶらないの自由化した結果、制帽を着用しなくなった

長髪化により帽子をかぶらなくなった者が多くなった。一方、世の中の風潮として制服が多様化しファッションの一部として取り扱われるようになってきた

1990年（平成2年）

襟章の改正

1995年（平成7年）

かばん改正

制帽の自由化により校章を着用することがなくなったので襟章にクラスパッチと校章を組み合わせた

1999年（平成11年）

セーター、ベスト統一

様々な色を着用していたので統一（学校指定）

2000年（平成12年）

カバン改正（現在のものへ）

以前のものは使い勝手が悪く、手で持てる・背負えるタイプにした



現在のカバン



校章とクラスパッチが一緒になった襟章



1989年までの襟章

(2002年)		(%)
東京	区部	52.1
	市部	7.4
	計	59.5
	神奈川県	14.4
	千葉県	12.3
	埼玉県	13.4
	茨城県	0.4
	計	100.0

通学圏の拡大

電網の発達

2008年(平成20年)

男女共学・調布移転

襟章明治大学のMマークへ

「M」は明治大学創立120周年に向け、新たな一歩を踏み出すためのシンボルマークとして作られたもの

「伝統を受け継ぎ、21世紀に向けて大きく飛躍・上昇する明治をイメージしたものを公募した

共学に伴い、女子の制服に校章と考えた際、男子の襟章では・、バランスを考え「M」マークにした

「M」マークを考えたのは明高のOB岸塚君(明大4年のとき)

女子の制服について

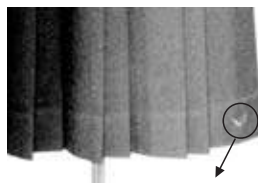
男子の詰襟とのバランスも考慮してセーラーブレザー(今、流行女子高生に人気)とした。
コンセプトは「清楚」で「凛」とした雰囲気漂わせる。色は明治カラーとした。父兄、生徒にも評判は上々。
スカートのこだわり「M」もマークがさりげなく入っている。スカートを短くさせないためとも言われている。

「女子制服」



「M」マークの襟章

今回久しぶりに母校へ行って生徒をみたら、何か「凛」としてものが、感じられなく寂しい思いがした。それは何故なのだろうか。自分たちの時代から、制帽やカバン、校章(襟章バッジ)が変わったからだろうか。自分たちの時代はそれらが「伝統」であり、「誇り」でもあり、「明治高校」という「形」に頼れたものであるからだろうか。生徒心得は、自分たちの頃とそんなに変わっていない。女子の欄が増えたくらいだ。
制服や、制帽、校章は、明治高校の文化・伝統を培ってきたものが形として頼れたそのものだろうと思う。時代の変化によって変わってしまったのは仕方がないとしても、この根底にあるものは伝統や魂として継承していく必要はないだろうかと思ふと感じた。それが、身のまわりのものではないにしても、それがなくて「凛」としたものを感せず、寂しい思いがしたのだろうか？
時代とともに容姿は変わっても、新たな学び舎で母校への愛校心をしっかり受け継いでほしい。併せて伝統と融合した時代に合った文化も築き上げて欲しいと思う。



Mマーク

(2008年) (%)

東京	区部	36.1
	市部	34.0
	計	70.1
神奈川県		18.2
千葉県		2.3
埼玉県		9.4
茨城県		0.0
計		100.0



祝 第45回総明会総会
明卓OB会 日時10月24日(土)18:00
30周年 会場 明大紫紺館6F
記念総会 多数のご出席をお待ちしております。
明治高等学校卓球部OB会
会長 高橋正侑(昭和38年卒)

生徒会本部 紫紺クラブ
生徒会本部 OB会

会長 三浦昭生
(昭和38年卒)

事務局長 長谷川裕
(昭和43年卒)

TEL 03-5616-4395

祝 第45回総明会総会
がんばれ明魂会
歴史研究部OB会

会長 山形 英明 (昭和45年卒)
事務局長 大塚健太郎 (昭和37年卒)
監事 平沢 一義 (昭和42年卒)

祝 第45回総明会総会
昭和45年卒

獅子の会

祝 第45回 総明会 総会
昭和46年卒

明潮会

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

株式会社
ポトマックガーデン

代表取締役

平田 幸彦

〒107-0052
東京都港区赤坂7-8-13
TEL 03-3589-0678
FAX 03-3583-9423

特集Ⅳ

明治大学付属八丈島高校 魂の伝承とは！？

東京から南へ287km

この遠く離れた地に明治高校の兄弟校が存在していた。

残念ながら現在は閉校になってしまっているが
その“明治魂”は今も生き続けている

当時の通学風景

跡地に残る魂の痕跡

八丈島は八丈島の中心にあった。

現在の八丈島高校跡地遠景

昭和57年卒 明魂会
関川 一浩
小林 謙之

お元氣な卒業生の方々

今から、60年余り前、八丈島に「メイコウ」と呼ばれ我々と同じ校旗の下、校歌・応援歌を歌っていた学校が存在したことは、昭和47年卒並木先輩の取材で10年前の会報誌に開校から閉校まで及び校旗の行方について紹介されたことは、既にご承知のことと思います。

その後、応援指導班による合宿等でも紹介されておりますが、それから10年の月日が経ちました。今回は兄弟校ともいべき明治大学付属八丈島高校（以下明治高八丈島と称す）に「明治の魂は伝承されているか」を探ってきました。

明治高八丈島は、八丈島では、我々の学校と同様に「メイコウ」と呼ばれ、現在でもその名前は親しみを込めて呼ばれております。

1950年、1955年のたった5年間しか存在しなかったにもかかわらず、300名余りの学生を輩出。卒業生は教鞭を執る方や



▲笹本前町長と校旗



▲笹本前町長



▲田代敏範先輩



▲八丈島の跡地

町の要職に就かれた方が多い。それは当時の学校において教鞭を執られた方が東京高師卒、明大法卒、イリノイ州立大卒、東大仏文科卒、大妻女専卒、東大名誉教授等の優れた教師陣がいりしからであらう。

「明高八丈島」は現地のローカル新聞「南海タイムス」にたびたび紹介されております。

体育祭や文化祭の活発な様子や「独立自治の学園」として島民に親しまれている」という記事、卒業式（第1回・最後まで）の記事等。

また、「明高八丈島」主催の陸上競技大会や弁論大会が行われていたことから、文化・教育の面に至るまで本当に島民に親しまれていたのであらう。

1954年10月、1955年4月の2度の町村合併により八丈町となったことにより、1つの町に高校が2つ（もうひとつは都立八丈高校）できてしまったこ

とによるものであらうか、1955年「明高八丈島」は八丈島から撤退します。

当時の校舎は都立八丈高校へ吸収されますが、その後も、牛角力本場所が開催されるなど撤退後も跡地は島民に親しみの場所として存在しておりましたが、数年後、生徒がお弁当をストーブで温めていたことが原因で校舎が火事となり全焼してしまいました。

伊豆諸島東京移管百年史の中で昭和37年2月に八丈高校中道教場全焼とある。

それが「明高八丈島」の校舎跡なのであらうか（中道という地名は「明高八丈島」の跡地である）。あまりにも寂しい結末です。

10年前の会報誌では、校旗は、歴史民族資料館へとありましたが、その後、「明高八丈島」跡地がよりよいのではという卒業生及び関係者各位のご尽力により、跡地であるコミュニティセンターに保管され、町の



▲総明賞



▲大澤勝一先輩

教育委員会に管理されてお
ります。

校章、校歌が同じである
明高八丈島にも同じ「メイ
コウ」と呼ばれているのだ
に、「明治の魂があるのだ
ろうか」という思いを胸に、
浅沼町長（明高八丈島卒4
期生）に、明治の魂につい
てインタビュを申し込ん
だところ、「私よりふさわ
しい人がいるのでこちらに
インタビュを」とのお話
を受け、挨拶も早々に「魂」
を探りにその方にインタビュ
にうかがいました。

その方は、「メイコウ」
の第1回卒業式において南
海タイムスに「最優秀賞」
「総明賞」を授与された
と紹介されました「大澤勝一
先輩」。当時のお話、思
い出をいろいろお聞きしまし
た。

「明高八丈島は、三根の
町民の希望だった。この高
校が出来るまで、荒野を切
り開き、整地し、三根小学
校の校舎を移築し、コの字

型の校舎の両サイドを切っ
て、格好をよくし、すべて
住民の自前で行った。来る
日も来る日も、老若男女が
この学校建設のために朝か
ら晩まで、スコップやら、
つるはしやらを担いで、学
校作りをしたことを覚えて
いる。

大人たちの政治的な背景
が、大賀郷との争いが三根
村住民すべてを巻き込んで
学校づくりへと動かしただ
ろう。」と、細い目を掠
めながら、先輩はつぶやい
ていました。

また、「戦後の動乱の中、
若者が戦争で多く亡くなり、
それでも内地より恵まれて
いた八丈島は、今思うと格
好の若者集めの場所だった
かも知れないね。付属高校
を作れば、みんな大学へ行
くからね。無試験でさ。当
時は、学芸大だって無試験
だったんだよ。」って笑っ
て話しました。

高校の分校に在籍していた
私は、親の命令で明大八丈
島高校へ編入した。高校Ⅲ
年の時だった。学校では、
今まで会ったことのない立
派な先生たちが教鞭をとり、
明らかに園芸高校時代の授
業とは違っていた。私は、
生徒たちの中でも優秀だっ
た。」と話す先輩の指差す
ほうを見ると、鶴沢総明先
生の名前の入った賞状が、
大切に額に入れられて飾ら
れていました。

僕は、立ち上がり写真を
撮りました。当時の学校は、
自前の運動場もひろく、と
にかくスポーツが盛んだった
そうです。

野球やサッカー、陸上な
どの部活が存在し、都立園
芸高校の分校との対戦や島
の5地区の村の対抗試合等
も開かれ、その日は、島中
の人が学校を訪れたよう
です。

そして明高八丈島の試合
では、大学と同じ校歌や応援
歌が歌われたそうです。

先輩は「おお明治。」とその一節を歌ってみせました。たった1年しか通っていない先輩が、まるで3年間過ごしたかのような愛校心をもち、自分の歴史の誇りであったかのように話すさまを見ていると、まるで、遠くに住んでいる明大明治高校の先輩のように思えてきました。

先輩の話はまだまだ続きます。「私は、学校に住んでいた時期があったんだ。宿直の先生の代わりにね。試験前になると、授業のわからなくなったら女子生徒たちが料理を持ってやってくる。勉強を教えてくれてね。最初は2、3人そのうちに宿直室に入れないくらいになってとうとう、本当の教室を貸してくれて先生にいったよ。」

そしたら使っているという事になり、夜は私が講師の即席夜学が出来上がったんだ。とっても評判がよく、中には、本当の先生よ

り教えるのがうまいっていわれたよ。」豪快に笑いながら、でも少し照れながら話してくれました。遠い昔の記憶の中で断片的に思い出したように話す先輩の話しに引き込まれてしまい、時間の経つのも忘れていく、「昼飯食いに行くか」って誘ってくれました。

でも、その後の予定があるのと伝えると、「じゃあ夜ご馳走してやるから。八丈島でしか食べられないものだぞ。」とおっしゃってました。名残惜しい中、次の目的地であるコミュニケーションターへ移動しました。

大澤勝一氏と話してみても、何か、暖かいものを感じました。同じ校章をつけ、同じ校旗のもとで、同じ校歌を歌っている先輩。時代や場所は離れていても、確かに明治の魂を持っていると確信しました。

この方以外にも、笹本前町長、藤巻様、田代様にも当時の思い出を色々とお聞

きました。

皆さん異口同音に「メイコウがなくなっちゃ寂しい。とってもいい学校だった。」とおっしゃられていました。この方々は、「メイコウ魂」そのものではないかと思いました。

東京から南に約300キロも離れた島の「明治魂」を僕ははずっと語り継いでいかなくてはならないと痛感すると共に是非、このような方々と毎年、総明会の懇親会でお会いし、更なる交友を深めていきたいと改めて思いました。

今回の取材では、浅沼町長（4期生）、八丈島町教育委員会の方々をはじめ、笹本前町長（3期生）藤巻氏（3期生）、田代氏（1期生）に当時の学校のことや、跡地を案内いただき、大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

祝 第45回総明会総会・懇親会 地理研究部OB会



昭和24年、地理研究会として発足した地理研究部もおかげさまで60年の歴史を歩んで参りました。区切りである今年、総明会でクラブOB会登録をしてあらたな現役応援活動を行いたいと思います。地理研究部に所属されていた諸先輩方の参加をお願いいたします。ご連絡は、昭和57年卒小林謙之(第32代部長)まで携帯090-3312-5212 E-mail:k-koba@kind-ai.co.jpまでご一報ください。

プレミアム大吟醸酒「男坂」 総明会会員限定販売申込書 FAX0259-87-3173

氏名

お届け先 〒

電話番号
FAX番号

申込内容	720ml	@3,000円/本	本
	1800ml	@6,000円/本	本



男坂

故卯本敏夫様の自筆特製
ラベル仕様の今回限定製造
まさに魂の一本です。



北雪 佐渡の酒

株式会社 北雪酒造 (ほくせつしゅぞう)

所在地 〒952-0706 新潟県佐渡市徳和 2377番地2

TEL:0259-87-3105 FAX:0259-87-3173

昭和52年卒の「男子校根性組」の同期会に出席させて頂いた時に
とても明治魂をくすぐる日本酒に出会いました。明治大学のOBで新潟
で酒蔵を経営されている方のご協力で製造して頂いております。
このプレミアム大吟醸酒「男坂」の販売を会報誌を通じて広くOBの方々に
周知させて頂くとともに、このたび、総明会会員の皆様限定にて特別
バージョンを製造販売して頂くことになりました。男坂の文字につきましては
「2006年総明会会報誌」の表紙を飾りました、故卯本敏夫氏(昭和26年卒)
の自筆のラベルにて、お届けします。

— 明治魂会 —

○この限定バージョンに注いだ魂とは ～北雪酒造様にお聞きしました～

今回、明治繋がり縁で特別製作する酒に選んだ酒米は究極の酒米「越淡麗」です。
「越淡麗」は酒造好適米「五百万石」を父方に「山田錦」を母方に持ち、両者の特性を生み出す
為に交配を重ね、育種選抜の早期の段階から醸造特性のみを重視し15年もの歳月を経て誕生
しました。この新品種の酒造好適米を「朱鷺」の棲む「佐渡ヶ島」で蔵人自らが栽培し、その特性
を十分把握し「極寒造り」で醸した「越淡麗」100%使用の大吟醸です。味にふくらみがあり、後口
の切れの良さが特徴です。

お申込み頂く際は、本ページをコピーして、申込書にご記入の上、弊社までFAXにてお願い致します。
尚、お支払は商品到着の際に『商品代金+送料』の代金引換のみとなります。お申込みから商品
到着までおよそ10日間となります。何卒、ご了承頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

株式会社 北雪酒造

甲子園

調布への移転に伴い猿楽町校舎倉庫から
見つけた二つの明治魂！

- ①昭和40年 春の選抜大会出場8mmフィルム
- ②昭和33年 夏の東京代表決勝戦スコアブック

甦る感動！40年ぶりに再会…

明治高校硬式野球部

甲子園出場

あの時を振り返る

昭和57年卒 明魂会

大谷 清文

明治高校・中学校が調布に移転することになり、神田駿河台の猿楽町校舎を整理中、貴重な8mmフィルムが発見された。

今から40年前、昭和40年春の甲子園出場の様様を移し出した8mmフィルムである。撮影者は数学の野呂先生。

それを機に、当時の硬式野球部のメンバー（大澤富次氏、岩崎孝雄氏、江連光明氏）そしてそれを応援する吹奏楽班の方たち合計25名が一堂に会し、40年前の甲子園出場について熱く語ってもらった。

40年前のことながら、まるで昨日のことのように、参加者は思い思いに、当時のことを振り返った。

◆練習量はすさまじく、

グラウンドで倒れるは日常茶飯事

やはり甲子園出場は並大抵の努力では達成できるはずもなく、その練習量はすさまじいものだったと、当時のことを懐かしく語ってくれた。

特集Ⅴ

明治魂と



(写真はイメージ)

平日は授業が15時に終わり、そこからダッシュでつじヶ丘のグラウンドへ直行。16時から練習開始で、それがだいたい夜の22時頃まで続く毎日。帰宅するのは平均23時くらい……。

日曜日は朝9時から練習開始、そして終了はだいたい夜の21時。

「ボクなんか3日に一回は殴られたんじゃないかな……。」と先輩は当時のことを淡々と語る。

ボールに触れられるのは当然、明るいうちだけなので、暗くなるとランニングの連続。陸上部以上に走り込んでいた。

ボール一個でもなくなるのと、先輩の鉄拳が飛んでくるので、数が足らなくなるのと、こっそり大学のグラウンドから拝借したなんていう

エピソードもあった。当時の野球部が強かったのにはもうひとつ理由があったのだ。

それは大学野球部2軍と一緒に練習できたからである。2軍とはいえ、明大野球部といえば全国のトップクラス。高校時代甲子園をわかった選手がゴロゴロいるのだから、並の力ではないことは安易に想像できる。当時は予選で準々決勝、つまりベスト8までいくのは当たり前、最後の3試合をどう戦うかにいつも照準をしばっていた。強豪明治という印象を強く与えていた時代でもある。

いったん力が落ちると、元にもどすのは大変な作業。これは何も野球だけに限ったことではないだろう。

▶ 当時を懐かしむがのごとく
VTRを見る



◀ 40年前の古き事とはいえ
その記憶はまだ新しい



◆ 甲子園出場…当時の思いが今蘇る

当時、春の甲子園、選抜大会は、関東ブロックからは3校という狭き門であった。まずは秋の東京都大会優勝校、関東大会優勝校、それに関東ブロック全体からの推薦校の3校。

40年前の甲子園出場…我々には運も左右した。

最後の推薦枠の最有力候補であった、あの巨人で活躍した名投手、堀内恒夫率いる甲府商業が出場を辞退したのである。

最後の1枠、日大藤沢、それに明治…が争い、結果的に明治高校が選出されたのだ。

現在は関東ブロックからは、関東4校、東京2校の

計6校。いかに40年前の当時、出場するだけでも狭き門であったことが伺える。

さて甲子園に実際に行った時の印象はというと、まずは甲子園練習。出場校にそれぞれ30分間が与えられ実際にグラウンドの感覚を覚えるものだが、ただ黙々と大溪監督のノックを受け続け、意外と冷静だったという。

しかし実際に試合になると印象は180度変わった。何も目に飛び込んでこないのだ。スタンドの観衆はもとより、音さえも聞こえてこないほど緊張したという。きっと顔なんか青ざめていたのかなと……。



▲討論会参加メンバーと田中徹太郎先生

この熱いメッセージは、時をこえ 次の世代に伝えていきたい

しかし、ゴロやフライをひとつでもさばくと、次第に冷静さは戻り、9回を迎える頃には、スタンドのどこに誰がいるのか、自分の両親が応援に来ているのかなどがハッキリわかったという。

何を言っているのかわからないけど、松枝先生や村田先生が怒鳴っているのは今でも印象に強く残っていると当時を振り返る。

1回戦で負けたら、明治のユニフォームを着るな。Mひと文字だけのユニフォームにしろと言われ、「絶対勝て」と常にプレッシャーをかけられていた。

大会は終わり、大溪監督から何か言葉をかけられたかの問いに対して、「ご苦労さん」のひと言もなかったという。

しかし言葉はなくとも、気持ちちは部員全員に伝わっている。

男の美学とでもいいしましうか……。

座談会取材を通し、当時の球児たちが熱い日々を過ごしてきたというのが、十分伝わってきた。そして話しの節々には、「応援団がいたので、我々選手も頑張った」というコメントが多数あった。

応援団のほうも甲子園出場決定と同時に、選手同様、いやそれ以上の合宿を決行したのだ。

球児、そしてそれを支える応援団。この両輪がうまく作用したからこそ、甲子園出場という偉業を遂げられたのだと確信した。

明治魂の球譜

昭和33年の夏

甲子園を賭けた激闘

明治 VS 早実

昭和57年卒 明魂会

玉置 正人

【移転と

スコアブック（球譜）】

昭和33年（1958年）

8月3日、午後6時15分ゲームセット。神宮球場にて第

40回全国高等学校野球選手権大会・東京大会決勝戦に終止符が打たれた。決勝戦はこの年の春の選抜大会に東京代表として揃って出場した宮澤主将が率いる明治高校と王貞治主将が率いる早稲田実業であった。

試合翌日の新聞には「死闘十二回、まさに奇跡とし

か言いようのない逆転。球

史にもまれな大熱戦に薄暮の神宮球場は、ただ興奮の

ルツボ。内野席にギッシリ

つまった二万の観衆は、試

合終了のサイレンが鳴り終

わってもしばらくはボウ然、

だれ一人として動かない」

（朝日新聞東京版）と記さ

れている。

ちなみに当時の早実は前

年の選抜大会で王投手の投

打にわたる活躍により選抜

史上初めて紫紺の優勝旗が

箱根を越えた。この歴史に

残る優勝に続き夏の制覇を

目指す早実優勝候補の本

命にあげられる強豪校であ

た。

それから半世紀を経た2

008年春、明治高校が晴

れて調布の新校舎に移転す

る時に一冊のスコアブック

が倉庫から発見された。こ

のスコアブックこそが、東

京大会で永遠に語り継がれ

る激闘の試合の記録である。

さて、本題に入る前にこ

の試合を何故取り上げたの

である「明治魂の伝承」を

この試合を振り返ることに

より検証しなかった。また、

その激戦の証言者として当

時の明治高校野球部主将の

宮澤氏（昭和34年卒）並び

に、福岡ソフトバンクホー

クス株式会社取締役会長の

王貞治氏に高校最後の夏を

振り返っていただいた。特

に王氏には早実のエースと

してマウンドから見た「明

治魂」にも触れていただき

たいと思ったからである。

【同点で延長12回へ】

明治の先発投手は小田島、早実はエースの王で試合は始まった。

5回表早実の攻撃で試合は動いた。ワンアウト後にはショート内野安打と四球の一・二塁で3番の王を迎える。ワンボールの後の2球目を叩いた打球はライト前のタイムリーヒットで早実が先制点をあげる。

明治の反撃は6回裏であった。先頭の1番金子が四球で出塁。2番野村の送りバントと王投手の痛恨のボールでランナーは3塁へ。3番西広はファール4回とボール3つのフルカウントの8球目に見事スクイズを決め

て同点。その後は明治の1回途中から登板したエース下田と早実・王の投げ合いで両者一步も譲らずに1対1の同点で延長12回へ進む。

【激闘12回の表

早実の攻撃】

スコアブックから明らかになった早実の攻撃は「昼み掛ける」という表現が最も適切だと思う。ここでも王選手は勝負強さを発揮して、逆転のタイムリーヒットを打っている。この試合での王選手の打撃成績は4打数3安打、ここ一番の勝負強さを発揮している。この4点を取った時のエピソードがある。

【延長12回表 早実攻撃】

相手投手	打者数	打 順	選 手	内 容	アウトカウント	走者	得点
下田	①	9番	野 田	三振	1out		
	②	1番	砂 田	遊撃内野安打		1塁	
	③	2番	飯 田	四球		1塁・2塁	
	④	3番	王	一塁線破る2塁打		2塁・3塁	1点
	⑤	4番	田 村	四球		満塁	
	⑥	5番	藤 田	レフト線破る2塁打		2塁・3塁	2点追加
	⑦	6番	岩 瀬	スクイズバントで3塁走者生還、藤田は3塁へ進む	2out	3塁	1点追加
	⑧	7番	山 崎	3球目に藤田がホームスティーラー失敗	3out		
合計							4点

① ネット裏の高野連は「早実優勝」の準備を始めていた。

② 早実は甲子園の宿舍の確保と大阪へ向かう列車の切符手配を終えていた。

しかし、この切符がその後、早実のご厚意により明治高校に譲り渡されるとは、この時点で誰も知る由もなかった。

このような状況から運命の12回裏、明治の攻撃は開始される。

【激闘12回の裏

明治の攻撃】

12回裏の明治の攻撃はワンアウト後の代打攻勢で奇跡への足がかりを得る。

【延長12回裏 明治攻撃】

相手投手	打者数	打順	選手	内 容	アウトカウント	走者	得点
王	①	7番	橋 本	サードゴロ	1out		
	②	8番代打	渡 辺	3塁線を破るヒット		1塁	
	③	9番代打	古 庄	セカンドゴロ。併殺を狙った早実のミスで出塁		1塁・2塁	
	④	1番	金 子	ライト前ヒット		満塁	
	⑤	2番	野 村	ストレートの四球で押し出し。		満塁	1点
河原田	⑥	3番	西 広	走者一掃のセンターオーバー3塁打で同点		3塁	3点追加
王	⑦	4番	宮 澤	左中間へサヨナラヒット、3塁走者西広生還！			1点追加
合計							5点

勝利への執念と言うべきか、代打渡辺が三塁線を破るヒットで塁に出る。次の代打古庄の二塁ゴロでゲッツーを狙った早実のセカンドが、自身で二塁を踏んで一塁へ送球するも判定はオールセーフ。さらに、一番金子がライト前ヒットで続き満塁。次打者が四球で押し出しの1点をもぎ取る。ここで王投手はライトに下がり、早実二番手投手の河原田がマウンドに上がる。

満塁で打者は3番西広、河原田の投じた3球目を叩く。会心の一撃はセンター真正面に高く弾き返されたため一瞬センターは前進してしまう。その後、懸命に背走し転倒しながらグラブを差し出すが届かず。打球がフェンスに当たって転々とする間に、満塁の走者が一気にホームを踏む同点の三塁打となった。崖っぷちからの同点打で勢いは一気に明治に傾く。そして迎えるバッターは主将で4番宮澤。まさかの同点打で、早実はライトに下がっていた王選手を再びマウンドに呼び戻す。

〔王氏の回想〕

（明治高校の）甲子園出場にかける、「最後まで諦めない」という強い気持ちを感じました。決勝戦ならではの戦いであつたし、流れが明治高校に傾いた時から我々は守勢に立たされてしまい、野球の怖さを味わった瞬間でした。

両校主将同士の執念の対決はボールカウント、ワンスリー後の5球目であつた。宮澤主将は「真ん中のストリートだった。バッターボックスでは意外と冷静だった。何も考えず無心でバットを振った。」と語っている。

執念の一打は左中間を痛烈に破る逆転サヨナラヒットで明治の宮澤が激戦に終止符を打った。午後2時15分の試合開始から4時間が経過していた。

神宮の杜にこだまする校

歌「白雲なびく・・・」を斉

唱するスタンドの応援団、生徒達はどのような思いでいたのだろうか。明治スタンド全員が「明治魂」を体感した瞬間であった。早実というライバルがいてその後日本球界はもとより世界が認める王選手との真剣勝負は永遠に語り継がれる伝説の試合となった。

〔王氏の回想〕

プロ・アマを通じた野球人生の中で、強烈に印象に残っている試合です。

この体験が、プロ入り後の自身の野球に対する取り組みの「執念」に活かされたと思います。

また甲子園には5回行けると思っていたものが4回で終わったことで、大学進学ではなくプロ入りに傾くという、自分にとっては運命といえるような試合でした。

この回想からもわかるとおりこの試合が王選手の野球人生の大きな岐路であった事が伺える。

〔明治 宮澤主将の回想〕

松田監督という厳しい指導者の下で、日本一と確信する練習量を誇っていた。

その厳しい練習は、何に向かっているかその時々には見えない事もある。しかし、振り返ってこの12回裏のサ

ヨナラヒットを打つための練習であったと今は思うことが出来る。

〔王氏・宮澤氏の回想から見える明治魂〕

明治高校に伝承すべき「明治魂」とは王氏と宮澤氏が共通して語っている「最後まで諦めない」精神力と目標達成にかける「執念」であると思う。

また、宮澤主将は「ここ一番に力を発揮できるための強い精神力、厳しい練習に耐える忍耐力を明治で学んだ。決勝戦の延長戦ともなれば、技術力ではなく、強い精神力と一致団結するチームワークが重要である。」

と語っている。

明治高校で過ごした貴重な青春時代。勉学や部活動からたくさん事を学んだと思う。しかし社会人となり、今振り返って母校から授かった「明治魂」とは「何事にも屈しない、諦めない精神」であったと確信している。校舎も変わリ共学にもなったが、この明治魂を今後もぜひ伝承して欲しいと願う次第である。

西東京に移った明治。

「明治対早実」の伝統の一戦が再び神宮球場の決勝戦で見られることを切に望んでいる。

最後になりましたが、「明治魂の球譜 昭和33年

の夏』掲載にあたりご多用中にも拘らずご寄稿いただきました王貞治氏、窓口となって労をおとりいただき

ました福岡ソフトバンクホークス株式会社広報室・木村寛氏に深く感謝いたします。

また、インタビューにご協力頂き貴重な資料をご教示下さった宮澤氏のご厚情に感謝いたします。

むすびは王氏から明治高校にエールを送って頂きましてのでご紹介します。

〔王氏からのメッセージ〕

明治高校の甲子園出場を願っている高校野球ファンも多いことと思います。校長先生はじめ、教職員の皆

さん、父兄の皆さん、校友のみなさんが一丸となって選手達を支えていくことが大切です。

早実とは西東京ブロックで対戦する事もあるかと思いますが勝負は時の運ということもあり、精一杯の戦いを繰り広げて欲しいと願っています。

福岡ソフトバンクホークス株式会社

取締役会長

王 貞治

「明治魂の伝承」をテーマに掲げ、編集が始まって約8ヶ月。

この間、「アンケート、班部活動、制服、明高八丈島、昭和33年・40年の甲子園」を通して様々な方と接して「明治魂」がとてつもなく熱く、重く、深く、高いものであることを肌で感じる事ができました。また、建学の精神である「質実剛健」「独立自治」や「母校への誇り」更には「執着心」「決して諦めないこと」等が魂として見えてきました。

我々が社会に出て二十余年の歳月が経ちました。振り返ってみますと、魂として見えてきたものが「社会に出るための基本的な構え」であることに気づきました。

学び舎での教育方針、生活指導、班・部活動等あらゆることを通して、時には生徒同士が切磋琢磨しながら培われていったもの。それは、即ち組織行動の重要性であり、更には組織の中で個性を活かす術であったと実感しています。

また、常に「明治の旗の下」において行われたことにより、その過程で育まれた「仲間との絆」が母校への「誇り」につながっていることに辿り着きました。この母校への「誇り」こそが「明治のためなら・・・」と熱い活力の源泉となり、明治魂を伝承する力だと信じて止みません。

培った時代や場所が変わっても、変わらぬ「明治魂」を後輩諸君へ伝えていくとともに、今後卒業していく諸君が、同様に母校に「誇り」を持ち、「明治魂」が伝承されることを期待しています。

明魂会 会報委員長 関川 一浩

学校報告



2009年度年間行事予定

- 4月 入学式・新入生歓迎会・リーダー研修会
- 5月 生徒総会・修学旅行(中高) ※今年はインフルエンザ流行のため9月に延期
高Ⅲ校外学習・六大学野球応援・林間学校※中止 移動教室(中2)
- 6月 PTA・OB講演会
- 7月 高大連携サマーセミナー
- 8月 海外語学研修
- 9月 修学旅行(高Ⅲ・中3)・土曜講座
- 10月 体育祭(中学生)・球技大会(高校生)・明大生田校舎見学/学部説明会
- 11月 紫紺祭・芸術祭・明大学部説明会
- 1月 高校推薦面接・明大推薦面接・生徒会長選挙
- 2月 卒業レポート発表会(高Ⅱ・Ⅲ) 高Ⅲ歓迎会
- 3月 簿記検定3級講座・卒業式
(通常行われる中間・期末試験、始・終業式は文字数の関係で割愛致しました。)

2009年度登録班部活動

班(6班) 生徒会本部・新聞班・放送班・応援指導班・吹奏楽班・図書班

運動部 剣道部・硬式野球部・高校軟式野球部・中学野球部・高校山岳部・水泳部
(16部) スキー部・卓球部・柔道部・ソフトテニス部・バレーボール部・バトミントン部・陸上競技部・サッカー部・バスケットボール部・硬式テニス部

文化部 英語部・マンドリン部・物理部・化学部・生物部・写真部・書道部・地理
(18部) 研究部・歴史研究部・美術部・JRC(日本赤十字)・地学部・囲碁部・将棋部・映画部・コンピュータ部・鉄道研究部・E.S.S.

第61回明治高等学校卒業証書授与式

昭和57年卒 明魂会 小林 謙之

平成21年3月10日(火)快晴の中、調布の新校舎に移転してから初めてとなる卒業式が厳かに行われました。

1,450名収容可能な立派な紫紺ホールは、ご来賓、ご父兄、そして在校生で埋め尽くされており、舞台右下には吹奏楽班がスタンバイしておりました。

校歌が演奏され、卒業生が入場、各クラス別に舞台へ向かって左からA組、B組、F組まで、順番に入場し、着席しました。

式典は開式、国歌斉唱、ご来賓紹介と山田先生の司会によって進み、小西副校長先生より学事報告があり、卒業証書授与式へと続いていきました。

高Ⅲの各クラスの担任の先生が、自分のクラスの生徒の名前をひとりひとり読み上げ、それに応えるように大きな声で返事をして起立する、それぞれが3年間の明治高校での思い出をかみしめながら。

とても凛々しく感じました。224名の卒業生全員が立ち上がると、総代の生徒が代表で卒業証書授与。今年のは、明治大学進学者23名(推薦20名、AO入試3名)他大学進学者11名でした。

その後、特別表彰として、優秀賞5名、3カ年皆勤賞21名、3カ年精勤賞10名、特別教育活動表彰3名、総明会賞2名、学校外団体表彰が7名ありました。

表彰が終わり、学校長の式辞。今年でご勇退される小林正三郎学校長より、暖かいお言葉があり、生徒たちは真剣に耳を傾けておりました。

その後、明治大学長堀理事長、坂本学長代理、加藤PTA会長、そして、我が総明会の佐久間会長のご祝辞を賜り、これから社会に出て行く卒業生たちは、神妙になっていました。

その後、在校生代表による送辞。緊張の中、高Ⅱの在校生代表は、舞台上がり、紙を広げ、卒業していく先輩たちへの感謝の念を伝えていました。

そして、答辞。学校長に向かって、大きな声で、読み上げていくうちに感極まって、涙を流し、声を詰まらせ、見ているご父兄も目頭

にハンカチを当てている感動的な場面でした。

その後仰げば尊しの斉唱、校歌斉唱と続き閉会になりました。

僕らの卒業式(昭和57年卒)には、閉会の合図とともに帽子を天井に向かって投げるという慣例がありました。先に安部先生がお書きになった文章にもあるのですが、あの天に舞った帽子が、今でも忘れられない光景です。

今年は、紙テープも会場の関係で使用禁止だそうで、ちょっと寂しい気がします。来年は、男子校としての最後の共学未経験者の卒業式です。何か嗜好をこらしめてほしいところです。

明治中学校卒業証書授与式

昭和57年卒 明魂会 関川 一浩

平成21年3月19日（木）、明治高等学校・中学校 本校講堂 紫紺ホールにて第62回明治中学校卒業証書授与式が執り行われた。

今年度の卒業生は、138名（明治高等学校進学者128名、他校10名）、新制明治中学校創設以来、10,795名の生徒が巣立つこととなった。

式典は山田先生の司会により、開式、国歌斉唱、学事報告、そして卒業証書授与は、各担任が一人ひとり

名前を読み上げ、小林学校長から一人ひとり卒業証書が授与された。

その後、優等賞（1名）

皆勤賞（9名）精勤賞（17

名）特別教育活動賞（2名）

がそれぞれ表彰され、学校

長祝辞、来賓祝辞、卒業生

のことはと凛とした雰囲気

の中、執り行われ、最後は、

仰げば尊し斉唱、校歌斉唱、

蛍の光で卒業生退場し閉式

となった。

小林学校長からは、卒業

生に「今後も常に感謝を忘

れずに」「自分の個性を見
つけ磨いてもらいたい」と
の祝辞をいただいた。

小林学校長にとって、最
後となる卒業式、本当の意
味での卒業式であったため
に、感無量であつたろう。

卒業生代表の挨拶では御

茶ノ水の校舎での思い出と

して「男坂、雨の日の2号

館と3号館の渡り廊下等」

を聞くと、卒業して27年も

たっているにもかかわらず、

自分たちと変わらない学校

生活を送っていたのかと思

うと懐かしいと思うことも

に不思議な感覚に陥った。

大半が明治高校へ進学す

ることとなるが、調布新校
舎移転、創立以来初めての
共学と歴史的な瞬間に立ち
会った感動とともに、「高
い志」と「質実剛健・独立
自治」を胸に新たな人生を
歩んでもらいたいと思った。



2009年度明治高等学校・中学校入学式

昭和57年卒 明魂会 関川 一浩

平成21年4月6日(月)、明治高等学校・中学校本校講堂 紫紺ホールにて2009年度明治高等学校・中学校入学式が執り行われた。

今年度の入学生は、明治高等学校264名(男子203名、女子61名)、中学校174名(男子114名、女子60名)だった。

学校の正門をくぐり、校舎の前には各クラスの名簿が掲示され、新入生と父兄がそれを眺め、自分の名前を指さしながら話している姿が見かけられ、本校に入

学できた「喜び」がそれを見ている自分にも伝わってきた。

式典の開始前には、マンドリン部の演奏を緊張した雰囲気で新入生とその父兄が耳を傾けており、中学生は、男子が真新しい詰め襟が、女子はセーラーブレザーが、未だ馴染まない初々しい姿がとても印象的だった。自分もそのような時代があったのかと懐かしく感じるとともに、一日でも早く制服に馴染んで明治の一員になってもらいたいと思った。

式典は、吹奏楽による校

歌演奏により壇上の幕が開き、学校長をはじめ、来賓の方々が40数名姿を現し、

吉田先生の司会により、開式、国歌斉唱、今年から新たに学校長となられた金子学校長祝辞、高校1年E組・染谷昌亮君による生徒宣誓、そして来賓祝辞(明治大学理事長・長堀守弘氏、明治大学学長・納谷廣美氏、PTA会長・林田紀子氏)、学校役職者・主任・担任紹介と厳格な雰囲気の中で執り行われ、校歌斉唱で閉式となった。

校歌はやはり、新入生がくちずさむ程度だったので未だまばらだったが、すぐに歌えるようになるだろう。

式典としてはごく普通の式典だったが、新入生は、難関を突破して本校に入學した「誇り」と入学式での感動を一生忘れることなく、「質実剛健・権利自由」の建学の精神と明治高等学校・中学校の良き伝統を受け継いで学校生活を送ってもらいたいと思った。



クラブ活動報告

昭和57年卒 明魂会 米田 昌弘

部活名	功績		部活名	功績	
吹奏楽班	東京都高等学校吹奏楽コンクール	金賞	中学バトミントン部	春季北多摩南地区大会	男子団体(3位) 男子個人(3位)
	東京都吹奏楽コンクール(都大会)	銅賞		春季Dブロック大会	男子個人ベスト8
剣道部	東京都高等学校新人剣道大会 都大会	ベスト64		秋季新人戦北多摩南地区大会	ダブルス(3位)
高校軟式野球部	2009年度春季大会	ブロック優勝(都ベスト16)		秋季新人戦Dブロック大会	ダブルスベスト8
高校バレー部	東京都地区選抜大会	ベスト32	中学野球部	都大会秋季大会	ベスト8
	関東大会東京都予選 決勝トーナメント	都ベスト40		第1回学童・中学校並PTAカップ	中学の部優勝
硬式野球部	秋季東京都高等学校野球大会	ブロック優勝(14年ぶり)		第9ブロック予選	ベスト8
	秋季東京都高等学校野球大会 本大会出場			調布市中学校大会	3位
サッカー部	第7地区新人選手権大会2008	3回戦進出	バスケットボール部	東京都高等学校第4支部新人戦	3位/77校
	多摩地区中学校対抗柔道大会	団体ベスト8		私立中学1年生親睦大会	5位
	都大会	ベスト32		第11回DREAM-CUP中学校大会	ベスト8
	調布市民大会 中学2・3年の部	個人ベスト4		多摩地区中学校大会	200校中ベスト16
柔道部	東京都学年別柔道大会(高校) 支部大会	団体ベスト4		東京都高校男子新人戦本大会	ベスト32
	東京都学年別柔道大会(高校) 都大会	個人女子5位入賞		東京都高校男子支部選抜大会	第4支部代表選出
	東京都第4支部新人柔道大会 無段の部 80kg	個人優勝		サンウェルジャパンカップ	優勝
	東京都第4支部新人柔道大会 有段の部 90kg	個人3位		明治カップ	優勝
	東京都第4支部新人柔道大会 無段の部	個人女子優勝		東京都高校男子バスケットボール関東大会予選	ベスト32
				都大会 三段跳	出場
水泳部	第1回オールエイジ水泳大会	100m自由形(1位・2位・3位)	陸上競技部	東京都 三段跳	出場
		50m・100m平泳ぎ(3位)		東京都中学ロードレース大会男子1年	3kmの部(4位)
		25mバタフライ(1位)		都大会 三段跳	出場
		100m個人メドレー(2位)		都一年生大会 走り幅跳	出場
		100mメドレーリレー(2位)		都通信大会 100m走	出場
		100mフリーリレー(3位)		都通信 総大会 100m・800m・1500m走男子400mリレー	出場
スキー部	クロスカントリー 全国高校スキー大会	クラシカル(165位・176位)	書道部	第93回書教展	団体優秀賞
		フリー(142位・167位)			審査委員長賞
	クロスカントリー 関東高校スキー大会	クラシカル(25位・44位・50位・52位・67位)		第53回全国競書大会	協会賞
		リレー(7位)			最優秀作品賞・審査員特別賞
	クロスカントリー 国民体育大会	出場4名	化学部	日本学生科学賞 都大会	中学優秀賞・中学努力賞・高校優秀賞
	アルペン 関東高校スキー大会	回転出場1名			中学優秀賞・中学努力賞・高校優秀賞
ソフトテニス部	第38回東京六大学付属高等学校ソフトテニス大会	個人戦準優勝	映画技術研究部	映像甲子園2008	銀賞・優秀規定作品
	私学選手権	中学団体ベスト32		第4回調布市高校生フィルムコンテスト	最優秀作品賞・審査員特別賞
卓球部	高校団体ベスト32	高校団体ベスト32		第3回TOHOシネマズ学生映画祭	ベスト8
	調布市団体	中学(3位)		映像テクノアカデミア映像祭 2作品	一次予選通過
	調布市民大会 中学男子	団体(3位)	上記の表は、2008年夏休みより2009年夏休み前までの班・部活動の校外での大会、競技会での戦跡を綴ったものです。今後とも我々の母校の応援を宜しくお願い致します。 ※この記事の出版は明治高等学校中学校PTA会報の2009.12.22発行、2009.3.10発行、2009.7.17発行より、抜粋したものです。		
	東京都大会	男子シングルベスト64			
		男子ダブルスベスト64			
	東京都大会関東予選	男子団体ベスト32			
		団体ベスト32			

祝！吹奏楽班 50周年記念定期演奏会

昭和57年卒 明魂会 菊池 正純

平成21年1月25日（日）、世田谷の昭和女子大学内「人見記念講堂」に於いて、吹奏楽班「第50回記念定期演奏会」は開催されました。冷たい小雨が降るあいにくの天候ながら、開場前からたくさんのお客様がホール前に列を作り始めた頃、ステージでは、かつての指導者 山本孝先生（現・東京音楽大学管打楽器主任教授）指揮のもと、OB現役合同合奏のリハーサルを開始。本番前の緊張感が独特なもの。演奏に自信がなくも、舞台の袖で、現役時代を思い出して武者震いがしました。

一曲目は幕開けに相応しく、ラテン風のリズムが基調のC・ウィリアムス作曲「舞曲フェスタ」・・・「うまい！」十数年ぶりに聴いた吹奏楽班の音は、力強くも繊細です。二曲目は、吹奏楽班OBで、現在、日本フィルの首席ホルン奏者を務める福川伸陽氏をソリストに迎え、R・シュトラウス作曲「ホルン協奏曲第一番」。その素晴らしいホルンの音色に、会場は夢心地に包まれました。さて、三曲目は、いよいよOB現役の合同合奏、チャイコフスキー作曲「序曲1812」。OB45名余を含む総勢120名余の奏でる音は、ホール全体を揺らす迫力。演奏後、ステージの袖で交わされたOBと山本先生との握手は感動的でした。



50年間、班員一人一人が、その時々々の目標に向かって研鑽を積み重ねた結果として、今、このステージがあるのだと実感し、熱いものがこみ上げてきました。第二部のポピュラー「矢島美容室」のニホンノミカタを振り付け付きで歌った場面には驚きました・・・。第三部と予定のプログラムを終え、演奏会は無事、幕を閉じました。これぞ明高吹奏楽班のサウンド・・・力強くも繊細な音色・・・人見永遠なれと祈りつつ、人見記念講堂を後にしました。

祝 第45回総明会総会・懇親会

吹奏楽班OB会

会長 竹越利之

（昭和53年卒）

マンドリン部 50回記念定期演奏会

昭和62年卒 赤岩 大輔

平成21年2月11日（水・祝日）東京勝どきにある第一生命ホールに於いてマンドリン部の第50回定期演奏会が開催されました。器楽部（マンドリンやアコーディオン、ギター、ヴァイオリン等の混合オーケストラ）としてスタート以来54年が経ち、故佐伯 亮OB会長が高校3年生の時マンドリン部として独立発足させて、50回目の演奏会を迎えられた事には大変感慨深いものがあります。

舞台の上には現役生徒が40名近く、マンドリン部にも女子生徒が加わりマンドリンやギターを中学1年生が一生懸命弾いている姿を見ていて、微笑ましく感じました。

しかし、私が中学・高校の頃は、男だけの部活動だったので、女子生徒と一緒に舞台で演奏しているのを見るのは不思議な感覚でした。演奏会は開演前からロビーに大行列が出来ていて、先頭の方は朝9時から並んでいるとの事、驚くと共に感謝の気持ちで一杯になりました。客席も満席となり、とても高校生の演奏会ではない感じで、人気のあるプロの演奏会の様でした。

演奏会は四部構成で、一部二部は現役生徒によるクラシックやマンドリンオリジナル曲の演奏。毎夏大阪で行なわれる全国ギター・マンドリンフェスティバルで優秀賞を得た曲は大変聞きごたえのある、素晴らしい演奏でした。

四部はOBも参加しての80名を超えるメンバーでの演奏。ステージが狭い為、舞台を作り足しての演奏はとても迫力があり、力強

く1つ1つの「音」がしっかりと聞こえ、聴衆を魅了する感動的な演奏で演奏終了直後は立ち上がるお客様もいるほど。あっという間の3時間でした。

OBでありながら、今の現役生徒の懸命な姿には感服するのみです。厳しい練習を重ね、この日の為に真剣に打ち込み、この舞台にかける意気込みは相当なものであったと感じられ、胸が熱くなりました。

故佐伯会長も50回の演奏会をとっても楽しみにされていました。残念ながら演奏を聞く事が叶わなかったのですが、天国でこの記念の演奏会を優しい眼差しで聞いてくれたと思います。

故佐伯会長の音楽への熱い思いは、これから連続と現役生に受け継がれ、マンドリンは奏でられて行くと感じました。

これからも、未長く60回、100回と音楽に青春を懸けて欲しいと思います。

しまっていこーぜー！

祝 第45回総明会総会
明治高校マンドリン部OB会

明治高校報告

昭和57年卒 明魂会 米田 昌弘

本校卒業生3名が公認会計士試験に合格いたしました。おめでとーございます。

公認会計士試験合格者

2007年度

公認会計士試験合格

伊東 大輔 (平成13年卒)

(昨年報告漏れ)

2008年度

公認会計士試験合格

菊池 剛 (平成9年卒)

飯川 卓也 (平成12年卒)

明治大学早期卒業者が1名

2008年度年度

法学部3年早期卒業

大村 信也 (平成18年卒)

また、今年3月をもって
ご勇退されましたのは、3
名の先生です。

総明会の会員でいらっしや
る小林正三郎学校長と英語
を教えていただいた大野正

隆先生と体育、主に柔道を
教えていただいた笹倉康夫
先生。

小林学校長は、平成19年
4月明治高等学校・中学校
の学校長にご着任され、猿
楽町校舎での最後の校長と
調布新校舎での最初の校長
という明治高校中学校の歴
史にそのお名前を残しまし
た。また、総明会活動にも
積極的にご協力いただいき、
その功績は計り知れないも
のと思います。有難うござ
いました。

大野正隆先生と笹倉康夫
先生はともに昭和54年4月
に明治高校に赴任され、猿
楽町校舎から調布の新校舎
まで、丸30年の永きにわた
り明治高校中学校の生徒を
見守り、育てていただきま
した。1学年を約250名
(高校)の生徒数と考え、

複数年教えていただいたと
しても、およそ、5,000
名以上の生徒が先生方の授
業で学び卒業していったこ
とになります。その中に我々
の代も含まれております。
本当に永い間、有難うござ
いました。

最後になりましたが、P
T A会報誌より抜粋です。
今年3月10日の記事の中に、
新設ゴルフ同好会発足とい
うものを見つけました。近
い将来、愛好会から正式な
クラブになるかと思いま
す、我々の後輩が、マスタ
ーズ出場なんて時代が来る
かもしれませんね。

学校の近況が明治高校中
学のHPで詳しく紹介され
ています。是非一度ご覧下
さい。
(検索サイトで明治高校と
入れていただくか、以下の
URLのサイトでも)覧いた
だけます。URLhttp://w
ww.meiji.ac.jp/ko_chu/

登録商標 ゼイタク煎餅
東京名物 重盛の人形焼

明治高校PTA顧問
明治白駿会副会長

重盛元也

〒二六・〇〇〇三
荒川区南千住一・三四・四
電話 (三八〇二) 六八三〇

・ケータリングパーティ
・各種お弁当承ります。

株式会社
レストラン・ピガール
明大1号店

【お問合わせ】
〒182-0033 調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校・中学校内
TEL/FAX042-480-9703
担当 総括支配人 山口剛志

新任先生方への インタビュー



①氏名 一瀬 尚史

(いちせ・ひさし)

②生年月日

1983年5月26日

③出身地 千葉県

④出身学校 (最終学歴)

明治大学大学院農学研究科

⑤担当する授業

高校Ⅱ年生物 I

高校Ⅲ年特別講座 (生物)

⑥抱負

私自身、明治高校で育てていただき、大学へ進学しました。この度、母校の教員として母校のために微力ながらも尽力できる機会を頂戴しました。是非、母校の後輩に、教科だけでなく、さまざまなことを伝えていきたいと考えています。

まず1つ目が「確かな学力」です。

の教育や卒業論文などの研究分野でも通用する応用力に富む確かな学力を育成することが付属校の教員には求められているのではないのでしょうか。2つ目に「人間性」です。生徒がこれから先、大学、社会へと進んでいく中で、必要最低限のモラルを徹底的に身につけさせ、さまざまなことに豊かな人材を育成することも大切だと考えています。

最後に「積極性」です。私の在学時代から、何事に対しても受け身な生徒が多いように思います。ですが、これからの生徒のことを考えるならば、何事に対しても積極的に取り組む人材の育成が求められていることは明らかです。

これらのことを踏まえつつ、大学や社会などでさまざまな分野で核となって活躍し、さらに母校や後輩のために尽力する母校を愛せる人材をより多く輩出していきたいと考えています。

⑦「明治魂」で思うこと

私は、「ひたむき」「一歩前へ」などの言葉を連想します。「明治」で12年間育てていただきましたが、さまざまなことを学びましたが、明治らしさといえば上記の2フレーズに代



①氏名 原島 章暢

(はらしま・あきのぶ)

②生年月日

1979年10月6日

③出身地

群馬県邑楽郡邑楽町

④出身学校 (最終学歴)

横浜国立大学大学院

教育学研究科

⑤担当授業

英語Ⅰ高Ⅲ ライティング

表されるように感じています。明治高校の生徒は7、10年は「明治」で過ごすので、「明治魂」を自分の中で培ってほしいと思います。そのためにも「明治」で失敗を恐れず、さまざまなことに挑戦し、そこから多くのことを感じ、学び取ってほしいと切に願っています。

中3 選択発展

⑥抱負

生徒の学校生活をサポートすること。

メリハリのある態度を身に付けさせること。

「先生の授業で英語が好きに（わかるように）なった！」と言わせること。

生徒と教師が一緒になって学んでいける、そんな学びに對して真摯なクラス・学年になるよう、全力を尽くします。

⑦「明治魂」で思うこと

「明治魂」と聞くと「やることをしっかりやりながら豪快に前へ進んでいく」姿を想像します。

それは、私が大学生のときに暮らしていた学生寮の先輩のイメージでもあります。そこはかつて村上春樹も暮らしていた古い寮で、現在も様々な大学に通う男子学生 400〜500人が共同生活を送っています。そこに自分が入寮したとき、一つ上の学年にいらっしやったのがその先輩です。

とても豪快な方で、毎週先輩・後輩を誘って飲み会を開かれながらも、夜遅くまで製図作業に取り組まれていた姿が印象に残っています。



① 氏名 清原 進平

(きよはら・しんぺい)

② 生年月日

昭和54年8月1日

③ 出身地

東京都練馬区

④ 出身学校 (最終学歴)

早稲田大学法学部卒

大学文理学部単位修得

⑤ 担当授業

高校1年 英語I

中学1年 英会話

⑥ 抱負

「明日また学校に来たくなるクラスを作りたい」、これが、私が一番大切にしていることです。

その上で、礼儀や躰、自立心や学習意欲を養うことを目標にしています。笑顔のあるクラスでは、放っておいてもこれらのことがうまうま行くことを経験から学びました。また、学習に関しては、子

どもたちに「考える機会」を提供することを大切にしています。

日本の教育では、「詰め込み」も「ゆとり」も、教師が子どもたちに考える機会を与えようとしていない点では同じです。

日本の教育の危機・迷走ぶりが叫ばれているこの時代に、本校で教鞭を取らせていただけることに、大きな喜びと大きな責任を感じております。

⑦ 明治魂

初めは質実剛健の日本男児のイメージがあったのですが、実際に見てみると、独立自治の気風の方を強く感じます。

なにより、生徒が賢く、大人ですね。言われる前に自分で気付けの子がびっくりするほど多いのです。

私のクラスの生徒たちも、何かにつけ手伝ってくれますし、言うこともよく聞いてくれます。叱責や説教もきちんと受け止めてくれます。

これは、彼らが素直だからなのではなく、教員を気遣い、思いやれる程大人だからなのだと思います。それが今の私にとつての「明治っ子」です。



① 氏名 神崎 恭子

(かんざき・やすこ)

② 生年月日

1979年2月15日

③ 出身地

東京都足立区竹の塚

④ 出身学校 (最終学歴)

東京学芸大学教育学部

⑤ 担当授業

保健体育

⑥ 抱負

自分の将来を自分で切り開いていけるようなたくましい人間を育てたい

⑦「明治魂」で思うこと

明治大学に関わる方々の情の深さを感じます。

勤務してまだ1ヶ月ですが、明治高校に関わる方々がとても教育熱心で、毎日、熱いお言葉をかけていただいております。それが「明治魂」ではないのかと思います。

時代の旅人

我々の故郷・明治高校猿楽町校舎

—— かつての明高の姿が眼前に現る ——

猿楽町の明治高校校舎は今、どうなっているのだろう。そっと目を閉じてみると、中学、高校と過ごした様々な出来事が、走馬燈のように蘇る…。これだけはハッキリ言える、「猿楽町の校舎は人生もうひとつの故郷」である……。今回はその故郷の現況をレポートしてみた



校舎見取図

第1校舎

校庭

第4校舎

第2校舎

男坂

第3校舎



◀何回通ったことだらう…階段&廊下



▲誰もいなくなり、ひっそりとした職員室。主のなくなったマイクも寂しそう



◀今の体育館。現在も大学で使用されている

◆第2校舎と職員室

「明治大学付属明治高校・中学校」、男坂の登り切ったところにあった看板……。今は「明治大学猿楽町校舎」とその名称は変えられていた。その看板はどこにいったのか？ 聞くとところによると、今は明治大学大学史料センターグループに保存されているという。

さてその看板を横目にみながら2号館へ。今は名称が変わり第2校舎と呼ぶが、その入り口を入ってみた。いわゆる玄関。在学中はこの入り口から出入りするとはまずないので、少々複雑な気分。中に入ると、事務室が……。今は守衛さんが駐在していた。

その隣りは職員室。中に入ると、まるでどこ

かの会社が倒産したみたいな状況が残されていた。意味不明な置物、時を刻むのを忘れてしまった時計、先生たちのスケジュール表など……。しかしここに恩師たちがいたかと思うと感慨は深い。

職員室の上の階は、体育館。ここは職員室の雰囲気とは180度変わり、まるでさっきまで誰かが運動していたのかと思わせるような雰囲気を出していた。

それもそのはず、現在は大学のチアリーダーたちが練習場として使用しているのだ。

しばらく体育館を眺めていると、ああここで、体育の授業はもちろんのこと、入学式や卒業式もやったのだなあ……と少々センチメンタルな気分になってしまっ

図書室の入り口▶



▲階段脇で思い出の品を発見！
アルバムには懐かしい人の姿があった



◀山積みになっている資料の数々

た。

今度は第2校舎の1階部分に降りたってみた。いわゆる視聴覚教室。現在は特に使用目的はなく、その姿は変わらずとも、旗の校章にほつれ、やぶれを発見すると、ここも主を失い、ただけが止まっているんだなあ：と感じた。

ちなみに第2校舎の3階は現在理工学部の研究室になっており、ここに北野大先生がいらっしやるとのことである。

◆書庫と変貌した 第1校舎とリニューアル された第3校舎

第1校舎のほうへ行って
みる。

先程の第2校舎の時にも
同じ感覚がしたのであるが、

どうも天井が低い感じがするのだ。高校生時代からとりたてて身長が伸びているわけでもないのに、どうしてだろう。

3階の階段あたりに、新校舎に運び忘れたのかどうかは定かではないが、荷物が山積みになっていた。よく見るとアルバム。
ちよっと拝見……。

懐かしい恩師たちが映っているではないか。その写真をしばし見ていると、数十年前にタイムスリップしたかのような感動を覚えた。

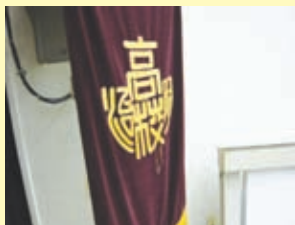
1階部分は当時の図書室。作業中のため中には入ることができなかったが、大学のマンガ図書館書庫として使用され、そのマンガの仕訳作業場に使用されていた。第1校舎の他の部分、いわゆる我々が学んだ教室で



▲生徒ホールと格技室。現在は使用されていない



▶視聴覚教室。
残念ながら高校の校旗に
少々ほつれが…



◀第3校舎は現在大学の
法学部が自習室などに
使用している

あるが、そのほとんどが大学の資料倉庫に変わってしまっていた。

しかし〇年〇組の表札は当時のままであり、中には懐かしい先生の名前も発見できた。

さて道を挟んで、第3校舎へ…。

ここは校舎をリニューアルし、法学部の生徒が教室、自習室、ミーティングルームとして使用していた。中に入ると、当時の面影は多少残されているものの、教室の中は改装され、写真でもわかるとおり、完全な自習室にその変貌を遂げていた。

最後に第4校舎。生徒会ホールと格技室。

生徒会ホールは完全に時が止まっていた。シーンと静まりかえり、本当にここで

何かしていたのだからとさえ感じた。

横の格技室の中は都合で見ることば出来なかったが、現在は、大学の劇（シェークスピア）の練習場になっているとのことである。

こうやって、思い出の校舎をいま一度探索し感じたことは、

「私の明治の原点は猿樂町校舎・男坂にある事を認識した」

ということである。

色々な思い出が詰まった校舎はもう、明治中学、高校という形では二度と使われることはない。しかし我々は、その思い出のたくさん詰まった校舎のことを決して忘れることなく、次の世代に語り継いでいきたい。



同期会・班クラブOB会 活動報告

ページ数	会 名	卒年	ページ数	会 名
66	一七会	S17	100	川口明高会
67	明窓会	S28	103	明球会
68	29会	S29	104	応援団OB会
69	明楽会	S31	106	バレー部OB会
70	明治会	S32	108	バスケット部OB会
71	旧雨会	S34	110	剣道部OB会(見心会)
73	二年に一会	S38	111	水泳部OB会(明水会)
75	117会	S39	112	スキー部OB会(明雪会)
78	男坂倶楽部	S44	114	庭球部OB会
81	四七四七同志酔会	S47	115	物理部OB会(明物会)
83	翼明会	S49	116	アイスホッケー愛好会OB会(明氷会)
86	明々会	S50	117	ごとう会
88	男子校根性組	S52	118	卯木会
91	明誠会	S54	119	甲子園に送る会
93	明翔会	S56	ご寄稿いただきました方へ お忙しい中、有難うございました。何度か校正 を行って、文書チェックを致しました。もし、何か不具合がございましたら 何卒、ご容赦いただけますよう、宜しくお願いいたします。	
96	明魂会	S57		
98	明輪会	S58		

明中一七会

昭和17年卒 安藤 堅司

昭和17年卒業、大正生れで男坂育ちの明治の男達が、社会人になってから、「よう」「おう」と声を掛け合

い、時折山田一郎先生の玄米食健康談義を肴に一杯会

を行っていました。昭和が平成に改まった年

から、お互いの無事を確かめ合うため、年に一度定期

の会合を続けて参りました。

此の間、総明会より三浦氏、服部氏、北島氏等の特別参加を得たこともあります。

早生まれで一番若く「坊や、坊や」と呼ばれていた私も84歳。B4二枚の会員名簿も今年ではB5一枚にゆっくり納まる18名。この

内、飲んでカラオケで騒げる者は二、三名という寂しさ。

残念ながら、定期的会合も第16回目の平成16年11月で休止せざるを得なくなりました。それでも気力のある限り「明中一七会」の旗印は下ろしません。



旧制明治中学

昭和二十七年卒

米山耕右

昭和三十三年卒

米山武男

祝第四五回総明会総会・懇親会

図書班OB会

連絡先 平田 幸彦

〇三・三五八九・〇六八七

大西静士郎

〇九〇・一二四三・二二三五

昭和三十三年卒

株式会社富士産業

藤義商興有限公司社

代表取締役社長

藤田義茂

株式会社富士産業文京駐車場

文京区小石川一丁目二丁目四

日本生命小石川ビル

TEL三八一八・三四五六

藤義商興有限公司白山駐車場

TEL三八一八・一五四五八

祝 第45回総明会 総会・懇親会
株式会社 大西静商店
取扱商品:買事務所・パーティーグッズ
代表取締役

大西静士郎

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-10-2-1002
電話 03(3866)6097
FAX 03(3866)6098
携帯 090(2533)0189
E-Mail: seishiro-o@nifty.com
URL: http://www.playave.com

明窓会

昭和28年卒 戸田 一郎

昭和21年卒の「明窓会」です。会の名称は元校長で学年主任であった福島則雄先生の命名です。

誰でもが思いつく平凡な名前ですが、明治の「明」と同時に明るく仲良くと言う事で「明」、そして同窓の「窓」が良からうと云う福島先生の発想です。

我々が昭和23年に明治中学に入學した頃は町には「JED」が我が物顔に町中を疾走し、国鉄（現JR）の車両には進駐軍（占領軍）専用車両という、一般市民は乗車出来ない車両が連結されておりました。

我が世代は第二次大戦の勃発から終戦までを小学生として過ごし、学童疎開で強制的に親や都会から遠隔地に避難させられました。戦争が終わって再び都会に舞い戻ってからは、食料は配給制度が布かれ、特に主食類の不足が育ち盛りの

胃袋を直撃し、毎日頭の中は食べ物に対する思いでいっぱいでした。制服も無く、生徒達は互いにちぐはぐな服装とズック靴と親が戦地から帰還した際に持ち帰った兵隊靴を手直したもので通学しておりました。

その後遺症でしょうか、今でも食べ物や持ち物に対してモッタイナイ、残せない、捨てられない世代であります。

そのような生活環境で学生生活を送った我が同期の仲間には共通した価値観と、説明の付けがたい妙な連帯感があるのです。

数十年前以前に「池之端文化センター」で華々しく総明会の幹事学年を務めてから同期会の結束がより強固になりました。

最近は何故学友がほとんど増える中で「あと何回皆なと会えるかな」との思いからここ数年は毎年定期

的に「明窓会」を開催しております。

今回は去る平成21年6月12日に両国のザ・ホテルベルグランデで本年度の総会を開催致しました。

出席学友は41名、50名近い者からは体調が悪い、病氣療養中です等との理由で欠席の返事がありました。

中には出席出来ないが運営に使ってくれと寄付金を同封してくれた友もおりました。同期生がリーダーを務める「年金ブラザーズ」のバンド演奏と歌に加え、

大学応援団のチアリーダーも応援に駆けつけてくれて会に華を添えてくれました。

パーティ食も寿司や蕎麦を中心とした和食仕立てが好評を博しました。「明窓会」の会員は多士済々であり、弁護士、公認会計士、

医師の他に東大教授、横浜国大の教授も輩出しております。それらが一同に会した時には昔の悪ガキに戻り、

オレ、おまえの世界が再現し本当に愉快で楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

一番うれしかった事は出席者が全員、会に参加して生きるチカラを貰った、元氣になったと笑顔で礼を述べ、また来年必ず出席すると云って散会した事でありました。集合写真や会場のスナップ写真は数え切れない程撮影しました。

去年一緒に撮ったのに今年には鬼籍に入った友もあり、閉会のコトバに「また来年必ず逢おう」に「それまで死ぬな」の一言を添えて会を閉じました。



29 会

昭和51年に第1回を開催した29会。早いもので34年もたって私達も74才、73才の高齢になった今、幹事も今年で終わりにしようとして6月6日(土) 11時30分後楽園飯店にて38名の同期を集め開催しました。

計13回の開催をし、同期の諸君も楽しく集まった会でしたが、終会にしようと思う所2年後に又開こうよと新幹事3名(樫崎、小川、菅家)が少なくなっても続けようと引き受けてくれ、ヤレヤレでした。灯は続きます。

人数は少なくなるのでしょうが、29年卒の同期生動け

るかぎり出席を！体を大切に会えるまで。
当日は、松本先生が出席、
ありがとうございました。



協和空調株式会社

代表取締役

阿久津 一也

(昭和57年卒明魂会 吹奏楽班OB)

〒253-0101

神奈川県高座郡寒川町倉見1175-1

TEL 0467-74-1866

FAX 0467-75-9461

E-mail kyouwa.k.k@abelia.ocn.ne.jp

お肉の美味しい下町の洋食や

カタヤマ



東京都墨田区東向島4-2-6
TEL03-3610-1500

昭和29年卒

片山 幸弘

◆営業時間(年中無休)

●平日 11:00~14:30 16:30~21:00

●土日・祝祭日 11:00~21:00

◆交通

・東武伊勢崎線 東向島駅 徒歩10分

・浅草駅よりタクシーで1000円

・南千住駅よりタクシーワンメーター

URL <http://dabintyo.com>

菅原 茂延 (獅子の会)

鈴木 和久 (昭和51年卒)

米田 昌弘 (昭和57年卒)

保険代理店

POWERLINK パワーリンク株式会社

〒105-0004

東京都港区新橋1-18-15佐伯ビル6F

TEL 03-5151-7891

FAX 03-5157-7892

明治高等学校 昭和30年卒

同窓の友・共に社会奉仕活動をしませんか

駿河台ライオンズクラブが貴君の

入会申し込みを待ってます 連絡は下記へ

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

元地区ガバナー **宇田川 雄 弘**

(東京練馬L.C所属)

●入会についてのお問い合わせ●

TEL 03-3993-5381

090-3138-4234

明楽会

昭和31年卒 佐藤 健一

第45回「総明会」開催おめでとうございます。

私共「明楽会」は毎年11月第1週に定例会を開催しております。

本年も11月6日に開催を予定して準備をすすめておりますが、場所、時間等は現在未定です。本誌が皆様のお手許に届く頃には決定すると思います。

毎年、定期的に開催する事により、参加人数も増えて参りました。卒業後50数年を過ぎますと、物故者も増え淋しくなっております。本年も予定しているところでは、多くの恩師、仲間が逝き、その方々の哀悼の意を込め、物故者の追悼を表し、思い出の会になるよう考えております。又、年2回(春、秋)のゴルフ

会も開催し、老体を酷使して楽しんでおります。

私共、今顧みれば50年前に幹事学年として初代故中田真之介君を会長として、市ヶ谷私学会館に於いて開催し、初めての中高OBの卒業名簿を作成致しました。

現在ほど盛会とは申しませんが、当時としては多くのご参加をいただき成功裡に無事開催が出来た思い出もあります。これからは、OBがどんどん増加していくので、幹事学年は大変苦勞が多くなると思いますが、我共も健康である以上、毎年楽しみにしておりますので、次世代へとバトンタッチして総明会を築いて下さい。終わりにあたり、総明会の益々の御盛会を心より御祈念申し上げる次第です。



昭和31年卒業

「明楽会」名称の由来

当会は、昭和31年明中高卒業生により結成され、名称を会員投票で決定致しました。

この名称を付けるにあたり、初代会長、故中田真之介君の発案により、数個の名称が挙げられ決定しました。「明楽会」とは、明治の明をとり、楽は本校の所在地、神田猿楽町に在居して

(この地名には多くの名所があり)この地名を無くす事なく、又明治の楽しい思い出を残す意味を込め、明治と猿楽町は永久に残したい思いから、我々の代が消滅するまで永遠に続けたいと思います。

帽子製造卸

株式会社 東 栄

代表取締役 土田 饒 (昭和31年卒明楽会)
専務取締役 土田 正昭 (昭和61年卒)

〒103-0002 中央区日本橋馬喰町1-3-5
TEL 03-3664-0810
FAX 03-3664-0033
E-mail toei@beach.ocn.ne.jp

昭和二十年代、三十年代の波浮港

昭和32年卒 明治会 宇山 正泰

私が都内の築地小学校へ入学し、昭和32年明治高校を卒業する間、生まれ育った伊豆大島の波浮港は、日本で一番栄えた港、豊かな村でした。

昭和20年8月終戦を迎えた翌年、昭和21年秋から波浮港は、「サンマ」漁の豊漁が連日続きました。その魚を7隻の買廻船が東京築地市場へピストン輸送しました。

当時大島には銀行がなく、魚の売上代金は全額「木のりんご箱へ」百円札、拾円札を詰めて波浮港へ運ばれました。

昭和22年、「バナナ」が初めて浜の常田商店に入荷しました。一本30円「現在では千円以上」でした。その「バナナ」を何本も漁師

達が食べました。波浮港へ行くと、「バナナ」の皮で滑ると言われました。

昭和23年、400トンの客船「あけぼの丸」の船上ダンスパーティーが港内で開かれました。

まだ男女座を同じくせずの時代に、大変進んでいたものです。

昭和24年には、波浮港開港150年祭りが3日間に渡り盛大に行われました。港内の台船上では、連日花火が打ち上げられ、その音は港内に響き渡りました。その祭りの総費用五百万円「現在の一億五千万円以上」でした。

その当時の波浮港周辺の地価は、都内京橋地区と同じでした。

昭和21、22年と2連続で

波浮港、波浮港村は、「魚の水揚げ高」「タバコ」の売上高全国一となりました。昭和25年から30年迄、

「大室出し漁場で」ハネ釣サバによる「マサバ」の豊漁が続く、近県からも漁船が波浮港へ入港し、多い日には200隻にもなりました。

その時の波浮港村の人口は1,700人、1隻の漁船に10人位乗船していたので2,000人の漁師達、港は人、魚、漁船等で大変でした。

昭和35年から40年は、勇壮な漁法で知られる「マカジキ」の突棒漁が行われ、多い日には一本60キロのマカジキが40本も市場に水揚げされました。

その光影は正に圧巻でした。飛ぶ鳥を落とす勢いの波浮港も、昭和45年以降は、漁船が「プラスチック」船になり、高速エンジンに変わると、今迄速力7ノット漁船が、20ノット以上の速

さになり、地元漁港に帰れるようになり、波浮港の利用価値は急速に低下しました。



明治高等学校
昭和32年卒
明治会
(新聞班)

大谷まさひこ

21世紀倶楽部/牛久市議会議員
029-874-1611

旧雨会

昭和34年卒 加藤 佳一

18歳で卒業して以来「俺、お前」で付合い続けて、来年は遂に古希を迎える齢となつてしまつた。磯時男を代表して、希代章が会計を担当してここ数十年。ほぼ毎年同期会は行われてきた。毎回40人位は集まる楽しい会である。今年は、来年の「古希を盛大な会に」という配慮から休会とした。

さて、何と言つても我々の学年の誇りは、硬式野球部、宮澤政信率いる昭和33年春の選抜甲子園出場。続いて夏の大会は王貞治氏の早稲田実業を東京大会決勝で破つての連続甲子園出場であろう。今でもあの情景が目につく。

又、中学入学時にギターで我々を驚かせた伊東貞行（アントニオ古賀）は、今も現役で活躍している。弁護士の小坂嘉幸は当時から物静かな秀才であつた。高校時代、確かバレー部であつた小室秀夫は明高三兄弟の

一番上、大学に入ってゴルフ部でならし、大学選手権では二度の優勝を果たしたに於ける功績により、紫綬褒章を受けたと聞く。

ゴルフといえば、我が同期では盛んであり、「明高ゴルフ会」という会をもっている。今は亡き高橋直美が会長となつて平成20年は26回目、直美追悼記念の会でもあつた。いつも八組でスタートする盛況である。

また、尾島雄三郎は総明会チャリティーゴルフには最初の頃からその発展に協力している。総明会副会長、尾島育四郎氏の兄、尾島康次郎先輩を含め、これ又明高三兄弟である。因みに、尾島栄一郎氏は我々の頃のPTA会長であつた。後になると息子たちが親父を慕つて？か、明治に入つて来たものか何人かいるが、再び息子たちの為にとPTA会長となつたのが岡崎安彦、

千崎忠昭である。

そして、我が期の生徒会長は松井光男、副会長は江沢安正であつた。想えば各班、各部とも実に活発に活動していた懐かしい神田猿楽町の時代であつた。ただ、この数年物故者が増え、葬儀の場が交流の場になつた感があるのはもの悲しい。

高III卒業時の担任はA組元校長となられた福島則雄先生。B組説明を要しない伝説のチータこと松枝正弘先生。C組謹厳実直を絵に書いたような藤森清茂先生。D組中学D組担任で私達を迎えてくれた谷口善三先生は、英国紳士然としてビーバーと呼ばれ慕われた。

最後に、卒業時の生徒会誌「過程」七号に四先生の寸書きとしてのせられたものを転載し、ありし日の恩師のなつかしいご尊顔を思い出したい。

福島則雄先生 流暢な口から出る物語、一寸寝る間に百ページ
松枝正弘先生 「こらー！」「うるさい！」お前らもい娘を探せ「只今新婚中」

藤森清茂先生 黒板のJ（インテグラル）を指してお目々パチパチ名解答

谷口善三先生 登校時「時間目何先生だ」「谷口っつさんさ」「そんならゆっくり行こう」

「旧雨会」名称の由来

恩師、福島則雄先生による命名。命名時、その謂われ等の説明がされたのは記憶にあるが、その説明の内容を覚えていず、何でこの名が付いたのだろうかと思ひ間皆で首をひねつていたところ、読売新聞2008年5月8日の「編集手帳」に「唐の詩人、杜甫は病に臥した。外は雨。（旧雨来たらず、今雨来たらず。）昔は雨でも訪ねてくれる友がいた。今は、誰も来ないと、詩「秋述」の一節にある。転じて、「雨」は訪れる友人のたとえとなつた。「旧雨」は「旧い友」云々と。おそろしくこの意であらう。福島先生らしい命名である。これからも旧雨を大切にしていきたい。

1階ビビンバとクッパの専門店
2・3階おいしい焼肉

大野屋

福島正太郎(昭和34年卒)

携帯サイト <http://www.onoya.co.jp/i>
URL <http://www.onoya.co.jp>

ご予約・お問合せ
江東区東陽3-5-7
電話03-3644-1628
E-mail:001@onoya.co.jp

美人コーナー
アンダーコーナー
お密着コーナー
盛りだくさん

昭和34年卒 明高野球部OB



丸マルキュー株式会社

代表取締役

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀 2-4
TEL:048-728-0909 FAX:048-728-3909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

丸マルキュー ECOGEAR FishLeague PRIME AREA



代表取締役

高田信一

明治高校 昭和34年卒

株式会社タカダ保険事務所



〒132-0031 江戸川区松島4-27-13
電話03-3654-9181 FAX03-3655-2300

<http://www.takahoken.co.jp> tio@takahoken.co.jp

小坂法律事務所

弁護士 小坂嘉幸

〒110-0005
東京都台東区上野3丁目17番8号
田沼第一ビル4F
TEL 03-3831-6032
FAX 03-3831-6037

布施 裕司

祝 総明会総会

〒101-0041
千代田区神田須田町二丁目三十一番
FAX 電話 〇三二五二九四一六二九〇
〇三二五二九四一六二九〇

昭和三十七年卒
柚木法律事務所
弁護士 柚木 司

昭和37年卒

新麴町法律事務所

弁護士 福島啓充

〒102-0083
千代田区麴町3-7-4秩父屋ビル5階
TEL 03-3234-0511
FAX 03-3234-0510



東京都葛飾区東新小岩 5-14-7(1F)
TEL 03-5671-5550 FAX 03-5671-5557
<http://www.kingyo-yoshida.com>
E-mail:info@kingyo-yoshida.com



創立40周年記念
豪華本

金魚春秋 発売
¥1,200+税別

プロが伝える飼育の知恵と極意
金魚写真数300点
吉田信行著

37年卒 吉田信行
38年卒 増田利明

総明会幹事学年務め早20年 二年に一会

昭和38年卒 三浦 昭生

本年の総明会のテーマは「明治魂」伝承」～僕らの時代～われわれ同期会が総明会の幹事学年を務めさせていだいてから早20年、昭和35年3月明治中学校卒業、昭和38年3月明治高校卒業の「二年に一会」です。

会名のとおり2年に1回、総会、懇親会を開催しております。1日でも同学生年として机を並べた同期生たちが母校を巣立ってから46年経った今でも、昭和39年に第1回を開いてから一度も欠かすことなく集いを開催しているのです。

2年に1回開催ごとに代表幹事を決めており、還暦を迎えた平成16年には西湖秀明君が母校「男坂」近くのウィンズで第21回総会、

18年は姿卓君が代表幹事でかつて野球部で活躍した山田正雄君（現日本ハムファイターズGM）のご子息が経営するイタリアンレストランで第22回の同期会を開いております。

そして「新たな飛翔」駿河台を去って調布へ移り、男女共学となり新天地でのスタートをきった昨年は、例年秋に開催していたのを前倒しして2月23日（土）にお別れする、なつかしい猿楽町校舎で恩師を招き、お別れ授業をしていただき、第23回総会、懇親会を開きました。（写真）

数学の松本理三郎先生、化学の後藤朋智先生、英語の村野圭吾先生がそれぞれ受け持ち、3時限の授業を行い、半世紀前にタイムス

リップ「母校で最後の授業を楽しもう」の企画は大功のうちに終了しました。

同期の仲間が減ることはあっても増えることはありません。60歳半ばを過ぎようとする、われわれは会長・三浦昭生、高橋正佑幹事長、関戸淳一事務局長、知野誠一監事、常任幹事諸兄を中心にこれからも2年に1回「会」を開いていこうと思います。

また、毎月第3水曜日には有志が集まり旧交を深めており、奥様たちの婦人部隊も集いを持ち、このようにみんなで集まれる機会を増やし、今年は開催年ではありませんが、裏祭り、旅行会などいいアイデア、またはご意見などありましたら末尾の事務局までご連絡ください。この誌面をお借りして同期生諸兄にお願いいたします。

最後に幹事学年明魂会の第45回総明会の成功を祈念

いたしまして、同期会「二年に一会」の報告とします。

連絡先
〒135-0005

東京都江東区高橋14-20

TEL 関戸 淳一

03-3631-2008

FAX 03-3631-2548



会長 三浦 昭生

二年に一會

昭和三十八年卒同期会

9/7 (Mon) ショップ オープン

昭和38年卒 高橋正侑



CHARMANT FLEUR
和・花かざり

創業70周年の ラブロンが
「和・花かざり」の店をオープン

各種髪飾り・各種和花のパーツ
各種古典かんざし、古布
色々な花弁と遊ぶ…

東京都台東区浅草橋3-20-18 第5菊星ビル本館 B1階

昭和39年卒業(マンドリン部OB)
明治大学公認会計士会副会長
フランフラン(株式会社パルス 東証一部上場) 社外監査役
谷 公認会計士事務所 代表

公認会計士 谷 慈義

〈浄土宗僧籍名 慈義(ジギ)〉

(事務所) 〒135-0004東京都江東区森下2-19-8谷ビル

TEL 03-3631-8029(代) FAX03-3631-8076

E-mail: tani@chive.ocn.ne.jp

株式会社

アドバンス

代表取締役

大塚 清和

(昭和40年卒)

千葉県浦安市猫実4-6-28

ヨーラタワー

TEL047-355-6633

昭和三十九年卒

加藤一也税理士事務所

加 藤 一 也

東京都豊島区巣鴨3-25-8

第2扇屋ビル

電話 03-3910-8683

JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿 部 正 行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6-10-11

TEL 03-3834-1329

株式会社

横河建築設計事務所

常務取締役経営管理室長

井出 好亮

(昭和40年卒明優会)

〒153-0064

東京都目黒区下目黒2-20-28

TEL03-3492-7441(代)

FAX03-3490-9545

E-mail: y-ide@yae.co.jp

http://www.yae.co.jp

39会&117会

昭和39年卒 佐藤 仁

39会は、昭和39年卒の我々の同期会の名称です。117会は、我々の学年の生徒会本部のOBの集まりです。

名前の由来としましては、39会は読んで字のごとく、昭和39年卒の単純明快なものです。読み方は「サンキュー会」です。サンキュー、Thank You、感謝、母校に感謝、仲間感謝の会です。

おかげ様で4年前の還暦記念の同期会には100名以上が集まり、盛大に行われました。昨年も10月に集まり、80名以上が参加しました。我々の仲間には日本橋のレストラン東洋の社長の北村元廣君がいます。いつも

会場はレストラン東洋の2Fと決まっています。

節目の50才の時にも80名以上が集まりました。なんとと言っても東京のご真ん中日本橋に常設会場があるようなもので、大変助かっています。

又、「117会」ですが、これは「イイナ会」と呼びます。明高のOB会には「明」とか「紫」とかを会名に入るケースが多いですが、「117会」は全く違います。明高を出て最初に集まった時にその名が決まりました。

集まった日は、明高の創立記念日1月17日だったのです。「117」語呂合わせ

で「イイナ」・・・そうだ昔は良かったなあー、皆仲間もいいなあー、皆とにかく「イイナ」で決まってると思います。

今も、39会と共に生徒会OB中心に「117会」は、我々の仲間の芝大門、酒菜「なな庵」(同期七尾孝房君の店)に集い、夜な夜な昔は「イイナ」を酒の肴に飲んでいきます。

そうそう大事な事を忘れるところでした。皆さんもご覧になったかもしれませんが、本年6月5日の日経「交遊抄」に同期の前田忠昭君(現東京ガス副社長)が我々との交遊の様を鮮やかに書き添えてくれています。同期の七尾君、海田君、皆「117会」のメンバーです。やっぱり友達って「イイナ」・・・感謝！

株式会社 シティ・ハウジング

代表取締役 佐藤 仁

(昭和39年卒)

本社 東京都大田区西糀谷4-28-14
TEL 03-3742-7177
FAX 03-5705-8097

URL: <http://www.cityhousing.co.jp>
糀谷本店・蒲田東口店・大森店・大井町店・雪が谷店

中華ファミリーレストラン



孫悟空

細田店 葛飾区細田 1-5-6
TEL 03-3650-0059

新村秀男 葛飾区議会議員
(昭和42年卒)

昭和四三年卒

竹川忠芳法律事務所

弁護士

竹川忠芳

〒一〇五〇〇〇三
東京都港区西新橋一丁目三
電 話 〇三三五四一三〇八
FAX 〇三三五四一三〇七

昭和42年卒

結城法律事務所

辯護士 結城康郎

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目14番3号
赤坂東急ビル11階

電 話 03 (3506)1151 (代表)

FAX 03 (3506)1152

携 帯 090(3104)1840

E-mail: yuuki-lo@bj9.so-net.ne.jp url: http://www.yuki-law.com

祝 第45回総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同期会

紫 讃 会

昭和43年卒 紫讃会

小田嶋 保男

東京都足立区中央本町 4-2 4-8

中華料理

水新菜館

寺田規行

(昭和四三年卒 紫讃会)

東京都台東区浅草橋二丁目一番一号
TEL 〇三 (三八六) 〇五七七番

昭和43年卒

齋藤会計事務所

税理士 齋藤昌照 ヨシアキ

〒231-0023

横浜市中区山下町194外丸ビル3F

TEL 045-664-4175

FAX 045-664-4177

昭和43年卒 紫讃会

三田 幹男

電話〇三三六三二二三二
墨田区緑四一九一
電話一三〇〇〇一一

家中 勉

昭和四十四年卒
味処・酒処 す吾六

紫讃会 バスケット部OB

堀内 繁 (昭和43年卒)



世界のウォッチ・機械式時計・オリジナルジュエリー

株式会社ティーエス・ホリウチ

〒110-0005 東京都台東区上野6-4-7(アメ横)

TEL 03-3831-9733 FAX 03-3831-9734

URL www.ts-horiuchi.jp/ E-mail shop@ts-horiuchi.jp

SOKEN

ソーケンエンタープライズ株式会社

専務取締役

小川 滋

昭和44年卒 男坂倶楽部 バレー部OB

〒125-0062 葛飾区青戸4-18-12

TEL 03-3603-8811 FAX 3690-4641

E-mail s-ogawa@soken-ep.co.jp

昭和43年卒

株式会社 ホソヤ

代表取締役

細矢 日出男

〒104-0042

東京都中央区入船2-3-6 第1細矢ビル

TEL 03-3551-0725

FAX 03-3551-0748

マイケル&マック

鍼灸・中医学・東洋医学・
脈診・漢方医療

千葉県市川市北方2-2-10

TEL & FAX 047-336-0763

HP: <http://www.michaelmac.com>

院長 松本 明久

昭和44年卒 男坂倶楽部

昭和43年卒 「紫讃会」

福光税務会計事務所

税理士 福光 登志雄

〒228-0803 神奈川県相模原市相模大野7-8-10

大塚ビル303

TEL 042-747-2933

FAX 042-747-2935

男坂倶楽部

昭和44年卒 寺田 康夫

昭和44年卒同期会の「男坂倶楽部」です。名前の由来はご承知のとおり、皆さんが毎日通ったあの階段にあります。明治高校が調布の新校舎に移転し、もう新しい後輩たちは知らないのかもしれないですね。

同期会は年1回、毎年5月ごろの開催としており、今年の定例総会は5月24日に某恩師（今回は欠席されました）のリクエストにより、男子校ならではの銀座ランドキャバレー「白いばら」（昔懐かしい健全なお店で、評判が良く3回目の開催になります）で開催しました。96歳になられる栗原先生を中心に、村野先

生、山脇先生を囲んで女性陣も交えて楽しいひと時を過ごし、最後は生バンド演奏により恒例の肩を組んでの校歌斉唱となりました。

我々「男坂倶楽部」の活動は数ある同期会の中でもユニークな取り組みを実践した学年ではないでしょうか。そのきっかけとなったのは、13年前に総明会総会の幹事学年となったことです。

初代会長である服部君（総明会元副会長）を中心に①母校校舎での総明会総会の実行（副題：OBたちの紫紺祭）

②当時はまだ高価だったパソコンの購入（年賀状によ

る年1回全員の住所確認）
③同期会ホームページの開設（卒業写真時と現在の比較掲載など）

④年会費の銀行口座振替による徴収（同期会財政基盤の確立、同期会慶弔制度の創設）

等、同期会として初めてとなる取り組みを実行してきました。総明会の幹事学年は大変でしたが、同期がまとまる良いきっかけになりました。幹事学年の方たちは大変だと思いますが、頑張ってください。来年は最近流行りの「アラ還」我々男坂倶楽部の面々も正式に還暦ということになります。減ることはあっても増えることのない同期の仲間、これからも大切にしていきたいと思っています。



男坂俱樂部

昭和44年卒 小松 盛明

幹事学年にとって総明会とは、45才になった卒業生が、公私共に充実する頃、明高がタイムカプセルをプレゼントしてくれる様なものです。蓋を開けると学生時代の楽しい思い出がいっぱい出てきます。

私の場合、父親が40才の時、現役を引退して家賃収入で生活する様になり、それを見ていた私は50才迄には何とか、という目標を立て頑張りました。形はどうあれ、父親と同じ道を歩むことが出来ました。

はて、50才過ぎたからどうしよう。「スナックのお姉ちゃんのお尻を追っかけようか」と思いましたが、卒業以来30年ぶりにリバ

ティータワーで行われた男坂俱樂部の総会に出席し、学生時代はいやな奴も角が取れて丸くなり、お互いの健康に気を使ういい奴になっていました。

会う奴、会う奴30年ぶりなので、左目が網膜症でよく見えなくなっている私にとって、右目が見えるうちに皆に会っておこうという気持ちが強くなり、皆が集まる所へ積極的に顔を出すようになり、男坂にだんだんのめりこんで行ったのです。

小さな子供が4人いて、いつも一緒に外食に行ったり、遊びに行ったりで自由気ままな生活をしていましたが、男坂に関わるように

なってから、子供達には「パパは僕たちより男坂の方が大事なんだね。」と言われてしまいました。

そうしている内に幹事にさせられ、初めてこれからは自分の事だけでなく、他の人のためになるような事をしなければならぬという気持ち芽生え、幹事3人と「日本一の同期会幹事になろう。」と決め、往復葉書だけの総会案内でなく、直接こちらから出向いて昔話をしながら会費を集めたり、住所録を充実させたり、ホームページを作製するまでになりました。

卒業時の集合写真をクリックすると、現在の顔が出てくるという物ですが、言いだしっぺの私が現在の写真を集めなくてはなかなか集まりません。

長野県で呉服屋を営んで

いる友人の写真を撮りに行った時、場所がわからず、近くの宝飾店で道を尋ねたところ、こちらを見ている人がいました。私は目が悪いので気がつきませんでした。白山で眼鏡の問屋をしている同期が営業に来て私を見ていたそうで、「お前に似ている奴に長野で会ったぞ」と電話がありました。私だとわかって、それから以前以上に男坂に協力してくれるようになったのです。応援団の富川と、副団長の丸山に会いにいくという事で、福島まで行きました。

昭和四四年卒 男坂俱樂部

栗田 茂

〒133-0061 江戸川区篠崎町六七一五
TEL 03-3679-6475
FAX 03-3679-4255
E-mail kurshige@pop12.odn.ne.jp

たが、住所に居ないので、隣の立派な門構えの家のご主人に聞いたところ、家を新築して近くに引っ越したとのこと。

住所を覚えてもらい無事に再会する事ができましたが、丸山の話では、あの人は中野から明大に行った同級生だそうで、どこで武陵会の方にお世話になるかわかりません。

同期会のアルバムを見ながら、あいつはどうしている？の連発で、時間の立つのも忘れましたが、最後に「実は大学を卒業して会社に勤めた時、浦和の独身寮に入った。その近くの別会社の独身寮にAがいたので、時間を合わせて、よく飲みに行ったんだ。Aがどうしてるか会ってみたいんだ。」という事で、家に帰って翌日、Aに電話したところ、「覚えていない」よく飲み

に行っただと言っていたと話しても「覚えていない」の一言なので、今まで丸山にはこの事を話してないのです。思い入れの食違いなのでしよう。こういう面白い話はたくさんありますが、これも、こちらから出向いていく同期会を作ろうと行動を起こした結果のご褒美なのです。

2年前に透析導入になつて、以前より活動が少なくなりましたが、時間の許す限り、この活動は続けるつもりでいます。

今年の幹事学年の1人でも多くの後輩に、同期会という宝物を思う存分味わいつくしてもらいたいものです。



田中等氏 第一東京弁護士会会長に 就任！

この度、東京第一弁護士会会長に田中等氏が就任されました。

男坂倶楽部では、同期有志一同が集まり、同氏の就任祝賀会を7月8日(水)銀座の「権八」で行いました。



肉の田じま

<http://www.nikunotajima.com>

- 1F 精肉小売 ミート&デリカ
- 2F 焼肉レストラン
- 3F すきやき・しゃぶしゃぶ・ステーキ

TEL 03-3649-4419
TEL 03-3699-8929
TEL 03-3699-5529



株式会社田島商店

本社 東京都江東区扇橋1-4-1
TEL03-3647-2984 FAX03-3699-7229

代表取締役社長

田島 実

昭和44年卒 男坂倶楽部

昭和四四年卒

弁護士

田中等

丸の内南法律事務所

〒100-0005

千代田区丸の内二・三

丸の内仲通ビル七・七

TEL03-3311-5151

FAX03-3311-6040

四七四七同志酔会(よななどうしよっかい)

昭和47年卒 廣野 宏士

《四七四七の皆さん！今年
は、『ANAインターコン
チネンタルホテル東京』に
集まろう》

1999年に、帝国ホテ
ルでの総会でホスト学年を
務めました。昭和47年3月
卒業の四七四七同志酔会で
す。我々が、ホスト学年を
務めてから、早や10年の月
日が経ちました。時が経つ
早さを痛感しております。
正に『駟の隙を過ぐるが如
し』の感があります。
風変わりな会名の名付け
親は、故人となりました、
南島孝司君(国文研究会)。
酒好きが多いので、「夜
な夜な同志が集まり、へべ
レケに酔っぱらおうかい」
と卒業年「47」を掛け言葉に
したものです。
卒業と同時に決定した
ように記憶しています。現
役の後輩諸君、くれぐれも
飲酒は成人してからにし
て下さい。

我々は、ホスト学年に向
けて『40歳を過ぎてからの
人間関係の再構築』と『同
級生同志、お互いがお互い
の人生にエールを贈り合お
う』を合言葉に掲げて96年
頃より準備に入り、邁進し
ました。

ホスト学年を終えた今で
も、この二つの精神を忘れ
ずに同級生の交流は続い
ております。

同窓会は、不定期に開催
しています。昨年は、母校
が調布に移転した初年、加
えて母校での開催でしたの
で、我々の準同期会と位置
づけて、総明会に便乗し、
当日母校に馳せ参じました。
「新校舎を見てみよう」と
いう事も手伝って、学年
別の参加者数は、ホスト学
年の『明翔会』の皆さんに
次ぐ人数となりました。少
しは、ホスト学年の役に立
てたのではないかと、自分
負しています。



47年卒 内田氏写真提供

四七四七同志酔会の皆さん、今年も総明会の当日に、赤坂の会場に集まりませんか。去年は、30名近くの同級生が参加し旧交を温めました。けっこうな盛り上がりでしたよ。
これからは、『減ることあっても、増えない同級生』を大事にしましょうね。私達幹事も出席しますよ。元気な顔を見せて下さいませんか。
幹事学年『明魂会』の皆さん、これまでの準備、お疲れさまでした。盛大な総会・懇親会となることを祈っております。

昭和47年卒

五木田・三浦法律事務所

弁護士

三浦雅生

〒104-0061

中央区銀座5-1-15

第一御幸ビル4F

TEL 03-3575-0190

祝 第45回 総明会

四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

祝 第45回総明会総会 波の会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者 富永 栄之進
副代表 板橋 純三郎
評議員 海老根 一介 尾崎 幸平
名倉 豊

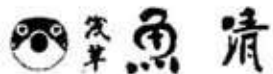
昭和四十八年卒 波の会
製菓原料卸
株式会社山口商店
代表取締役
山口 隆

大田区大森北一十七
〇三二七六一四八三八

昭和四十八年卒
四国商事株式会社
濱本 義典

〒一六五・〇〇二六
中野区新井一十五・十二
電話 二三八六・五八四
FAX 二三八六・七八九

ふぐ 季節料理
和牛しゃぶしゃぶ



岡本力三・恵市郎
昭和48年卒 平成8年卒
台東区浅草四丁目35番2号
電話 03-3874-2390
URL <http://www.uosei.com>

祝 第45回総明会総会 49年卒 翼明会 翼明会役員一同

祝 第45回総明会 総会
昭和49年卒 翼明会 代表

ターカム保険企画(有)

日本興亜損害保険株式会社
日本興亜生命保険株式会社 代理店

代表取締役 竹澤 啓

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西9-20-3
TEL03-3675-9955 FAX03-3675-9922
携帯090-3200-6139 E-mail:takezawa@r2.dion.ne.jp
同期の方々のメールアドレスを教えてください。

翼明会

昭和49年卒 大前 実之

昭和49年卒翼明会です。中学から入学した者は、昭和43年から6年間という事になります。その頃がどんな時代だったのか簡単に思い出してみたいと思います。

まず、6年間校長先生は福島則雄先生、そして忘れもしない体育の授業が松枝先生（チータ）だった事。中学から高校までたつぷりと先生の精神を叩き込まれました。チータがよく言っていました、「お前らは、6年間も俺の授業から逃げられず運の悪い？学年だったな」と。そのおかげで現在の自分達があるといっても過言ではないと思っています。

また、中2ぐらいまで靖国通りには都電が走っていました。自分も駿河台下まで都電に乗って通っていました。朝は栗野君（現在は栗野先生）とよく一緒にあったものでした。

またその頃は、学生運動が盛んな頃で、御茶ノ水周辺は戦場でした。危険なので今日の授業は午前中で打ち切り、なんていう事がたびたびあり、早く帰れるのが嬉しかったのを覚えています。そういう事があった次の日は、御茶ノ水駅周辺は、瓦礫だらけで催涙弾ガスがまだ残っており、目が痛かったのを思い出します。そして、中学の卒業式ですが、何と校庭で立ったまま行いました。いくらほとんどの者が高校に進学するといっても信じられない話ですね。

その後新しい仲間が加わり高校時代となります。高Ⅱの時に創立60周年式典を新宿厚生年金で行いました。その頃、交換留学生がアメリカから同じ学年にやってきました。彼も黒の詰襟学生服を着ていたのを覚えております。

ある日彼に「我々が習っている英語の授業解る？」と聞いた事がありました。そして「全然解らない」と言っていました。アメリカ人に解らない英語教えてんじゃねえと思ひ、それ以来英語が嫌いになり、成績が悪くてもしょうがないと思うようになりました。（森先生ごめんなさい）。スポーツの事を話しますと、高Ⅲの時、野球部が夏の甲子園予選で準決勝まで行きました。春の大会で勝っていた早実が相手だったので、絶対決勝までは行けると確信しておりましたが、1対0で惜しくも負けてしまいました。まだ東京が東西に分かれ

る1年前でしたので、今考えるにすごい事だと思います。藤森、森泉（現安田学園監督）のバッテリーで強い時代。

さて、思い出話はこのくらいにして、総明会のホスト幹事を担当する前に同期会の名称を「翼明会」と致しました。

これは今から8年前、すなわち2001年にホスト学年となり、21世紀最初という記念すべき年に総明会を担当した訳です。49年の「よん」と「く」から「翼」そして「二十一世紀に羽ばたく」という意味で「翼明会」と名づけました。

今年は、6月27日（土）に同期会を行い、23名が集まりました。これからも皆さん健康でまた会える日を楽しみにと盛り上がった後、散会いたしました。

以上長々と昔の話を含めて翼明会の事を書きましたが、今後も総明会が永遠に続く事をお祈り致します。終わりにしたいと思います。

やっぱり
明治がNO.1

Pep mates Inc.

マーク入 Goods・Tシャツ
エンブレム・アカデミックガウン



ベップ・メイツ株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 14-10-4F

TEL 03-3663-8827 FAX 03-3663-8828 E-mail: ceo@pep-mates.com

昭和49年卒（翼明会）代表取締役 大前 実之



昭和49年卒

坂政合板株式会社
マーカム株式会社

代表取締役

坂上 真 啓

〒424-0045

静岡市清水区東大曲町8-36

TEL054-366-1155

IAU税理士法人
代表社員

税理士 岩田俊一

昭和49年卒

〒113-0034

文京区湯島4-6-11-502

TEL03-3815-1272

FAX03-3815-1404

tiwata@silver.plala.or.jp

明治大学付属明治高等学校

昭和49年卒

小林総合法律事務所

弁護士 小林 信明

〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目6番9号

DIK麹町ビル3階・4階

TEL03-3238-8515 FAX03-3238-1231

URL http://www.law.gr.jp

昭和50年卒 明紫会

高橋郁夫

ダイアナ株式会社

DIANA

URL: www.dianashoes.com

昭和50年卒 明紫会会長

袋物製造販売
(株) 服 部

服 部 栄 一

代表取締役

世古俊之

(有)太陽精器製作所
昭和五〇年卒「明紫会」

〒一四三〇〇一五
東京都大田区大森西七二一十
電話〇三二七六一九八八二
FAX〇三二七六一九八八二

お車のトータルサービス

代表取締役
社 長

服 部 憲 一

(昭和50年卒明紫会)

(株)服部自動車钣金工業

〒179-0073

東京都練馬区田柄5-22-20

TEL03-3990-8541

FAX03-3998-0177

E-mail: ken@hattori-auto.co.jp

吉武孝生税理士事務所

昭和五十年卒 明紫会

〒121-0813
東京都足立区竹の塚一三六七
エゼルハイムの隣駅二〇
TEL〇三二五八五一五二二八
FAX〇三二五八五一五二二九
E-mail: j.yoshida@tax1.co.jp

FAT

〒114-0024
東京都北区南ヶ原一丁目六番八号
電話(03)三九五九六〇番(代)
ファックス(03)三九一五九七一
E-mail: konomizawa@fat1.co.jp

代表取締役

富澤秀敏

株式会社

エフエーティ

昭和五十年卒 明紫会

明紫会

昭和50年卒 三森 勲

今回の金融危機、百年に一度、と言っけれど……

前回の金融危機は、1929年から始まった大恐慌（時代）で100年も経っていないわけですが。現在は複雑に入り組んだ金融派生商品とインターネット（リアルタイムな情報）があるので、今までに経験したことのない、未曾有（ミゾウユウジャ）でありませんか（ミゾウの、未体験の、としたほうがいい）と思います。

ばかした言い方をする、と対応を誤りますよ。

てなことはさておき、我が明治中学校・高等学校も創立100周年を目前に控えとるわけです。村の代表の評議員としては、何かお手伝いしなきゃなんて思ったりするのです。100周年って一言で云ってしまふと訳ないけど、一世紀なんです。

凄いいことなんです。先輩方の汗と涙と笑いの結晶でここまで刻々と築き上げてきたんだと思うと感慨ひとしおですね。一つの大きな節目だから、早めに早めに組織化して準備

しなきゃねって……明紫会はお手伝いいたしますよ！一杯！（笑）

その節目に私たちが後輩達に残すことが出来るのは「明治中学・高校の気質」だと自分たちです。先輩を敬い、思分たちの意見をしっかりと発言し、後輩達を温かく見守る。そういう気質です。即ち「温故知新」ですね。

母校の移転にともない、男女共学と変貌しましたが、明治の気質だけは守って欲しいなと思います。

まあ昭和50年卒業の「明紫会」は世の中と自分たちの外見は変貌しても全然変わらないうれやかな仲間達です。それぞれが社旗的にも責任がある立場ですが、集まれば「即一と騒ぎ」昭和40年代後半へひとつ飛び！

いつまで経っても「熱い」明紫会は今日も夜な夜な誰かと誰かが大騒ぎしています。

7月に行われた【明紫会総会】において、会則に基づき役員人事改選が行われ、近藤敏彦会長の推薦により服

部栄一君が満場一致の拍手で会長に選任されました。新会長の服部氏の指名により副会長に木屋満氏・事務局長に窪寺弘匡氏（留任）評議（両名留任）が発表され承認されました。【明紫会】は新体制の下、後輩に負けないよう活動していきます。

焼鳥 寺 和

昭和50年卒 明紫会 木屋 満

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-7-6
TEL・FAX 03(5541)5761

祝 第45回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

明 紫 会

明々会

昭和51年卒 上野 雅宏

平成21年7月11日(土)

に本年度の明々会総会・懇親会を催しました。

今年のご時世柄、会費を

なるべく安く、という事で

浅草雷門の居酒屋NIJY

U-MARUにて清水紀夫

先生をお迎えして、会員24

名の参加を得て行われました。

た。

当日は清水先生を含む10

名の会員により好例の明々

会ゴルフコンペが行われ、

プレイ終了後に駆けつけて

いただきました。

萩原明々会会長のあいさ

つに続き、清水先生にご挨拶

を頂戴し、乾杯の音頭を取

って頂きました。

久々に会った仲間たちに

大いに盛り上がりあつとい

う間に3時間が経ってしまった。

しました。

引き続き階下のカラオケ

へとなだれ込み、山田眞也

副会長の矢沢永吉や島田一

君のキャンディーズなど十

八番が次々と披露され、大

変奏しい時間を過ごしまし

た。また、来年も6〜7月

頃に総会・懇親会を行う予定ですので、今回所用等で参加できなかった明々会の皆様も是非ともご出席いただける様、お願い致します。なお、ゴルフコンペの優勝は清水先生です。



祝 第45回 総明会 総会・懇親会

昭和51年卒

明々会

ホームページ <http://meimeikai.sl4.xrea.com>

豆菓子・おかきの専門店
有限会社 青山但馬屋

代表取締役

太田垣政紀

(昭和五十一年卒 明々会)

〒107-0061

東京都港区北青山二丁目七十一

電話 〇三三四〇一七八四三

FAX 〇三三四〇四一六六三一

昭和五十二年卒
明々会

小林 貴一

東京
都台
東区
上野
一ノ
二ノ
十
番
電話
(三
八
三
一)
三
八
〇
九
番

電話 (三八三一) 三八〇九番



荒川産業株式会社

代表取締役社長 前田 稲一郎 ^{昭和}51年卒

〒111-0024 東京都台東区今戸2-14-6

TEL03-3874-8191 FAX03-3874-8035

URL: <http://www.arakawasangyo.co.jp>



昭和52年卒
パートナーズ総合事務所
司法書士

菅原 誠

台東区東上野3-35-5

TEL03-3835-8041

FAX03-3835-8042

e-mail ZVC00312@nifty.ne.jp

株式会社 フルヤ

古屋 修蔵

(昭和51年卒)

〒111-0053

東京都台東区浅草橋5-2-2-201

TEL03-3864-0771 FAX03-3864-7280

祝 第45回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

男子校根性組

<http://www008.upp.so-net.ne.jp/dankongumi/>

中学入試をめざす小学生対象の算数塾です。

ティープロ算数
TEACHING PRO

代表 香取 輝忠 (昭和52年卒)

千代田区神田神保町 2-15 第一富士ビル6F

TEL 03-3263-0667

FAX 03-3263-0668

<http://www.tpro.co.jp/>

男子校根性組

昭和52年卒 香取 輝忠

夢の中の遠い記憶…。昭和51年7月。いつもと同じ放課後。私は男坂の広い踊り場で足を止める。「あれ？この階段は全部で何段だったかな。」

坂の両側の壁に生い茂った樹木の中から、今を盛りと蝉しぐれが響いてくる。

来週から夏休みだ。他大受験を決めていた私には予備校の夏期講習が待っていた。

振り返ると威勢のよいかけ声とともに、応援指導班が坂をウサギ跳びで上がってくる。鬼と呼ばれるOBたちも額に汗して一緒に跳んでいる。

そのウサギ軍団を追い越して、一陣の黒い疾風が全

速力で駆け上がって来た。

野球部だ。「がんばれよ！」

「オウ！」すれ違いざまに

声を掛けると、元氣な笑顔

で返してくれる。つつじヶ

丘の球場まで50分。まずは

中央線特快に駆け込まなけ

ればならない。

彼らには最後の夏だ。I

年では二松学舎に、昨年は

城西に破れた。捲土重来の

今年は後輩にも恵まれ期待

が大きい。しかし、できれ

ば同期たちの力で勝利を掴

み取って欲しい…。

ビルの谷間にこだまして、

3号館で練習を開始したブ

ラバンの音が蝉しぐれに混

じって聞こえてきた。あた

かも天上の糸を紡ぐような

名演奏のマンクラと並び、ブラバンもまた全国に名を馳せていた。

高倉は油絵で二科展に入

選した。日大一高の剣士を

三人抜きした須藤は、紫紺

祭の英雄になった。野中は

スキーで全国大会に出た。

高梨は渡航経験無しに英検

1級に合格した。長堀は能

に詳しい。柔道部はいいや

っぱかりだ…。

「友人の自慢ばかりする

が、お前自身には何もない」

父がよく苦笑した。確かに

みな他人の手柄である。し

かし、友が、母校が自慢だっ

た。「誇り」は共有できる

のだ。

「76段だよ。」「いや、77

段だね。」時は移り、平成

21年5月。新宿・住友倶楽

部の一室で、我が「男子校

根性組」の総会が開催され

た。「母校は母港であり同期会は旗艦である」との初代・小嶋会長の、顔に似合わぬ名言を合言葉に、今年も仲間が集まった。

あの時の「眉秀でたる」

少年たちは、既に皆白髪混

じりである。男坂の段数も

話題になった。「やっぱり

明治は御茶の水だよな！」

誰かが言った。男坂の段数

は今度皆で確かめに行くっ

もりだ。



印刷・紙器・ラベル

有限会社 眞陽紙工所

代表取締役社長

有田 幸訓

(昭和52年卒 男子校根性組)

☐ 本社工場

〒130 東京都墨田区横川1-13-12

-0003 TEL03-3624-7861 FAX03-3626-4935

URL: <http://www.shinyou.co.jp> E-mail: arita@shinyou.co.jp

☐ 第二工場

墨田区横川1-4-7

TEL03-5819-1445

☐ 第三工場

墨田区横川1-4-4

TEL03-3625-3209

NTC 男根組

アンケート調査の実施・集計・分析・データ入力

株式会社 日本統計センター

代表取締役 泉澤由一

〒101-0031

東京都千代田区東神田2-9-14 NTCビル

TEL03-3861-5391 FAX03-3866-4944

<http://www.ntc-ltd.com> E-mail: izmsw@ntc-ltd.com

練馬 高野台

ネーチャーズフォーレストグループ

代表 横山 茂樹 (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台1丁目7番3号NFプラザ3-210

TEL03-3996-0612 FAX03-3996-0630

<http://www.neritaka.net/> E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

みんなが、参加して創る、地域活性化のための町づくりを目指して頑張っています。

ネーチャーズフォーレストの名前の由来は、人々の心を癒す森をイメージして名付けられました。

昭和52年卒

男子校根性組

佐藤 大英

曹洞宗 圓通寺

墨田区向島3-11-6

<http://www.entuuji.or.jp>



フランチャイズチェーン

コメダ珈琲店

代表取締役 社長

布施 義男

(昭和52年卒)

株式会社 コメダ 名古屋市東区葵3-12-23 〒461-0004

本部 TEL052-936-8880 FAX052-936-8881

URL <http://www.komeda.co.jp/> E-mail: y.fuse@komeda.co.jp

祝 第45回総明会 総会・懇親会

昭和53年卒一同

紫 友 会

販売促進のパートナー

Stad

広告代理店

株式会社 スタッドプラン

TEL.03-6915-2711

www.stadplan.co.jp

代表取締役 千嶋 修

昭和54年卒 明誠会/明雪会会員

日本ジェット株式会社

代表取締役

玉置 孝一

(昭和54年卒明誠会)

〒174-0072

東京都板橋区南常盤台1-22-7-401

TEL 03-3957-3051

FAX 03-3957-3067

矢ノ目忠税理士事務所

昭和五十四年卒 明誠会

〒三五・〇〇四八
江東区門前仲町二・二一六

電話 〇三・五六三九・七七六二

FAX 〇三・五六三九・七七六二

E-mail: yanome@yanome.jp

株式会社 アイケーシー

代表取締役

池田 浩司

(昭和54年卒明誠会)

〒104-0031

中央区京橋1-17-12吉住ビル4 F

TEL03-5159-7080 FAX03-5159-7082

URL: http://www.ikce.jp/

代表取締役

熊澤 正幸

昭和五十四年卒「明誠会」
和光アールイーアイ(株)

千代田区飯田橋四一十一六洲社ビル
電話 〇三・三五一二・〇七五〇
FAX 〇三・三五一二・〇七五三

NPO 首都圏 底地 借地 協議会

株式会社アシスト・コンサルタンツ

理事長・代表取締役

松戸 一浩

(昭和54年卒明誠会)

〒125-0042

東京都葛飾区金町3-50-6

TEL03-5699-0797 FAX03-3609-6096

URL: http://www.shakuti.com

常住事務所

税理士・行政書士

常住 豊

(昭和54年卒明誠会)

東京都北区赤羽西1-5-1-606

(アビレ・赤羽アボード I ビル内)

TEL03-3905-6981

FAX03-5963-7430

堤 浩貴 (昭和54年卒 明誠会)

♡ 日本一ハートフルな ♡
♡ スーツを創います!! ♡

皆様のスーツ創りをお手伝いして半世紀

since1954
スーツライフのパートナー

♡ 東京都世田谷区上野毛1-25-1 ♡

tel 03-3703-5429

堤 テーラー

上野毛店

◆ 090-8803-7732 ◆ 定休日:火曜日 & 第2・3水曜日 ◆

紙一般包装資材企画販売

近代紙業株式会社

〒340-0834 埼玉県八潮市大曽根1420

http://www.kind-ai.co.jp

11月29日(日)は
赤坂溜池で。。。総明会の日

昭和57年卒 明誠会

地理研究部OB会

小林 謙之

KENJI KOBAYASHI

k-koba@kind-ai.co.jp

田中 幹浩

今年度幹事学年

寄付広告委員長

明魂会

暮らしの衣料 まつざわ

株式会社

調布松澤屋

取締役

松澤 和昌

(昭和54年卒明誠会)

〒182-0026

東京都調布市小島町1-34-12

TEL 042-482-2634

明誠会

昭和54年卒 志村 和哉

明誠会とは昭和48年、明治中学に入学した「地元の神童」と、そして昭和51年に明治高校に入学した「15歳の努力家」、その同級生たちが集まった同期会であります。

紆余曲折あり、旅立ちの年次はそれぞれに違いますが、大半は昭和54年に明治高校を無事に卒業しております。よって「昭和54年明誠会」が会の看板であります。その時から丁度30年が経ち、今年も同期会が開催された事は、ありがたく素晴らしい限りであります。今年、神田明神の山門

前にある蕎麦屋「きやり」で行われました。同級生24名に後輩が4名、そして先輩3名が参加してくださり、総勢31人のラインナップ。

神田・蕎麦屋・座敷と下町風情が整ったせいか、例年がないテンションで盛り上がり、賑やかなひと時となりました。病み上がりのヤツ、立候補したヤツ、本を出版したヤツ、俺はホームレスだ！っていうヤツ、物販の達人・・・etc
それぞれ現状は去年と少しだけ違ってたヤツがいたけども、中身は相変わらず、そう「相も変わらずのヤツ」ばかり。

そんな同期会を終えて少し考えた。同期会のあり方・・・、やり方・・・、楽しみ方・・・etc

来年の同期会には50歳になっているヤツもいる。年とったよね、でもそれだけに友達のありがたみを感じる事が多いかな。

同級生ってさ単純だけど奥深いんだよね。



祝 第45回総明会 総会・懇親会



http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

祝 第45回総明会総会・懇親会

紫魂会

(昭和55年卒)

小川動物病院

院長・獣医師 小川 洋平

〒277-0871 千葉県柏市若柴338-1
TEL/FAX 04-7134-5155

税理士

廣田 敦

(昭和55年卒)

廣田税務会計事務所

〒330-0841
さいたま市大宮区東町2-201
TEL 048-641-6679
FAX 048-647-8383

おいどん

地どり・釜めし・鍋

足立区中央本町2-24-18
TEL 03-6657-1561
FAX 03-6657-1562

昭和56年卒 明翔会

加々美 博



寺村梱包株式会社

代表取締役 寺村武二
(昭和26年卒猿楽会 水泳部OB)

専務取締役 寺村一義
(昭和56年卒明翔会 バスケOB)

東京都文京区本郷2-19-11
TEL 03-3813-6686
FAX 03-3813-6689
<http://www.teramura-pack.co.jp>

神田天井家

(旧天井いもや)

当店は明中、明高生のあたたかいご支援を受け創業38年を迎えました。
昨年8月に屋号を「天井いもや」から「神田天井家」と改めましたが、
変わらぬ味で営業させていただいております。

今後とも皆様のご来店を心よりお待ち申し上げます。 店主 須賀雅治

千代田区神田神保町1丁目22番地 電話03-3293-0366 営業時間:11時~16時 定休日:日曜・祝祭日



部活帰りに大変お世話になりました。今でも時々食べに行きたくなる懐かしい雰囲気と変わらぬ美味しさ。すいませ〜ん、ご飯大盛で。

明翔会

昭和56年卒 蓬田 裕一

平成21年6月27日(土)

御茶ノ水の「東京ガーデンパレス」にて、同期会(兼明翔会総会)を開催した。

当日は幹事は勿論のこと、

総明会懇親会当日に手伝いで参加してくれた者、総明会会報「新たな飛翔」(Boys&Girls)を見て、感

銘を受け、同期と久々に馬鹿話をしたいと思い立った者などが大勢集まってくれた。

皆が仕事やプライベートで忙しい中、最終的には総勢30名を超す仲間が参加してくれた。この場を借りて「有難う!次回はもっと盛り上げるので、だまされたいと思って顔を出してー」。きつと日頃のストレスが発散されること請け合いだ。

まずは左記の明翔会ホームページを見て、懐かしい顔や見違えてしまう風貌を眺めてくれ。30年余の歴史を物語ってくれる。

(HP: <http://www.k4.dion.ne.jp/terachan/index.html>)

導入部分はこれくらいにして、以下簡単に当日の様子を披露する。

まずは、斉木会長より開会宣言が行われ、今後は定例的に「明翔会」を存続していきたいこと、その目的は同期相互の級友を温め、親睦を図ることの説明があり、併せて同期会 会則(案)が示された。(来期の幹事を次回の総会で選任するまでは現体制で暫定的に

執行する。会長…斉木君、会計…開発君、狩野君、監査…白畑君、事務局…寺嶋君、蓬田)また、会計報告について狩野会計より方針案が示された。

その後の親睦会は大いに盛り上がり、特に印象的だったのが、今回卒業後初めて参加した同期が多数いたことで、近況報告や懐かしい思い出を語り合い、あっという間に時間が過ぎてしまった。

トピックスは、大野先生にご参加いただき、(大野先生の発案だと思われるが)五十音順に参加者全員の名前を読み上げ、出欠を取っていたいただいた。その瞬間は盛り上りも最高潮となり、最後は恒例の応援団の開発君の号令の下、校歌を3番まで肩を組合い汗を飛ばしながら歌いあげてお開きと

なった。

帰りには今年度ホスト学年(明魂会…染谷実行委員長他多数)の販売グッズを大勢の同期が購入し、多少なりとも貢献できたと思う。短時間ではあったが非常に印象に残る会であった。繰り返すが次回は更に多くの同期と触れ合いたいのでは是非とも参加してほしい。



祝 第45回総明会総会・懇親会
頑張れ 明魂会!!!

明 翔 会

(昭和56年卒)

神崎・高橋法律事務所

弁護士 神崎浩昭
(昭和56年卒)

〒105-0003
東京都港区西新橋1-20-3
虎ノ門法曹ビル308号
TEL 03-5511-3345
FAX 03-3597-1182

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 市川洋治
(56年卒)

〒210-0834
神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13
電話 044-244-1054(代)
FAX 044-211-3256

ヤマダ社会保険労務士事務所
社会保険労務士

山田 覚
yamada satoru
(昭和56年卒 明翔会)

〒245-0061
神奈川県横浜市戸塚区汲沢2-1-5-D607
Tel/Fax 045-865-6282

袋物製造卸
株式会社三和袋物
代表取締役

深山隆義
み やま たか よし
(昭和56年卒 明翔会)

〒111-0041
東京都台東区元浅草1-4-12
TEL 03-3844-0267
FAX 03-5828-2464
URL: <http://sanwa-wallet.com>

ISUZU REEL SHOP
WELCOME TO OUR TRADITIONAL FISHING WORLD

五十鈴工業株式会社

代表取締役
林 隆雄
(昭和56年卒 明翔会)

〒350-1151
埼玉県川越市大字今福1704-7
TEL: 049-291-2233 FAX: 049-291-2255
<http://www.rakuten.co.jp/isuzureel/>



白畑尚志
品質管理部
代表社員/部長
公認会計士

あらた監査法人

〒100-6532
東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング32階
携帯 090-6491-0694
hisashi.shirahata@jp.pwc.com

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

昭和57年卒 **明魂会 岩崎広人**



乾麺
島田造り
埼玉・蓮田名物



乾麺「島田造り」は、製造元と直結した直販・通販のみの販売です。

おきなのさと
翁の郷

有限会社 翁の郷
〒349-0133 埼玉県蓮田市大字関戸280
<http://www.okina-no-sato.co.jp>

お客様フリーダイヤル
0120-8733-07
営業時間 9:00～18:00 / 火曜日定休

製造元
株式会社 **岩崎食品工業**
本社工場 埼玉県蓮田市大字関戸280

オールラウンドプレイヤーによる監査をご提供いたします



東陽監査法人

TM Member Horwath International

〒101-0053 千代田区神田美土代町7番地 住友不動産ビル

TEL 03-3295-1040 FAX 03-3295-1993

専務理事	品質管理委員長	吉田	正史	(昭和52年明治大学卒)
理事	人事部長	吉田	光一郎	(昭和56年明治大学卒)
	代表社員	朝貝	岳司	(昭和56年明治大学卒)
理事	事業部長	岡田	省吾	(昭和41年卒)
	公認会計士	中嶋	基宏	(昭和57年卒)
			教晶	(平成8年卒)

明魂会

昭和57年卒 菊池 正純

昭和57年3月卒業生は、昭和61年春に、同期参加者50名余と10数名の先生方の出席のもと、同窓会を開催した実績がありました。それが以降、全体としての同窓会は開いていませんでした。

そこで、総明会の幹事学年を翌年に控えた、昨春秋、数名の発起人のもと、「明魂会」として、霞ヶ関ビル内の東海大学校友会館にて第一回会合を開催しました。

恩師の安部友己先生、大野正隆先生にもご光臨を賜り、懐かしい面々と再会を果たすことができました。

その後、平成21年の総明会幹事学年として活動を開

始しつつ、本年5月16日

(土)、丸の内帝劇ビル内の「番屋」にて、第二回の全体会合を開催しました。

ここでは、秋の総明会総会・懇親パーティーに向けた準備活動や、総明会チャリティーゴルフコンペのお手伝いに向けたスケジュールなどを確認し、一致団結して前進あるのみ！と「明魂会」の総意として決意しました。

多くは25年以上を経ての再会であり、始めは戸惑いもありました。しかしながら、そこはかつて神田駿河台の学舎で互いに切磋琢磨した同窓、一言言葉を交わせば、昔のままに一気にか

の花が咲き、最後は、ご多分にもれず、校歌の大合唱の中に夜が更けていくのであります。

まもなく幹事学年としてのメインイベント、総会・懇親パーティーの開催を迎えますが、先輩諸兄、後輩諸君の良き想い出の1ページとなるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ申し上げます。



品川交通(株)

代表取締役

(昭和57年卒 明魂会)

品川区北品川 2-34-3
<http://4750.jp/>

Hiroshi Miyashita
宮下 大



染谷 貴男

総明開発株式会社
昭和五十七年卒 明魂会
硬式野球部OB
代表取締役

〒三三〇〇〇五二
埼玉県草加市金明町四七三十四
電話〇四八一九四六二〇〇〇
FAX〇四八一九四六一二七〇〇

幹事学年 昭和57年卒 明魂会



おゝ明治



神奈川歯科大学

評議員

生体管理医学講座薬理学分野

バイオリジカル研究所

教授 李 昌一

(昭和57年卒 明魂会)



明輪会

昭和58年卒 大塚 達宏

今を遡ること3年前、予
期せぬ同期生の悲しい知ら
せがきっかけでした。

彼は明中高と6年間野
球部に所属し、学業は特に
目立つ成績ではなかったも
の、控えめなやさしい性
格と穏やかで特徴的な顔立
ちが印象的であり、先生や
同期生更には、後輩の誰か
らも愛される奴だったと記
憶しています。

そんな彼に訪れた若すぎ
る突然の別れをきっかけに、
母校明治の同期連中の「今」
が無性に気になり始めたの
です。

みんな何をやっているの
だろう？ 元気なのだろうか？
先生はどうされているのだ
ろう？ 27年という空白期間
がこの何とも言い難いやる
せない感情として芽生え、
何としても再会を果たした
いという願望へと変貌し、
それが第1回同期会開催の

大きな原動力となったので
ありました。

2006年5月頃に第1
回準備会を開催し、その時
の人数は怖い物見たさ？に
集まった人数はおおよそ5
6名であったと記憶してい
ます。

しかしながらその「輪」
の広がりを徐々に見せ、同
年10月に開催の初なる同期
会には現役学生当時には決
して見せることの無かった
(笑)たゆまぬ努力と結集力
を存分に発揮し、恩師・樋
山先生、坂口先生、笹倉先
生、総明会・藁谷先輩、明
誠会・玉置先輩、吉田先輩
にもご列席頂き、同期生も
朝までの宴を含めると100名
超の出席を実現することが
叶いました。

会の名称である「明輪会」
の原点はまさにここにござ
います。母校を舞台とした
人の和や心の和を大切にし

たいという気持ちを込めて、
年1回の定期会合をベース
に再会を果たした仲間が集
う楽しい付き合いを継続し
ております。

今思い出しますと、その
後総明会諸活動を知る大き
なきっかけになったこと、
そして何よりこれからの人
生の歩みの中で人付き合い
の「輪」が大きく広がった
ことが何よりの財産である
と認識いたしております。

総明会の今後のさらなる
ご発展と皆様のご健勝を
お祈り申し上げ、立ち上げ
のエピソード及び近況ご報
告とご挨拶に代えさせてい
ただきます。ありがとうございました。

一番碾き蕎麦

よしみや

昭和58年卒 明輪会

大塚 達宏

川崎市宮前区小台1-19-5-B1

TEL 044-853-0753

よしみや.jp



海鮮居酒屋
はなの舞 湯島店

昭和58年卒 明輪会

井上直樹

東京都文京区湯島3-24-13

東京家具会館ビルB1

TEL 03-3836-5945

ホームページ

<http://r.gnavi.co.jp/g192815>

昭和58年卒 明輪会

有限会社 遠藤印刷

遠藤憲治

東京都千代田区飯田橋3-2-3

TEL 03-3262-2025

昭和58年卒 明輪会

石原クリーニング(株)

石原清隆

www.ishihara-cl.com

昭和58年卒 明輪会

坂井 周太郎

Music & Dining Bar

La Cuji

東京都文京区根津2-26-1

携帯: 090-8330-6827

E-mail: bar.lacuji@ezweb.ne.jp

昭和58年卒 明輪会

株式会社 鴨川商店

鴨川佳明

東京都江東区新木場3-5-4

TEL 03-3521-5521

FAX 03-3521-5523

日本の古本屋

日本書房

西秋忠男(昭和30年卒)

西秋輝彦(昭和58年卒)

千代田区西神田 2-8-1 2

TEL 03-3261-2740

<http://nihon.jimbou.net/>

昭和58年卒 明輪会

(有)クリーニング
アカシヤ

小野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18

TEL 03-3714-0425

昭和58年卒 明輪会

青木経営法務事務所

行政書士 青木正美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4

TEL 03-3676-5420

FAX 03-3676-5421

日本料理 手打ちそば

十和田

昭和58年卒 明輪会

富永龍司

東京都台東区浅草1-13-4

TEL 03-3841-7375

ホームページ

<http://r.gnavi.co.jp/g06100>

昭和58年卒 明輪会

斉
藤
俊
英

辻
康
司

市
川
剛

森
勇
一

笠
原
謙
介

真
野
大

川口明高会30周年

昭和58年卒 明輪会 大熊 健介

平成20年川口明高会をはじめ、初代会長の大熊康浩氏が、当時の校長であられた福島校長が当地の武南高校の校長に就任されたのを機に、お世話になった福島先生の激励、川口在住の明高卒業生の親睦を目的に周りの者に声をかけられ開催されたことに始まっています。当初は名簿もなく身近の卒業生7名から始めたのですが、その後先輩方の地道な努力により10周年・20周年・30周年と会を重ね発展してきました。20周年記念の折には諸先輩方・並びに会員有志の力添えにより竿頭付の川口明高会旗を作成いたしました。

また、定例会は2月8月と年2回を目標に昭和31年・34年卒内木ご兄弟経営の「海老家・味可久門」を中心に母校の先生にもお声がけし、紫紺の旗のもと毎回約20名前後にて開催しています。川口明高会と言いましても他の地域にはこのような会が存在しないせいか近隣市はもとより近隣都県からも多数のOBが出席をされています。今後40周年50周年と会の継続・発展に努力邁進してまいります。最後にありますが第45回総明会が盛会となりますよう川口明高会一同お祈りいたします。

昭和43年卒
紫讃会

石井次男

渡総研(株)

東京都中野区江原町1-5-13
TEL03-3954-2560

昭和34年卒
旧雨会

内木 顕

海老家味可久門

川口048-223-6111

57 明魂会
58 明輪会
川口明高会

大熊 健介

☆精工実業株式会社
総合不動産業

機械工具総合商社

(株)寺坂商店

川口本社・白岡支店・館林営業所

TEL048-251-4767
FAX048-251-1917

昭和48年卒 寺坂光正
昭和52年卒 寺坂栄治

支配人

大野 太郎

(昭和52年卒)

ピートダイ ゴルフクラブ

ロイヤル 〒321-2341栃木県日光市大沢町石神1209
コース TEL 0288-26-0011 FAX 0288-26-0475
<http://www.pacificgolf.co.jp/petedye/>

祝 川口明高会 30周年



30周年記念パーティー



定例会



川口明高会

川口明高会旗

(設立 昭和53年)

明高会ホームページ <http://www.cablenet.ne.jp/~prout/>

初代会長 大熊 康浩

二代会長 目良 昇

三代会長 久松 勇

四代会長 天野 洋一

五代目会長 荻野 布昌

(物故)

六代会長 石井 次男

七代会長 由本 俊昭

八代会長 土屋 悌一郎

【事務局】

川口市 峯307-4

石井 君忠 (明魂会)
048-294-3780



自転車用ベル・店舗用販促備品什器

専務取締役

市村 晃一

株式会社 東京ベル製作所

本社 東京都荒川区西尾久4-8-4

〒116-0011 TEL.03-3893-5741 FAX.03-3800-5081

http://www.tokyobell.co.jp

昭和59年卒

ライフプランナー

渡 邊 文 夫

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンター第5支社

東京都渋谷区代々木3-22-7

新宿文化クイントビル4F

電話 03-5358-1705

携帯 090-4376-6146

SL09-375-048

昭和54年卒

明誠会

(株)朝倉鋳物

代表取締役

朝倉一寿

TEL048-251-4380

FAX048-251-4381

硬式野球部OB会

明 球 会

会長 一泉二郎 (昭和51年卒)

ホームページURL <http://o-meiji.com/>

事務局連絡 E-mail: mail@o-meiji.com

昭和五十六年卒
須藤司法書士事務所
司法書士

須藤 貢一

〒二五〇〇四六

江東区牡丹二一九一六九一四

TEL〇三三六四三一六五〇

有限会社トラストワーズイ

金属・アクセサリ企画・製造

代表取締役社長 山田真也 (硬式野球部OB)

取締役専務 山田健二 (硬式野球部OB)

〒一三三〇四四

東京都墨田区八広四丁目八番十号

電話 〇三・三六二・三三三八

昭和47年卒

文具&スポーツ

有限会社 コバヤシ

小林千春

(硬式野球部)

〒343-0836

越谷市蒲生寿町9番39号

TEL048-988-2222

FAX048-988-2277



omori

建築資材総合商社

株式会社オオモリ・マテリクス

代表取締役 大森 清貴 (長男 明治大学野球部1年生)

本社 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18番地

TEL 03-3253-9411 FAX 03-3253-9418

営業本部 〒135-0053 東京都江東区辰巳2丁目3番1号

TEL 03-5534-7700 FAX 03-5534-7708

明球会

昭和51年卒 明球会会長 一泉 二郎

八王子市民球場は雨まじりの曇天だった。

平成21年7月21日、第一試合で法政高校が負けた後、30分遅れの午後1時からの試合だった。8回を終わりの3対3、スタンドの熱気は最高潮に達していた。これだけの熱気は中々無い。2年連続の甲子園を目指す日大鶴ヶ丘高校戦。3回戦である。

嘗て、鶴ヶ丘高校の前に明大野球部合宿所が在り、最寄駅も明大前。多くの明大野球部OBにとって縁のある学校だ。

この試合で大きな意味のあるイニングが初回に来了。明治、一死後、安打・犠打失策・安打・安打・死球・・・

(走塁ミス・体で当たっていく気魄)・・・2点。そして、9回裏、鶴ヶ丘、四球・野選。無死一・三塁で3番敬遠、4番との勝負。

鶴ヶ丘高校の4番小野瑛人は昨夏の甲子園でも4番。今大会も6回の本塁打を含め3本塁打。

澤田監督の決断には常に感服させられる。サヨナラ負けのピンチに「打者が誰でも満塁策」。スタンドは固唾を呑み、スタンドの思いが選手達に届いた。

打球はライトフライ、読み通りのライトフライ、右翼は強肩の宮垣に・・・見事なバックホーム。

サヨナラ負け。三塁走者槇原の見事な捕手をかわす

スライディングだった。

甲子園は遠くても、本気で勝ち抜くことを目指していた選手達の涙は止まらなかった。この夏への思いを最も感じていた澤田監督は、試合終了後もなかなか球場の外へは姿を現さなかった。昨年に続いての夏の大会での好ゲーム。体格・実力・環境等々日大鶴ヶ丘高校が上。

澤田監督の投手を育てる・チームを作る事の見事さに感銘致しました。勿論勝てなかった悔しさはありますが、見事な試合を見せて頂きました。監督・指導陣の方々に心から感謝申し上げます。毎日グラウンドにご指導に来て頂いた先輩にも重ねて御礼申し上げます。素敵な夏を有難うございました。

今回、総明会幹事の方か

ら「明治魂」について寄稿を依頼されました。皆が望むのは、よき戦闘者としての指揮官であり、その指示に従うだけでその前途に勝利があると信じられる指揮官です。男明治の澤田監督の益々のご活躍をご祈念致しております。

最後になりましたが、今後とも野球部OBの連帯・紐帯・靱帯の強化を頂きますようお願い申し上げます。また、校長先生・部長先生始め学校関係者の方々のご支援に心から感謝申し上げます。



明治大学付属明治高等学校応援団OB会

昭和30年卒 田村 正彦

約2年間の準備期間を経て昭和24年、明治大学付属明治高等学校応援団は、運動部の一つとして正式発足、初代団長小田川玉城。

昭和27年生徒会の班として位置付けられ、本年創団60周年を迎える。

OB会は、昭和48年顧問に山田伸夫先生を迎え結成、初代会長加藤眞義。60年余りの全団員を組織した強固な団結、燦たる伝統のOB会である。

中高の現役団員は、男子9名女子チアリーダー21名。近年その監督、コーチは学長より委嘱状を授与され、顧問先生のご指導の下5名のコーチ陣が献身的に日々現役の指導に当たり、日本

一と評される中高応援団に育て上げ、テレビ雑誌等でも広く全国に紹介されている。

「明治ある所応援団在り、応援団の征く所団旗あり」。栄光の大団旗12畳60キロ、応援団こそ母校の輝き母校の象徴と自負。応援団OB会は、現役クラブの応援のみならず、御依頼があれば校友会、同期会等のイベントにも出向き校歌、応援歌の指揮をとり、母校愛を盛り上げ、会場は大きな感動に包まれる。

当OB会は真摯に謙虚に大きな誇りを持って皆様の依頼に応え、母校の発展に寄与したい。

平成21年11月8日(日)

応援団結成60周年記念祝賀会を催します。諸氏のご協力をお願い申し上げます。実行委員長は、吉田耕太郎。



昭和三十年卒業
第六代生徒会長
応援団OB会会長
中央医療学園専門学校参与

田村 正彦

「いじめ問題」講演

TEL03-381-0080
090-1800-1160

祝 第45回 総明会総会

明治大学付属明治高等学校応援団OB会

会長 田村 正彦(昭和30年卒)
評議員 佐藤 欣生(昭和28年卒)

見 心 会

明治高校剣道部OB会

会 長 矢光 善美 副会長 中島 健一
監 督 鈴木 幸男 会 計 羽田 郁雄

代表取締役

藤本芳徳

(昭和三十年卒 応援団OB)

〒三三八〇〇一
埼玉県さいたま市中央区大戸五二(一)ハ
TEL 〇四八(八三三)六九一ハ
FAX 〇四八(八三三)〇二九〇

株式会社フジモト



いま、ともに『良質』を追求する生活創造企業へ。

株式会社 ライテック 代表取締役社長 廣田 良平

■本社 〒111-0053 東京都台東区道春橋2-13-9 TEL:03-3861-5151 FAX:03-3851-2289
■大阪営業所:TEL:06-6338-2752 ■名古屋営業所:TEL:052-232-3935 ■仙台営業所:TEL:022-221-7940 ■福岡営業所:TEL:092-483-1470

URL: <http://www.lightec-inc.jp>

田中重幸税理士事務所

昭和59年卒

税理士 田中重幸

〒133-0044
江戸川区本一色1-23-13
TEL・FAX 03-3674-6127
E-Mail: tanaka-zeimu@w8.dion.ne.jp

会社・お店のイメージアップ・売上アップの
お手伝いします

会社やお店の営業ツール、
パンフレット、カタログ、看板、
ロゴマーク、メニュー、チラシ、
ホームページ等のデザイン
制作を行っています。
お気軽にご相談下さい。

GRAPHIC DESIGNER

昭和59年度 卒業

島村 武史

〒171-0052 東京都豊島区南長崎2-18-14-301

tel: 03-5996-6828 fax: 03-5996-6833

E-mail: take-457@netjoy.ne.jp

株式会社 山泰製作所

取締役 山本雅宣 (昭和59年卒)
営業部長 バスケット部OB)

〒949-6775
新潟県南魚沼市宮字西原2294番8 (津久野工業団地内)
TEL 025-773-3428 FAX 025-773-2763
E-mail masanobu-yamamoto@yamatai-mfg.co.jp

土木・建設仮設機材リース・販売
川浜商事有限会社

代表取締役 田 炳喆
Heitetsu Den

(昭和64年卒 バスケット部OB)

本社

川崎市川崎区浜町4-12-9
TEL 044-355-3456~8
FAX 044-355-4907
携帯 090-1606-4441

明治高校剣道部OB会「見心会」

昭和43年卒 紫讃会 中島 健一

今年還暦となり、改めて人生を顧みると、明治中学・高校のときが如何に自分の人生に貴重な瞬間であったか、その思いがこみ上げてくる。

何物にもとらわれず、ただひたすらに学園生活に進んだ時代、我が青春のアルカディアだ。個性豊かな先生方に囲まれ、生徒各々の個性の育成に細やかな気遣いをされていたことが今になってわかる。時は高度経済成長時代、中学3年のときが東京オリンピックだ。日本が今よりずっと輝き、希望に満ち、人々は精一杯働いて、明日の日本を築こうとしていた。そんな素晴らしい時代に青春を明治で過ごせたことを大変幸福に感じて、改めて明治へ入学させてくれた今は亡き両親に感謝したい。

さて、そんな私が入部したのが剣道部。動機は「憧れ」。多分、母親が日本人

化のことをよく私に聞かせていたので、その影響を受けたと思う。中学1年のときは、なんと高校校舎の屋上が道場代わりであった。高校生の先輩が、高体連の試合に臨み、体育館の外しながら、ここで試合したほうが慣れているよな、と話していたことを覚えている。やがて、中学の新校舎が完成し、道場での練習が始まった。しばらくすると、父親のような大人の先輩が指導に來校されるようになった。旧制中学時代の大先輩である。

この大先輩を中心にOB会「見心会」が誕生する。当時中学生の私は、何がなんだかさっぱりわからず、とにかく凄い大人がたくさん来て教えてくれる、と思っていた。

「身心」という小冊子まで発行し、今思うと文化的背景も堅固な団体であった

と感じる。巻頭に、常に「剣の道、人生の道、処世の道」という言葉があり、中学生なりに将来明治の名に恥じない大人になろう、などと考えたものだ。

この頃から、現役の大学生、社会人OBが頻繁に來校されるようになり、練習は厳しさを増していった。特に合宿はシゴキがまかり通っていた時代でもあり、熾烈を極めた。

このシゴキを越えられたので、今の自分が在ると思う。何事にも屈しない精神力が養われたと感じている。

五大学付属高校剣道大会があり、同じような付属高校でも個性・校風・剣のスタイルは様々にあるものだと高校生なりに世間勉強したものだ。

なんでも世間を広くする、見識を広める姿勢は大切だと思ふ。そうすれば、老いともそう衰える事は無いように思う。

中学1年の冬合宿は、日光東照宮武徳殿であった。真冬に道場で寝泊りしての合宿、とてもよい経験になった。

た。これ以後、道場の周りの畳で寝起きする合宿は無かった。

また、日光東照宮を使った体験は貴重なものだ。またま深夜に嵐に見舞われ、翌朝大木がごろごろ倒れていた。合宿の合間にその散らばった小枝のかたまりの清掃に協力したところ、地方紙に写真入で掲載され、家で両親に興奮しながら話した記憶がある。

中学高校の6年間を通じ、退屈する事の無い明治の剣道部生活であった。それは父親のごとき大先輩が氣さくにくに接してくれ、また熱心に大学生や社会人の先輩が面倒を見てくれたおかげで、余計なことには氣を奪われる事無く、学園生活に専心出来たからだ。

大学生のときは後輩の指導をしたが、社会人になってからは竹刀を振る機会も無く、先輩諸氏に受けた恩を後輩に戻せず、申し訳なく思う。現在共学となり、校風にも変化がおきている事と思うが、「明高ファイト!」の気概だけは継承して欲しいと願っている。

バレー部OB会活動の現況

昭和52年卒 男子校根性組 樋田 哲次

総明会の皆様 こんにちは。
は。バレー部OB会では、
一昨年より活動を再開し、
昨年は現役高校生の関東大
会出場を応援しました。

また、年末には全OBに
活動の基となる会費の銀行
自動引き落としの依頼をお
願いをしたところ、50名以
上が応じていただきました。
この紙面を借りて厚く御
礼申し上げます。

今年の3月には、大学生
高校生の卒業を祝う会も久
しぶりに催し、卒業生が10
名、顧問先生とOBが14名
参加し、卒業を祝いました。

今後は、12月頃に新校舎
でのバレーボール大会や、
30代40代のOBだけの会合、
またゴルフコンペを企画し、
より多くの会員の参加・親
睦を図りたいと考えており
ます。

現役高校生中学生につい
ては、今年は女子部員が多
く入部し、いよいよ公式戦
に出場ができる見込みです。

Meijiのロゴが入った女
子部のユニフォーム姿も見
たいものです。

男子は、高校Ⅲ年生の部
員はいませんが、Ⅱ年生Ⅰ
年生で、よくまとまり、4

月の関東大会予選は、予選
リーグ戦、コート決勝を勝
ち、2日目まで駒を進めら
れました。

6月のインターハイ予選
は、残念ながら、コート決
勝で惜敗しました。

しかし、この会報が出た
後の秋の新人戦は、大いに
期待ができます。

OB会HPやメール等で
試合のご案内もいたします
ので、応援のほどよろしく
お願いいたします。

樋田哲次

090・4539・1363

toietetsu@nifty.com

明治高校バレー部OB会

会長 長 当間堅一郎 (S32年卒)

副会長 吉田 信行 (S37年卒)

副会長 片山 真 (S39年卒)

幹事長 服部 雄二 (S44年卒)

幹事長補佐 岩崎 広人 (S57年卒)

幹事長補佐 岡永 健二 (H4年卒)

事務局長 酒井 孝憲 (S40年卒)

事務局長補佐 樋田 哲次 (S52年卒)

事務局長補佐 山本 直之 (H8年卒)

会計 加藤 裕司 (H8年卒)

HP担当 阿部 徹也 (H11年卒)

<http://www.geocities.co.jp/meiivolley/>

明高バスケの明治魂

昭和63年卒 小柳 貴裕

去る3月20日の祝日にバスケット部OB会の第32回総会および懇親会が行われました。

長年親しんだ駿河台の地から調布の地へと校舎が移り、初めてのOB会。卒業生は期待と哀愁を胸に秘め、各々新校舎へと足を運んだことでしょう。

新校舎の壮大さに驚きをおぼえながらも、ありもしない男坂を脳裏に思い浮かべたのは僕だけだろうか。

新校舎には大きな体育館に小体育館、トレーニングルームにシャワールームとバスケットをするにはたしかに抜群な環境であった。

ただ、男坂がない！がむしろに駆け上った、根性と気合で登った、あの理不尽な坂。嫌いだった男坂。けど、いろいろなことを教えてくれた男坂。

新校舎で我々の後輩たちは何を学び取るのだろうか？まだ汗や涙が染み付いていないきれいな体育館に何を刻んでいってくれるのだろうか。

今年に入って活動ブロックが変わったにもかかわらず、高等部男子はベスト16まで進み、中学も多摩地区大会200校中16位と健闘しております。

女子部にかぎっては部員

数が足りなく、試合ができないといった状況です。

バスケット部OB会としてはインターネットを使い、現役の活動報告を随時配信する試みをしています。

OB会として、後輩たちに何をしてあげられるか。バスケットの技術向上のための環境支援であることはもちろんです。「強くなつてほしい」はOBの総意です。

試合がある度に何人ものOBが応援に駆けつけ、一喜一憂している先輩をみて現役はどう感じているのだろうか？脈々とつづく「明治魂」を感じとってくれていればいいのですが……。泥臭くても、真っ直ぐに自分を磨く。上の者は下の者を可愛がり、下の者は上

の者を敬う、仲間を大切に
する気持ち。個人のスキル
とチームプレイが交錯する
バスケットだからこそ培わ
れる心。

自分だけが良ければいい
という今の時代に、犠牲と
いう言葉を嫌う時代に「明
高バスケの明治魂」だけは
受け継いでほしいものです。



明治高校バスケット部OB会 めざせ!!インターハイ出場!行けど!関東大会!

名誉顧問 晨 匡一郎

OB会会長 三田 幹男 (S43卒)

副会長 大石 喜代司 (S46卒)

吉田 博 (S51卒)

米田 晴彦 (S53卒)

総明会 担当 佐藤 眞弘 (S49卒)

総務部

部長 木戸 基満 (S57卒)

小柳 貴裕 (S63卒)

中村 雅之 (S62卒)

事業部

部長 田中 幹浩 (S57卒)

伊藤 稔 (S59卒)

田 炳喆 (S64卒)

山下 康彦 (H 5卒)

財務部

部長 米田 晴彦 (S53卒)

門川 隆之 (S58卒)

並木 功 (S58卒)

有限会社三友金型

代表取締役 小柳 貴裕 (昭和63年卒
バスケット部OB)

〒131-0032 東京都墨田区東向島6-25-13

TEL 03-3617-6683 FAX 03-3610-1299

E-mail sannyyuu@tj9.so-net.ne.jp

〒177-0033 練馬区高野台一三三七
TEL 03-3591-0105
FAX 03-3591-0156

吉田 博

昭和五十一年卒 明々会
総合不動産業
株式会社 エヌエフ・ヴィレッジ
取締役 事業推進室 室長

米田税務会計事務所

昭和52年卒

税理士 米田晴彦

〒130-0026

墨田区両国2-17-8

(両国高橋ビル3F)

TEL 03-3631-8878

FAX 03-3632-3346

E-Mail: yonetakaikai@tkcnf.or.jp

総合電設資材卸

伊東電機株式会社

代表取締役 伊東 稔 (昭和59年卒
バスケット部OB)

本社: 東京都江戸川区松島3-34-21

電話 03-3654-9241~5 FAX 03-3654-9256

E-mail ito@ito-den.com

船橋営業所・松戸営業所

スキー部OB会「明雪会」

昭和57年卒 明魂会 鳴海 浩樹

今年の総明会の幹事学年としてその仕事の一部を受け持つことになり、今まですっかりご無沙汰していたスキー部の諸先輩方とお会いする機会が増えている。

正直言って明雪会に出る

ことについてはあまり気が進まなかった。もちろん幹事学年としての責任を全うするためであるが、下心がみえみえでちょっと具合が悪い。でもはっきり言って下心なんて全てお見通しなのである。

約30年という時間を隔てて先輩方に会ったわけであ

るが、驚いたことに全く違和感が無いのである。つい最近会ったばかりのようにも思えてくるから不思議だ。明高時代にそれだけ濃密な時間を過ごしていたということか。

あの時代は皆本当に貴重な時間を共有していたのだと思う。でも当時はそんなこと考えもしない、まさに極楽とんぼそのものであった。

昨年から明治高校は共学になり女子の部員も誕生したと聞いていたのであるが、今年は努力の甲斐なく空振

りに終わったそうである。来年は女子の後輩ができることを明雪会一同心待ちにしている。

スキー部は今年度より、顧問先生、監督、コーチが一新し新たな組織体制となった。副顧問の先生はなんと女性、しかも美人である。

もし我々の時代の合宿に行したならば悪行の数々に卒倒したであろうことは間違いない上品な方である。

それだけ我々の時代と比べて現役世代はマイルドになったというか賢くなったということなのであろうか。でも心の底には明治魂という熱い気持ちを持って頑張っ

ただではなく、成績もついてくれば益々よろしい。

幹事学年としての仕事を通して私も久しぶりに明治魂を思い起こし、気合を入れ直した次第である。



明雪会

スキー部OB会

会 長	堀 眞壽 (昭和46年卒)
副 会 長	戸 張 毅 (昭和47年卒)
名 譽 会 長	津 守 徹 (昭和51年卒)
顧 問	若 松 弘 昌 (昭和39年卒)
	大 津 富 士 男 (昭和28年卒)
	佐 藤 健 一 (昭和31年卒)
	大 出 育 男 (昭和31年卒)
相 談 役	藤 井 英 一 (昭和32年卒)
	山 田 和 孝 (昭和36年卒)
幹 事	服 部 憲 一 (昭和50年卒)
	岡 本 雅 仁 (昭和51年卒)
事 務 局	五十嵐 公 一 (昭和54年卒)
	菅 野 栄 一 (昭和55年卒)
	吉 口 市 郎 (昭和55年卒)
	狩 野 智 雄 (昭和56年卒)
	深 谷 剣 (昭和62年卒)

めざせ!!

インターハイ連続出場

関東大会入賞

平成23年(2011年)

創部60周年

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役

若 松 弘 昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7
ドルミ五反田アンメゾン1001号
TEL 03-3491-0900

昭和四十六年卒
(株)インターブランニング

代表取締役 **堀 眞壽**

電 話 〇三三五〇・三三八
FAX 〇三三五〇・五〇三

税理士法人 狩野会計社
www.kanou-kaikeisha.com

代表社員 税理士

狩 野 智 雄

〒114-0002 東京都北区王子2丁目28番2号
Tel 03-3913-1964 Fax 03-3912-0835
E-mail: tkanou@kanou-kaikeisha.com

厨房のアメニティを創造する

津守興業株式会社

代表取締役 **津 守 徹**
(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001
埼玉県川口市朝日5-5-22
TEL 048-222-6187
FAX 048-222-8584
E-mail: tsumori@luck.ocn.ne.jp

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

埜 直 樹

中央区日本橋箱崎町12-2
03-6667-5800

祝総明会総会

モップ・清掃用品・テント・シート
袋物から大型品縫製加工

株式会社 岡 仁

代表取締役 **岡本雅仁**

(昭和51年卒 明々会)

〒106-0047 東京都港区南麻布2-4-12
TEL 03-3451-3671 工場: 栃木県大田原市

水泳部OB会「明水会」

昭和46年卒 明潮会 中村 明彦

「明水会」は、会員の相互の結束と親睦をはかり、友情の維持発展を期するとともに、母校並びに同窓会との交流を通じ、母校の伝統の維持や水泳部の発展のためにこれを賛助すること

を目的として、昭和57年4月、明治大学附属明治中学・高校水泳部のOB会として発足し、定期総会・懇親会・忘年会、ゴルフコンペ等の活動が続けてまいりました。

構成会員は、「明治中学・高校」に学籍を有した者で水泳部の在籍した実績を有する者。」との規約のもとに、昭和26年卒業の大先輩をは

じめとして歴代の水泳部卒業生の方々に会員となつていただいております。

最近の活動

本年の定期総会は、平成21年4月24日に丸の内の「芳月亭」で行なわれまして。活動・会計報告など議事を行い、その後の懇親会では出欠の返信時に頂いた近況報告をもとに会員相互の交流、ふれあい、絆を深めました。話題は母校の話、マスターズ水泳大会の話、等々多岐にわたり時間のたつのも忘れるほどでした。

役員会（年3〜4回）では、役員に加え会員の皆様

にも参加していただき、毎回テーマをきめ議論し、提案・ご助言を受けて会の活性化に役立てています。

今年のゴルフコンペは平成21年9月27日にアゼリアヒルズC・Cで予定しております。

また総明会の各会合やコンペなどにも積極的に参加させて頂いています。



明治中学・高校水泳部OB会

明水会

会長 石川 守也(S36年卒)

明水会事務局としましては、今後も楽しい企画等活動を行きたいと思っております。

アイスホッケー愛好会「明氷会」

昭和35年卒 珊瑚の会 武藤 仁

アイスホッケー愛好会、

これが私達愛好会の名前であり記憶の限りでは、部に昇格した覚えはない。

何せ明氷会というOB会が出来たのは私が卒業してから23年余り過ぎた昭和58年である。

明氷会が創設されたのは、次の様な経緯がある。

昭和58年の夏だと思えます。富田正一先輩から突然連絡を受け、アイスホッケー愛好会のOB会を創ったので、品川プリンスホテルへ集合せよ、との事でした。

とりあえず当日リンクへ弟の彦次郎さんが、大学部員の靴を多数借りて下さっていたのを履き、久しぶりに滑りました。

その後、一杯飲みながら富田正一先輩が、昨年より東京都のオールタイムマー(当時40才以上)が結成され、リーグ戦を始めた。明高アイスホッケー愛好会のOB会でチームを作り参加しては如何との事でした。

出席者全員が賛成し、故水落先生に顧問をお願いし、明氷会を発足、同時に明治シルバーベアーズを設立致し、その年の秋より都のリーグ戦に参加しました。

早速、防具をそろえる事になりました。ほとんどの人達が、明高、明大を卒業してから靴さえ履いていない状態なので苦勞致しました。何せエッジに溝が入った靴を使用した事がない為、

平研にして練習に励みました。1年目は散々な結果でしたが、年を重ねるにつれ上位に入り、優勝を何度か手にした事もありました。

2年目からは、日光のジャポチームと定期戦を持ち最初は後楽園で、日光との定期戦は現在も行われています。(今年6月27日シチズンリンクにて勝ちました)

又、対韓国戦は、明治シルバーベアーズが主となり、1年ごとに行き来し、ソウルへ4回、ハワイへ1回、その後は八戸のチームへと引き継いだ形となりました。ここ10年位は年1回、国内各地へ遠征試合を行っています。

私の記憶の限りアイスホッケー愛好会は、昭和40年頃は明高主力でなく、明大中野高校にアイスホッケー部が出来た為そちらへ参加し

ていたと聞いていました。後に、学校の方針によりアイスホッケー愛好会が廃部との事、誠に残念でなりません。

現在のシルバーベアーズは、明氷会メンバーだけでなく、明大OB、明大中野OB、知人で経験者等々を募りチームを結成しています。先輩方の体調不良、転勤等退部者が続出、発足当時明氷会のメンバーは私一人です。

明治シルバーベアーズ存続の為にも明氷会メンバーの名簿が必要です。

私の持ち合わせは卒業後4、5年迄しかなく、その後は是非入手したく思います。一報頂ければ幸いです。同時に、明高にアイスホッケーの風が吹く様願って筆を置きます。想うままを記しました。

物理部OB会「明物会」

昭和46年卒 明潮会 磯部 進

明物会は6月の新入部員歓迎会、11月の総会と年2回活動しています。今年も、6月13日(土)に新入部員歓迎会を開催し、2人の大學生を迎えました。当日の参加者は、直前にアメリカから戻った井家上会長以下13名(写真)でした。

昨年の11月29日(土)には30名弱で総会を開催しました。現役の中学生まで参加してくれたので、私達の学年(57歳)から15歳位までと、文化部では珍しい幅広い年齢構成を誇っています。

現役に対してはOB会有志が学校を訪問し、文化祭のバックアップだけでなく、コーチ的な活動もしています。

希望の女子部員も迎え現役の物理部だけでなく、明物会も変化を求められています。ホームページの活用、現役の学生や顧問の先生方との交流を更に図り、固いイメージの「物理部」のネットミングについても考えて行きたいと思っています。



放送班OB会

昭和57年卒 明魂会 宮田 健

例年、放送班OB会のうち昭和53年から昭和61年卒を中心とした有志で、恩師故田村晴彦先生の命日(5月17日)にあわせ毎年5月の第3土曜日に先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っています。

今年の第3土曜日は5月16日でした。墓参の参加メンバーは4名と、ここ数年の傾向を見事に反映してしまいました。今回初参加の者もあり今後への期待も持てます。慣れた手つきで掃除をし、一人ひとり合掌し近況など先生へ報告しました。

その後は、いつものよう

に夕闇迫る麻布十番へ、ここで仕事を終えた一人が合流しました。

さて、今年筆者は幹事学年として会報作成に関わり、今年度わずか3人まで班員が減少した現状を耳にしました。この報告をし、コンクールに積極的に参加した現役時代の活躍ぶりを振り返り、熱い語りは夜更けまで途切れることがあります。ごめんなさい。(本誌30ページをご覧ください。)

毎年「来年こそはー」とお考えの皆さま。ご参加お待ちしております。インターネットの掲示板や、メーリングリストをご利用ください。↑

軟式庭球部OB会

昭和51年卒 明々会 林 伸光

我がOB会は、本多会長のもと、現役学生との交流も兼ね、毎年11月に母校に於いて開催しております

昨年も11月に新校舎に移転され、初のOB会を、新旧OB含めまして、50名程度の参加を頂き、現役学生との交流も兼ね、大盛況のもと開催致しました。

人工芝のコートが多面設置され、コンクリートの校庭しか無かった事を考えると環境のすばらしさに驚くばかりです。しかしながら、校舎移転後共学となり新しく硬式庭球部が発足し、硬式庭球部は男女とも入部を認め、軟式庭球部には女子部が出来なかった為、当時

の高校2年生以外のすべての部員は、硬式庭球部に転部したとの事で、廃部の危機に陥っている状況です。

私が在籍していた昭和40年代は、運動部の中でも最も厳しいと言われた伝統のクラブであり、上下関係も非常に厳しく、上記のように学校にテニスコートが無い為、平日は錦糸町、両国など様々な外部の公園などの施設を毎日予約し、時間を惜しみ3時の終業と共にカバンを持って学校を飛び出し、コートまで常にダッシュで向かいました。

また、春、夏、冬休みは毎日、大学の生田校舎のコートを借り、朝から日暮れま

で練習に明け暮れていました。

今思えば、中高一貫の6年間先輩に追いつけ、追い越せの明確な目標を持ち、自分の最大のモチベーションの全てを懸け練習に励んできた事が、これまでの自分の人間形成に何より役立っていると感じております。

軟式庭球部がこの先どうなるかは分かりませんが、現役の皆さんが、クラブ活動を通して諸先輩が築かれた明治魂を持って活動される事をご期待致します。

祝 第45回総明会総会 軟式庭球部 OB会

↓ 掲示板は、<http://8630teacup.com/mbc/bbs>です。
またメーリングリスト参加希望の方は <http://groups.yahoo.co.jp/group/tamurakai/>の「グループへの参加(自動処理)」から手続きをしていただくとともに、tamurakai-owner@yahoo.co.jp へご連絡をお願いします。



放送班OB会

『ごとう会』について

昭和52年卒 男子校根性組 大西 静士郎

退職された後藤朋智先生（化学）を囲んで、当時の教え子たちをはじめとする先生にお世話になった者たちが集う『ごとう会』が、今年も5月10日（日）に後

藤先生と美恵子夫人をお迎えて、新宿NSビル29階の『台湾創業酒家 台北夜市』で開催されました。

今年はいくつかの夕方からの開催ということと、（下町っ子が多い明高OBには厳しい日程と思われる）神田祭の最終日にして三社祭

の前週ということでしたので、どれだけの方が参加していただけるか心配しておりましたが、おかげさまで40人を越える方の参加を得られました。

『喜寿』（昨年）を過ぎても現役当時と変わらない（変わったところといえば白髪が増えたことぐらいではないでしょうか）後藤先生の軽妙なお話による近況報告や「先生の元気さは奥様の健康管理があつてこそなんだなあ」と思わせる美

恵子夫人のお話で会場が大いに沸きました。

その後は、29階からの西新宿の夜景を楽しみながら、先生が各テーブルをまわったり、各人が高校時代の先生とのエピソードを披露したりと、今年も先生と奥様を囲んで、楽しいひとときを過ごすことができました。これも、多くの方々のご尽力のおかげと感謝しています。ありがとうございます。

なお、この会は有志による手作りの会のため、多くの皆様にお声をかけきれないと思います。これ

を読まれて、後藤先生にお会いしたいとお思いになられた方は、ご遠慮なく事務局（090・2243・2135・大西）までお問い合わせください。

来年も5月10日に『ごとう会』を開催する予定です。



卯の木会

昭和50年卒 明紫会 桑崎 安弘

昭和50年卒明紫会の桑崎です。

【卯の木会】は我々が故卯木監督を守る会として、昭和50年に発足致しました。最初は昭和49年の1月3日に、当時の硬式野球部員（50年卒11名、51年卒6名、合計17名）が卯木さんのお宅に新年会として招かれまして、京子夫人のおいしい手料理をたらふく食べさせて頂きました。

翌年私達は明治高校を卒業しますので、同期のスパーエース橋本さんが、色紙に【卯木監督を守る会】と大きな汚い字で書き、私

たちが寄せ書きをしました。それから一年に一度新年会として集まり、回を重ねる度に人数が増えて、最大で30名ほどで、お邪魔した事もありましたが、あまりにも大人数で京子夫人が大変です。外部の施設で行う事になり、南千住の金太郎寿司や、浅草のふぐ屋など、開催場所を転々としながら開催してまいりました。平成13年からは、同期の須藤さんがいらっしゃる「浦安ブライトンホテル」にお世話になっております。昨年卯木さんがお亡くなりになった後も何とか開催を

しまして、お蔭様で今年で35回目を迎える事が出来ました。

卯木さんは入院されている時に、「俺が死んでも卯の木会は永遠に続けろ！」とおっしゃっており、皆さんの先輩、後輩仲間達と、卯木さんが大好きでした、「明治高校」に微力ながら恩返しが出来ればと考えております。

【卯の木会】は野球部OBの会ではなく、明治中学、高校、大学に一日でも在籍した人に資格があり、また会員の推薦があればOKという。ようは明治が好きで、卯木さんが好きで、仲間が好きであれば、どなたでも会員として迎えられます。会としての活動は今のところ

る新年会だけです。今後は範囲を広げて行きたいと考えております。

卯木さんにはたくさんの人生教訓を教えて頂きましたが、その中で、「仲間を大事にして、お金を使うのなら仲間の所へ落とせ」「男の価値は死んだ時にしか分らない、義理の花輪の数じゃなく、どれだけのくさんの人が、弔問に来てくれるかが大事なんだ」「男の人生・義理と人情とやせ我慢」などが良く話をされておりました。

私達も卯木精神を継承して、これからも【卯の木会】を発展させて参りますので、皆様方もぜひご参加下さいます様、宜しくお願い申し上げます。

明治高校を甲子園に送る会

昭和57年卒 明魂会 染谷 貴男

6回の表、2アウトランナ13塁、2ストライク2ボールから粘った末の8球目、代打千布が放った打球は、レフトの頭上を超えツーベースヒット。待望の3点目…。ベンチもスタンドも割れんばかりの大歓声。

昨年、甲子園出場を果たした強豪日大鶴が丘高校との3回戦。

初回到明治先攻で2点、その裏鶴が丘が1点取った後は、互いにランナーは出せども膠着状態が続く。そんな中、代打千布の3年間の思いを込めた一振りには、「なんとかするんだ」と言う気迫の籠った、正に明治野球（人間力の野球）が垣間見え、【魂】を感じました。

私ども、【明治高校を甲子園に送る会】は、200

3年6月の発会式を経て、丸6年となりました。その間、グラウンド整備用具やボールの寄贈、また父母の会・明球会（野球部OB会）との共催での激励会の開催等、物心両面にて応援をしております。

さて、勝つ事だけが全てではない、学生野球ではありませんが、3年間泥にまみれ、汗にまみれ、たくさんの涙を流し…。

そんな集大成が、部員全員が一生懸命励んだ結果として、甲子園出場を掴み取って頂きたい。

スタンドには、たくさんの先生生徒・父母の会・OB先輩達と共に、我々送る会は、勿論野球部出身者がおり、生徒会本部、応援指導班、スキー部、剣道部等出身と様々な有志の集まりであります、声が枯れる

ほどの大声で、手が腫れるほどのたくさんの拍手を惜しまずに送ります。大団旗たなびく、紫紺の旗の下に【土豪明治の復活】を待ち望みながら…。

【明治高校を甲子園に送る会】入会申込み先事務局
江東区千田22-4

渡辺裕之

携帯 090-11251-4071

E-mail: 61urv@rondo.plala.or.jp



明治大学 校友会 会長推薦代議員
明高野球部を甲子園に送る会

会長 山 浦 晟 暉

昭和29年卒

TEL. 03 (3378) 2151

紫魂会
渡辺裕之

前年度幹事学年挨拶

第44回総明会実行委員長
昭和56年卒 明翔会 斉木 麻州男

第45回総明会総会・懇親会の開催、誠におめでとうございます。今年度幹事学年の明魂会の皆様、誠に苦勞様です。

現在の厳しい社会情勢の中、幹事学年は本当に大変ですが、高校を卒業してから27年ぶりに会う同期もいると思います。昨年幹事学年として同期と再会できた事が私には何よりの幸せでした。

既に準備に入っている皆様の姿を拝見させていただいておりますが、熱い気持ちが胸の奥まで伝わってきます。皆様で力を合わせて悔いの残らない様に是非頑張ってください。明翔会一同、心より応援しております。さてご挨拶が遅くなりま

したが、昨年の第45回総明会総会・懇親会開催にあたりまして、ご協力を賜りました関係各位の皆様、誠にありがとうございます。多くの皆様からご厚意・ご協力を頂戴いたしました。無事に幹事学年としての責務を全うする事ができました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

また、何かと行き届かない事が多々あったと存じますが、何卒お許しをいただければ幸いです。昨年の総会・懇親会は調布新校舎にて『新たな飛翔』『BOYS & GIRLS』というテーマで開催いたしました。

始めは何から手をつけたら良いのか全くゴールも見

えないまま、我々『総明会汽船 明翔会号』は出航致しました。会報や寄付広告・総会当日の準備など総明会役員の皆様方をはじめ先輩諸兄からご指導ご鞭撻を頂戴しながら、皆様方の熱い明治魂を全身で受けとめて何とかやり遂げる事ができました。

加えて家族の理解があったからこそ準備に没頭できたのではないかと改めて感謝しております。まだ塗装の香りがいっぱいの新しい明治高校の校舎を、一人でも多くのOB諸兄にご覧いただきたいと思い調布新校舎にて開催致しましたところ、300名を超えるご出席をいただきました。

長くて短かった準備期間に色々な事がありました。全てが一度に吹っ飛んでしまった。それだけ嬉しかったという気持ちと同時に

に明治魂の熱さに感動致しました。

今年の総会・懇親会は3年ぶりにホテルでの開催と聞いております。是非皆様お誘い合わせの上、多数のOB諸兄に参加していただきたいと思っておりますので宜しく願ひ申し上げます。

昨年の総会でご覧いただきました通り、明治高校には女子生徒が入学してまいりました。早くも2年後には総明会の仲間入りをすることになります。私は大歓迎です。大いに受入れようではありませんか！

最後になりましたが、総明会の益々のご発展と、OB諸兄の今後のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。今後も明翔会一同、努力精進していく所存でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

次年度幹事学年挨拶

第46回総明会実行委員長

昭和58年卒 明輪会 大塚 達宏

第45回総明会総会並びに、懇親会の開催につき、まことにおめでとうございます。

先ずは、幹事学年でおられる明魂会の皆様、本開催に向けて弛まない努力とそ

の取り纏めの労につきまして、まことにご苦勞様でございます。

長年にわたり開催されてきた「総明会」というその重い「たすき」を絶やすことなく見事に伝承され、我々後輩連中の真の模範として今日この日を迎えられたことと実に輝かしいことであり、恐悦至極であると存じます。

そして、何より総明会幹

部の皆様並びに、各期に於かれる大先輩の皆様のあたたかい眼差しとその母校を想う精神の伝承が見事に融合しつつ、且つ相乗効果として現われ本会が成功へと結びつく方程式であることをご教示頂いたものと確信いたしております。

さて、昭和58年卒業の我々は、昭和39（40）年にこの世に生まれ、同年には東京オリンピックが開催されたことから、五輪の「輪」の字を借用、母校明治の明の字と重ねて「明輪会」と命名いたしました。

この年の事を詳しく知る

者は、我々同期にはある意味おりませんが、この年を境に我々の生きる現代の基礎が形成され、日本が豊かな国へと変貌を遂げる輝かしい時代に生まれたことは在学の頃より恩師、諸先輩の皆様より受け継がれており、命名への想いが込められております。

近代オリンピックの象徴でもある五輪の精神をこのうえなく尊重しそのマークに倣い、上履きの色6色の輪で重なり合い、次年度幹事学年という大役に向けて、一人でも多くの同期の友や身近な先輩・後輩の参加が得られるように、もっと多くの同窓生に総明会の楽しさを知っていただくことが

我々の本望であり、その為の情報発信を意欲的に行っていきたいと考えております。

最後になりますが、同窓の輪が広がることに少しでもお役に立てれば、幹事としてこれに勝る喜びはありません。

代々の先輩方から受け継いだ大きな「輪」に我ら明輪会の創意工夫をほんの少し加えて、来る100周年に向けて「明治魂」の輪を大いにつないでいきたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年度幹事学年挨拶

第45回総明会実行委員長
昭和57年卒 明魂会 実行委員長 染谷 貴男

今年度、第45回総明会総会・懇親会実行委員長を仰せつかりました染谷貴男でございます。

思い起こす事、昨年11月15日の調布新校舎にて法被の引き継ぎを受けましたが、その時の前実行委員長である齊木先輩の安堵の表情が脳裏に焼き付いております。

年が明けて、1月10日の「DVD鑑賞会」の取材、「卯の木会」の取材、寄付広告活動を皮切りに、本部評議員会・同期会・クラブ班OB会・同期定例会と会を重ねて行く毎に、あの安堵の表情の意味合いが、少しずつ分かって参りました。

活動前は、胃に鉛を飲み込んだ如く、重く憂鬱な気持ちで一杯でしたが、(これも伝統の重み故でしょうか?)活動をして行く毎に、同期の皆に支えられ、励まされ、

また担当委員会の先輩達に指導を受けながら、重くはあるけど憂鬱さは薄らいで来ました。

しかし、いくら動いてもその「重さ」は消える事がなく、ズシリと残ったままになったのかなあ。とも思っています。

今年の法被の引継ぎ式では、一生懸命突っ走った証である、あの「安堵の表情」を同期皆で味わいたいなあと思っております。

さて、「俺の腕を切ると紫紺の血が出るんだよ!」と言って憚らない先輩がいるかと思えば、学生時代のどうしても消えない辛い思い出の為に「声を掛けないでくれ!!」と言った同期もあり、この一年間に様々な先輩・同期・後輩と出会い、話をし、感じた事は、10人10色・100人100様の「明

治」があるんだと気づかせて頂きました。

毎朝、始業前に応援指導班の方達が掃除をしてくれた「男坂」は、運動部出身の私にしてみれば、苦しいだけの思い出しかなく(当然ですね)、今では良き思い出ですが、しかしあと2年を待たずに迎える新入会員の中には、「男坂って何?」と、きつと言われる事でしょう。

頭の中では、また言葉・文字ではお茶の水の旧校舎にあった坂だよと分かっているけど、実際に登り降りを経験してない世代にとっては、どんな意味・価値があるのだろうか?

時代の移り変わりと共に、各々が思う「明治」ひいては「明治魂」がどのように変わって行くのだろうか? 今年の幹事学年の活動テーマである「明治魂」、そして会報誌のテーマ「明治魂の伝承」は、あと数年で間違いなく訪れるであろう「魂」の変化を前にして、まずはたくさんの諸先輩達

の「魂」の思いをお伺いし、伝承されているのか? 変化はないか? を掘り下げてみました。

たくさんの方々の「魂」をまずは、ご一読頂き、改めて各々の「魂」を見つめて直して頂ければと思います。

最後になりましたが、年初からの寄附広告活動・6月のチャリティーゴルフ・10月発送の会報誌の作成そして11月の総会・懇親会執行部をはじめ、先生及び学校関係者の皆様、またたくさん先輩達・同期・後輩達に支えられ、軌道修正をして頂きながらここまで来る事が出来ました。本当に有難う御座いました。

11月29日(土)の懇親会場では、おいしいお酒を飲みながら、一人でも多くの方々の「俺達の頃の明治魂はなっ!」そんなお話が聴けます事を祈念して、挨拶とさせて頂きます。有難う御座いました。

第45回総明会 御寄付者一覧

(敬称略)
(八月末現在)

◎学校関係

白駿会有志一同様

金 六万四千円

紫魂会 (昭和55年卒)

金 五万五千円

明翔会 (昭和56年卒)

金 十四万七千円

応援団OB会

金 十万四千円

バスケットOB会

金 四万五千円

卯の木会

金 三万九千五百円

川口明高会

金 三万五千円

明雪会

金 三万円

明水会

金 二万円

放送班OB会

金 四千元

班クラブOB会

金 八万六千元

◎個人

金十万円

中田 貢弘 (昭和37年卒)

金三万円

天戸 一光 (昭和34年卒)

中河 孝樹 (昭和44年卒)

戸張 毅 (昭和47年卒)

齊木麻州男 (昭和56年卒)

金二万円

佐山 実 (昭和42年卒)

下田 敬一 (昭和49年卒)

金一万円

加藤 一也 (昭和39年卒)

中村 正容 (昭和43年卒)

細矢日出男 (昭和43年卒)

玉本 幸三 (昭和45年卒)

比留間竹郎 (昭和45年卒)

吉田耕太郎 (昭和45年卒)

内田 茂 (昭和47年卒)

鈴木 信夫 (昭和47年卒)

並木 清志 (昭和47年卒)

廣野 宏士 (昭和47年卒)

内村 研一 (昭和49年卒)

佐藤 眞弘 (昭和49年卒)

春名 克俊 (昭和49年卒)

川井 徹 (昭和51年卒)

水上 泰良 (昭和54年卒)

小川 洋平 (昭和55年卒)

安藤 信夫 (昭和56年卒)

岩楯 芳延 (昭和56年卒)

開発 武志 (昭和56年卒)

狩野 智雄 (昭和56年卒)

鴨下 裕彦 (昭和56年卒)

荻部 大 (昭和58年卒)

廣田 拓郎 (平成元年卒)

卯木 京子

松波 悦子 (白駿会)

河原 陽子 (白駿会)

幹事学年寄付者一覧

総額 金 三十九万円

青柳吉徳	小林芳隆
阿久津一也	佐久間淳
浅香晃房	佐藤篤司
朝比奈隆	佐野裕之
安達俊幸	穴戸 稔
石井君忠	菅井幹夫
石田俊彦	関川一浩
犬飼瑞郎	染谷貴男
岩崎広人	田所晴貴
榎本幹男	田中幹浩
大澤秀彰	玉置正人
大谷清文	鳴海浩樹
岡田基宏	辺見忠行
金子義昭	宮田 健
川越規雄	見山義幸
菊池正純	矢島和行
鯨井 仁	米田俊之
熊谷康生	米田昌弘
小島忠昭	李 昌一
小林謙之	

注意

総明会は、「個人情報
の保護に関する法律」
(個人情報保護法)に規
定される個人情報取
扱事業者として、独
自に「個人情報保護
に関する規則」を策
定し、個人情報保護
法・その他法令に照
らして適正且つ公正
な手段によって会員
に関する情報を収集
し、お預かりした情
報を適切に取り扱う
とともに、正確性・
機密性の保持に努め
てまいります。この
規則は本会報の製作
にも生かされており
ます。

御 礼

今年度、幹事学年を務めます我々明魂会に対し、
多大なる御寄付、広告を戴きまして、誠にありが
とうございました。これは、決して我々だけの力で
集まったものではなく、過去多くの寄付広告を担当
された先輩方をはじめ、多くの先人たちが築き上
げたものが、毎年毎年積み重ねられ実を結び、そ
して成果となって表れた『歴史と伝統に裏打ちさ
れたもの』だと考えております。過去、寄付集めに
一人一人お願いに廻られた先輩、広告を戴くため、
会社を一軒一軒訪問された先輩方のご努力に心
から敬意を表したいと思えます。

また、総明会が発行する会報の質の高さは、これ
だけ多くの広告を戴ける原動力にもなっております。
会報に広告を載せることが、明治高校出身OBの
ステータスになっていることに気付かされ、過去の会報
を作り上げてこられた諸先輩方のご努力に心から
感謝の意を表したいと思えます。

先輩方の明治魂が、寄付、または広告という形に
なり、我々明魂会に『伝承』されましたことを熱く、
厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

明魂会 寄付広告委員長 田中 幹浩

平成21年 7 月吉日

明治大学付属明治高等学校同窓会
「総明会」会員 各位

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長 佐久間 洋一

明治高校「創立100周年」記念事業へ寄付のお願い

母校明治高校は、2008年4月より、更なる飛躍を目指して長年慣れ親しんだ神田駿河台（猿樂町）から調布へ移転し、男女共学の学校として新たな歴史を歩み始めました。

また、2012年には、母校が学校創立100周年を迎え、さらに歴史の重みを具えた学校となります。

そこで明治高等学校同窓会・総明会では、昨年3月に調布校舎移転記念品を母校へ記念品を寄贈いたしました。さらに、創立100周年記念品を寄贈する計画とそれに伴う寄付の募集を平成18年度より、会員の皆様にご寄付のご協力をお願いしているところでございます。

母校の再出発と更なる飛躍に対して、同窓会として記念品を贈るという事業にご理解とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。なお、次回の創立100周年記念に際して寄贈する記念品は、今後、理事会、評議会で承認を受けたものを寄贈する予定でございます。

また、今回の寄付につきましては、学校側の協力が得られましたことから、学校から税控除の対象となる証明書(注1)が発行されることになりました。

注1：証明書の発行は、皆様のご寄付の年度ではなく、総明会としてまとめて学校に寄付行為を行う2013年の4月以降にまとめて発行（後日、郵送）されますのでご注意ください。

記

1. 寄 付 金 額 1口 1万円以上
(平成24年まで、複数回数の納付可能です。)
2. 寄付募集期間 2006年10月から2012年12月
3. 寄付目標金額 1,000万円
4. 申 込 先 同封の「郵便振込用紙」により、お近くの郵便局にて振込みをお願いいたします。
なお、お手数ですが管理の関係から通信欄に「明治高校卒業年月」(例：昭和49年3月卒)を記入して下さい。
また、税控除の証明書が必要な方は、上記に加えて明治大学の卒業学部名と「証明書必要」と記入してください。
5. 振 込 先 口座番号 00170-6-93825
加入者名
「明治高等学校同窓会総明会」
6. 問 合 せ 先 総明会・会計 中村 正容
TEL(携帯)090-4411-1684
総明会・財務委員長
佐藤 眞弘
TEL(携帯)090-8500-5447
E-mail : m-sato@y8.dion.ne.jp

総明会（明治大学付属明治高等学校同窓会） 会則

第1章 総則

第1条（名称）

本会は、総明会と称する。

第2条（目的）

本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

第3条（事業及び会計処理）

本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 母校に対する賛助活動を推進すること。
- 2 会員名簿を整備、管理すること。
- 3 会報などの広報物を発行すること。
- 4 同期会の結成を助成し、奨励すること。
- 5 班部OB会の開催を助成し、奨励すること。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

② 前項に定める事業はすべて一般会計として処理する。ただし、会長は、理事会の議決と評議員会の承認を得て、前項1号ないし6号に定める一部もしくは全部を特別会計として処理することができる。

第4条（事務局、所在地）

本会の事務局を行うために事務局を設ける。
② 事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

（事務局、所在地）

第4条 本会の事務局を行うために事務局を設ける。

第2章 会員

第5条（会員資格）

本会は、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業

生ならびに同校に在籍したことのあるものを会員とする。

第6条（入会金及び終身会費）

会員は、入会の時に入会金及び終身会費を本会に納入するものとする。入会費及び終身会費の額ならびにその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長（以下「校長」という）の同意を得て定める。

第7条（特別会員）

母校の教職員であるもの及びその職にあつたものを特別会員とする。
② 特別会員は、本会が行う事業に参加することが出来る。

第3章 役員

第8条（役員の種類及び定員）

本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

第9条（役員の選任）

会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事長及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもってこれを選任する。会長及び副会長はその就任と同時に理事となる。但し、任期中途で会長及び副会長を補充すべき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任

第10条（理事）

直後の総会において承認を得るものとする。会長及び副会長以外の理事並びに監事（以下「会長選任役員」という）は、会員の中心から、会長が選任する。会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いように直ちに役員を選任しなければならない。

第11条（監事）

監事は評議員を兼務できない。

② 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

第12条（評議員）

評議員は、会長及び副会長がこれを招集する。

第13条（評議員の選任）

評議員の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。

第14条（評議員の職務）

評議員の職務は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決することによる。

第15条（評議員の任期）

理事は書面により理事会の決議に加わることが出来る。

第16条（評議員の解任）

評議員は、会長及び副会長がこれを招集する。

第17条（評議員の議長）

評議員の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。

第18条（評議員の職務）

評議員の職務は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決することによる。

第19条（評議員の任期）

理事は書面により理事会の決議に加わることが出来る。

⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べること
ができる。

(会長等の職務)

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。
副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある
ときは、あらかじめ会長が指名した順位に
したがひ会長の職務を代行する。

③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総
括して司り、かつ事務局を統括する。

④ 常務理事は、専務理事を補佐する。

⑤ 事務局局長は、専務理事の指揮のもとに事務
局を統括する。

⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに
会務の執行を行う。

⑦ 理事は、会務を分担する。

(監事の職務)

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに
会務の執行を監査する。

② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

(名誉役員)

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談
役を置くことができる。

② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、
本会又は母校に永年にわたり特別に功労の
あったものの中から理事、会が推薦し、評議
員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在
任中、名誉顧問としてそれぞれこれを推戴
する。

④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その
在任中、顧問を推戴する。

⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあつ
た者の内から理事会が推薦し、評議員会の
承認を得て会長がこれを委嘱する。

第4章 総会及び懇親会

(総会の招集)

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は必
要のあるときに開催する。

② 総会は、会長がこれを招集する。

③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載
し、もしくはその他の方法で会員に通知し
て行う。

(総会の議事)

第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他
の重要な事項のうち理事会が提案し、評議
員会が必要と認めた事項を総会における審
議事項として決議する。
② 総会の議長は、会長又は会長の指名したも
のがこれにあたる。
③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれ
を決議し、可否同数の時は議長の決するところ
による。

(懇親会の開催)

第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1
回開催する。

② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決
定し、評議員会の承認を得て、会長が会員
に通知する。この通知は、総会の召集通知
に準じて行う。

第5章 委員会

(委員会の設置)

第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の
規定に掲げる事業の遂行のために必要な事
項を調査、研究、審議し、または実施する
機関として委員会を設けることができる。
② 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議
により設置する。
③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上を

もって構成する。

④ 委員会は、理事会の承認を得て会長がこれ
を委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中
から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱
する。

⑤ 委員会は、委員長がこれを主宰する。

⑥ 委員長は、その就任と同時に理事となる。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を
置く。同期会は、同期会の会員のうちから
評議員を選任して本会に届けるものとする。
また、総明会に登録した班部OB会毎に1
人の評議員を置くことができる。評議員を
選任した場合は、本会に届けるものとする。
② 同期会が結成されていないか、もしくは同
期会において評議員を選任できない事情が
あるときは、会長は、当該学年のために同
学年の中から仮評議員を選任できる。

③ 総明会に登録すべき班部OB会が結成され
ていないか、もしくは班部OB会に評議員
を選任できない事情がある場合は、評議員
を置くことができる。
④ 同期会の評議員と班部OB会の評議員は兼
任できない。

(評議員の職務)

第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席す
るほか、本会の事務のうちその属する学年
もしくは同期会及び班部OB会の関係で必
要な事務を処理する。
② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任
して評議員会の出席、その他の事務処理
を代行させることができる。

（評議員会）

第20条

評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

③ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものがあたり、その進行は事務局長が行う。

④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第23条

本会の会計処理は、一般会計と特別会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合その他、理事会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除いたすべての会計処理とする。本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（基金）
第24条

第7章 同期会

（同期会）
第21条

会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助ねなければならない。

④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第8章 班部OB会

（班部OB会）
第22条

会員は、在学中在籍した班部ごとに班部OB会を組織することができる。

② 班部OB会は、OB会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 班部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助ねなければならない。

④ 班部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

（会計の分類と会計年度）

② 基金は、特別会計（以下「基金特別会計」という）で処理する。

③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金（以下「特別基金」という）は、基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはできない。

④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもって構成する。

⑤ 基金への組入金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。

⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定しもしくは変更する。この場合、第26条の定め（特別決議）を準用する。

⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め（特別決議）を準用する。

⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える額を事業遂行基金とする。

⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁

するため、理事会及び評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができ。

⑩ 会長は「緊急に処対を要すると認めた事項（以下「緊急処理事項」という）のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

⑪ 事業遂行基金を支弁して行う事業を検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

（経費）
第25条 本会の経費は、入会費（ただし基金組入れ分を除く）、終身会費及び寄付金（ただし基金組入れ分を除く）並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもって支弁する。

（予算）
第26条

会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

② 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

(決算)
第27条

本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

②

基金特別会計の決算報告においては、財政基盤基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。

第10章 補 則

(特別決議)

第28条 本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数による決議によらなければならない。

(届出)

第29条 会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

②

同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

③

支部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

附 則

(経過措置1)

第1条 (年会費同期会)

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となった者で構成される同期会(以下「年会費同期会」という)が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条 (年会費)

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(経過措置2)

第1条 (年会費支部、OB会)

支部OB会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条 (年会費)

支部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

(参考)

改正前第7条 (年会費)

同期会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

総明会

会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

(選出委員会の設置、解散、委員の選出)

第1条 会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会(以下委員会という)」を設置する。

②

委員会は役員改選又は補充の時期に合わせ十分な期間を考慮し、理事会が設置する。

③

委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

④ 委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

(会長、副会長) 副会長の選出、承認について

② 委員長は、会長及び副会長の選出にあたり、推薦及び立候補を受け、その者をもって候補者とする。

候補者の中より、会長及び副会長候補者を

選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

③

理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

④

評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

⑤

評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもって、これを選任する。

(理事会の承認)

第3条

委員会より選出された会長候補者が1名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

②

委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

③

委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

④

委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

(評議員会の承認)

第4条

理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

(会長、副会長の資格)

第5条

会長及び副会長は、総明会会員として20年以上在籍し、かつ評議員又は理事を経験していることを資格とする。

この規定は、平成18年12月3日より施行するものとする。

樋山先生を偲んで

昭和37年卒
生物部OB会『さんま会』会長

宅美 貞夫

樋山先生は、昨年6月20日に奥様とご一緒に事故で亡くなられました。あまりにも突然のことで、正直驚きました。亡くなられた日の頃には、ご自宅に何度もお電話申し上げたのですが、呼び出し音だけで出られませんでした。

15年程前、1年先輩の澤井健藏、岩井広一郎両氏と共に休会中だった生物部OB会を復活させようと明高にお邪魔したりして、先生とご相談の上、11年前に『さんま会』として再発足しました。

当初は御茶ノ水近辺で開催していましたが、最近では先生のお体を考え、お宅の徒歩圏内にて開催しておりました。昨年4月27日の会が最後となってしまいました。

先生は、明高では主に生

物の授業を教え、生物部や天文愛好会の顧問として、親しく学生に接してきました。退職された後も大学で研究を続け、後進の指導にあたってこられました。

私個人としてのお付き合いは、毎年盆暮れにお邪魔して、いろいろなお話をさせていたいただきました。最近では私の趣味である鉄道模型にはまり、ご自身でも多少購入を始められ、お互いに模型の話で盛り上がりつつありました。私の家にちよつとした鉄道模型のレイアウトを製作中でしたので、完成したらご覧頂くことを先生も楽しみにされておりましたこと、実現できなかつたことが残念でなりません。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

樋山先生の墓所は、本願寺ひばりが丘墓地です。お問合せは、先生のご長女、樋山玲子様(090013241676)までご連絡ください。

住所変更時のお願い

総明会名簿委員会では総明会会報、総明会からのお知らせが皆様のお手元に、一通でも多く確実に届くよう各学年の評議委員を通じて総明会会員名簿の管理を行っております。お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが総明会名簿委員までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先

総明会名簿委員長

竹澤 啓

電話

03-9675-9955

FAX

03-3675-9922

E-mail takezawa@r2.di

on.ne.jp

お礼とお詫び

会報委員会一同多くの総明会会員の皆様から、この会報誌発行にあたり、ご寄稿及び貴重なお写真の提出をいただきました。心より御礼申し上げます。

紙面の都合上、全部を掲載することができませんでした。

また、文章中においても、万人が読むのに不適切かと思われる表現等につきましては、会報委員の責任で割愛・表現の変更をさせていただきました。

会報委員会全員で文章を校正いたしました。至らぬ点もあるかと思えます。

何卒ご了解いただきます様お願い申し上げます。

編集後記

昭和57年卒明魂会 関川 一浩

本年も総明魂会会報委員の方々を始め諸先輩の皆様にご広告・ご寄付、ご寄稿をいただいた皆様方のご協力により会報誌を発刊できましたこと、心より感謝並びに御礼申し上げます。

総明魂会会員皆様、最後まで会報誌に目を通していただきありがとうございます。

「明治魂の伝承」をテーマとして本年は取り組んでおりますが、是非会報誌に目を通していただいた皆様には一人でも多く、11月29日の懇親会に「明治の魂」の思いを寄せ、足を運んでいただき、お互い世代世代の思いを語り合ってください。場にする所存でありますので、心よりお待ちしております。

さて、世の中は昨年のリーマンショックに端を発した世界同時不況、また本年に入って新型インフルエンザ発症等、世界を飛び回るスピードの速さに感心させられた一年でしたが、我々同

期「明魂会」の会報委員は、本会報誌の作成にあたっては、そんなこととは別世界で、暢気というか、ざりざりまで何もしないというか、諸先輩の皆様に最終校正までごりまで、最後の最後までご心労をかけた後、また、作成にあたり、テーマにどうしよう、こうしよう、と様々な意見や議論を重ね、取材等をしていくうちに、「こんな面白い話があった」、「こんな面白い話があった」、「こんな事があった」等同期の打合せでの盛り上がり、それを記事にしてみたら、当初掲げていたページ数をかなりオーバーしてしまい、ここでも、諸先輩の皆様にご心配をおかけしてしまい、ご迷惑をおかけしたに申し訳さありませんでした。

「明治魂の伝承」というテーマを掲げ、皆様にお伝えできた否か不安ではあります。寛容の程宜しくお願い申し上げます。

最後に
幹事学年を経験させていただいた総明魂会に「感謝！」
同期会報委員のみんな

「本当にありがとう！」
次年度の幹事学年「明輪会」へ「ガンバレ！」
として、編集後記とさせていただきます。

最後になりましたが、本会報誌の作成にあたりましては、諸先輩の皆様、明治高校・中学校学校関係者の方々、更には明治大学附属八丈島高校の卒業生の皆様等々、たくさんの方々にご礼をお借りして改めて御礼申し上げます。

三行後記

男46歳にして明治魂という青春時代を振り返る機会をいただき感謝しております。多くの先輩方との明治魂談を通じ私の皮膚も益々、紫色掛かってきました。色あせないように、これから明治魂を磨いていきたいと思っております。(玉)

大変と言われた幹事学年。できあがりの達成感と、何より現役時代以上のつながりを築けた事が最高。最近、血が紫になってきた気がする。(みゃ)

毎晩毎晩僕は会報の夢にうなされて、嫌になっちゃうよ♪なんて。でも、いろんな人に会えて、いろんな体験が出来て、楽しかったです。ホント。(けんち)

ひと言に「明治魂の伝承」と言ってもその解釈は十人十色。今回はその源流を尋ねて様々な角度から検証してみた。

生き抜いた時代は違えども、「明治」に対する熱き思いは同じ。表紙は一筋の光を通じて、未来永劫、魂が伝承されることを祈って作成しました。(O谷)



総明会総会講演のお知らせ

11月29日(日) 総会終了後
総会会場(ギャラクシーⅢ)にて

本年度の講演は、**第49次南極越冬隊**に参加した平成13年卒の**鈴木秀彦氏**(高校山岳部OB)による『**～明治魂の伝承～ 極寒の地 南極の冬**』と題した普通では体験できない南極の冬の様子や越冬隊の生活での苦労話などをお話頂きます。鈴木氏は昨年12月には本校と南極昭和基地を生中継で結び、在校生に『南極教室』を開くなど、OBとして積極的に活躍されております。**講演は11月29日(日)総会当日、総会終了後(午後4時頃より)総会会場(ギャラクシーⅢ)で行います。**皆様、是非、お越し下さい。



南極の空に神秘的に輝くオーロラを見上げて

＜プロフィール＞

鈴木 秀彦(すずき・ひでひこ)
明治大学付属明治高校より同理工学部物理学科へ進学。05年に卒業後、東京大学大学院理学系研究科へ進学。オーロラ研究で理学修士を修了ののち、総合研究大学院大学の博士課程へ進学。07年10月より第49次南極地域観測隊に参加のため、国立極地研究所の特任教員となる。09年2月まで南極昭和基地でオーロラおよび超高層大気の研究に従事。



第45回総明会実行委員会

実行委員長

染谷 貴男

会報委員

関川 一浩
米田昌浩
玉置正人
宮田 健

大谷清文
小林謙之
辺見忠行

式典委員

菊池 正純

佐久間淳

寄付広告委員

田中 幹浩
田所晴貴
木戸基満

矢島和行
岩崎広人

ゴルフ委員

阿久津一也

矢島和行

広報委員

熊谷 康生
川越規雄
穴戸 稔
朝比奈隆

石田俊彦
菅井幹夫
安達俊幸

名簿委員

大熊 健介

会計委員

鳴海 浩樹

浅香晃房

監査委員

岡田 基宏

事務局(学校担当)

石井 君忠

祝 第四十五回 総明会総会

めい わ かい
明 輪 会

● 昭和五十八年卒業〈平成二十二年 幹事学年〉

<http://meiji.mikosi.com/>

ひとのわと

こころのわ

祝 第45回総明会総会・懇親会

明 魂 会

(昭和57年卒)

平成21年度総明会幹事学年



巻頭でご案内したとおり、総明会第45回総会・懇親会は、来たる11月29日(日)、場所は赤坂溜池「ANAインターコンチネンタルホテル」にて開催する運びとなりました。ここまで我々「明魂会」が平成21年の総明会幹事学年として順調に活動してこられたのも、ひとえに諸先輩方、関係各位のご支援、ご指導によるものと心から御礼を申し上げます。総会当日は、感謝の意を込め、趣向を凝らして皆様をお待ち申し上げますので、ご同期、ご家族、お誘い合わせの上、多数ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

明魂会 一同



発行/
明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会
<http://meiji.cside.com>
〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校内
TEL 042-444-9100
編集 / 明魂会(昭和57年卒)
会報委員会